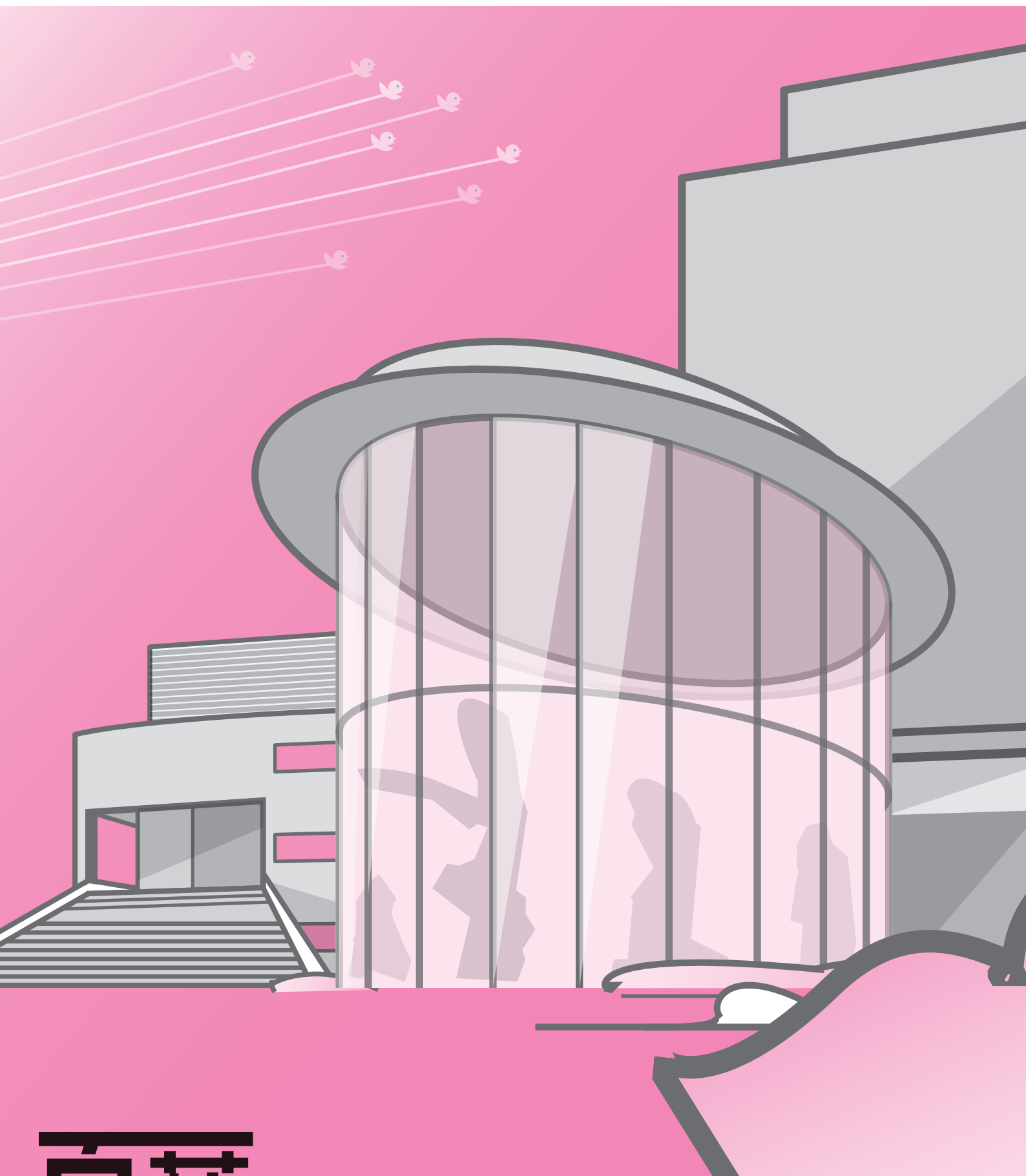


# 2025年度 受験用入試案内



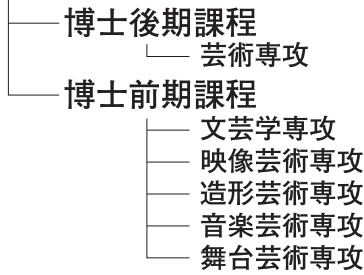
**日藝**

Art Transformation since 1921  
Nihon University College of Art

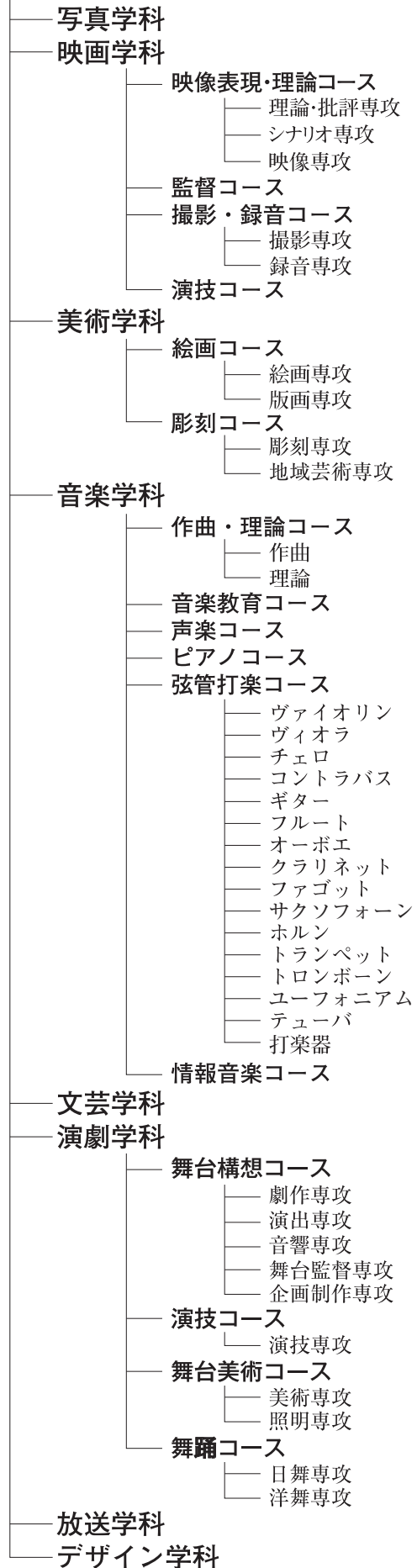
# 日本大学芸術学部

# 日本大学芸術学部教育体系

## 大学院芸術学研究科



## 芸術学部



## 掲載内容について

2024年4月現在の情報を掲載しています。  
今後、内容に変更等が発生した場合には、  
本学部ホームページにてお知らせします。

入学者選抜等に関するお問い合わせは…

- ・入学者選抜に関する質問
- ・学部資料請求
- ・キャンパス見学 (72 ページ参照)

等については、入試係までお願いします。

また、入学者選抜情報等については、ホームページでもご覧いただけます。

## 昨年度からの主な変更点

### 総合型選抜 ※詳細は5ページ～

- 音楽学科声楽コースの実技内容を変更

### 学校推薦型選抜(公募制) ※詳細は16ページ～

- 文芸学科の出願要件を変更
- 音楽学科声楽コースの実技内容を変更

一般選抜A個別方式を廃止し、N全学統一方式第1期において、学力検査型および専門試験併用型を新規導入します。

### 一般選抜N全学統一方式(第1期) 学力検査型

※詳細は25ページ～

- 写真学科、文芸学科、演劇学科及びデザイン学科の試験科目を変更

### 一般選抜N全学統一方式(第1期) 専門試験併用型

※詳細は28ページ～

### 一般選抜N全学統一方式(第2期) 学力検査型

※詳細は36ページ～

- 写真学科、美術学科、文芸学科及び演劇学科の試験科目を変更

日本大学芸術学部 入試係

03-5995-8282

〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1

(事務取扱時間)

月曜日～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:00

日本大学芸術学部ホームページ  
<http://www.art.nihon-u.ac.jp/>



日本大学ホームページ  
<http://www.nihon-u.ac.jp/>



# 日本大学芸術学部 2025年度受験用入試案内

## CONTENTS

日本大学芸術学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	2
入試広報カレンダー	4
<b>総合型選抜</b>	
2025年度 総合型選抜について	5
2025年度 総合型選抜概要	6
2024年度 総合型選抜結果	10
2024年度 総合型選抜科目(課題)一覧	11
<b>学校推薦型選抜(公募制)</b>	
2025年度 学校推薦型選抜(公募制)について	16
2025年度 学校推薦型選抜(公募制)概要	17
2024年度 学校推薦型選抜(公募制)結果	20
2024年度 学校推薦型選抜(公募制)課題一覧	21
<b>一般選抜</b>	
2025年度 一般選抜について	24
2025年度 一般選抜N全学統一方式学力検査型概要	25
2025年度 一般選抜N全学統一方式(第1期) 学力検査型概要	26
2024年度 一般選抜N全学統一方式(第1期) 結果	27
2025年度 一般選抜N全学統一方式(第1期) 専門試験併用型概要	28
2025年度 一般選抜N全学統一方式(第1期) 専門試験併用型専門試験実施内容	30
2024年度 一般選抜A個別方式結果	31
2024年度 一般選抜A個別方式小論文・作文課題一覧	32
2024年度 一般選抜A個別方式実技科目(課題)一覧	33
2025年度 一般選抜N全学統一方式(第2期) 学力検査型概要	36
2024年度 一般選抜N全学統一方式(第2期) 結果	37
<b>2025年度 その他の入学者選抜</b>	
外国人留学生・帰国生選抜、校友枠選抜	38
編入学・転部試験/2024年度 編入学・転部試験結果	39
<b>2025年度 音楽学科実技課題曲案内</b>	40
<b>各学科専門試験参考資料</b>	44
<b>学部Q&amp;A</b>	60
<b>学部概要</b>	
授業等について	66
入学金・授業料等納入金について	68
入学後のキャリア形成について ～卒業後の「職」を考える～	69
卒業制作等、学生の作品発表を見るには…	70
外部進学相談会について/キャンパス見学について	72
校舎案内	

総合型選抜

学校推薦型選抜

一般選抜

各種選抜等

実技課題曲・学部Q&A  
・専門試験参考資料

学部概要

表紙デザイン

中村 至男(グラフィックデザイナー・日本大学芸術学部美術学科卒)

# 日本大学芸術学部 入学者受入れの方針 (アドミSSION・ポリシー)

戻る

日本大学芸術学部では、本学の教育理念である「自主創造」のもと、自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく能力を持った人材を育成します。そのため、8つの芸術分野それぞれを強く志す人、創造性が豊かでコミュニケーション能力に富み、芸術全般にわたり強い関心を持つ人、自らが芸術家、クリエイターになることを真剣に考えている人を求めます。

選抜方法として、学部実施の入学者選抜においては、各学科の特性に基づき、小論文、作文や実技等による専門試験及び面接試験を実施して、受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査するよう心掛けています。

以上を踏まえた、各学科における受入れ方針は以下のとおりです。

**写真学科**では、写真における芸術表現を中心に学習を行うため、写真の歴史や理論を学び、写真表現の技法について考え、報道、広告、ポートレート、芸術等の多様な分野に対応し、それぞれの専門とする写真表現を創造できる人材を求めます。

**映画学科**では、映画・映像における芸術表現を中心に学習を行うため、映画・映像の歴史や理論を学び、映画・映像表現の技法について考え、それぞれの専門とする映画・映像表現を創造できる人材を求めます。

**美術学科**では、美術における芸術表現を中心に学習を行うため、美術の歴史や理論を学び、美術表現の技法や活動の在り方について考え、それぞれの専門とする美術表現を創造できる人材を求めます。

**音楽学科**では、西洋音楽を中心に学習を行うため、音楽の歴史や理論及び技法を学び、音楽表現について考え、それぞれの専門とする音楽表現を創造できる人材を求めます。

**文芸学科**では、創作、研究、ジャーナリズムにわたる多様な表現活動の学習を行うため、文芸の歴史や理論を基礎教養として学び、文芸史の意義や現代文学の表現方法について考え、次世代を担う文芸表現を創造できる人材を求めます。

**演劇学科**では、グローバルな視野から、劇場芸術及びそれに関連する実践について学習を行うため、演劇と舞踊の理論や歴史を現代社会とのつながりの中で学び、その技法についても考え、各自の専門とする領域を研究、創造できる人材を求めます。

**放送学科**では、情報時代の中心的役割を果たす「放送」を深く認識させる学習を行うため、放送に関する歴史や理論を学び、映像や音響、CMの表現について考え、放送を担うにふさわしい自由で豊かな表現を創造できる人材を求めます。

**デザイン学科**では、デザインにおける思考及び表現を中心に学習を行うため、デザインの歴史や理論を学び、デザイン手法について考え、それぞれの専門とする分野で新たなデザイン表現を創造できる人材を求めます。

日本大学芸術学部では、上記の学部及び学科における入学者受入れ方針に基づき、入学者選抜においては、試験区分により以下のとおり審査し、評価します。

## 1 一般選抜 (全学科共通)

一般選抜N全学統一方式においては、学力検査により大学生としての基礎学力到達度を審査します。また、N全学統一方式専門試験併用型においては、学力検査とともに各学科の特性に基づいた専門試験及び面接試験等を実施して、受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査し、評価します。

## 2 そのほかの入学者選抜

本学部では、一般選抜のほかにも、出願資格の異なる多様な入学者選抜を実施しますが、なかでも総合型選抜は、学科ごとに求める学生像を示し、特色ある人材を受入れるよう心掛けています。試験科目については、原則として各入学者選抜共通のものです。総合型選抜については、学科によりほかの入学者選抜とは異なる選考方法で審査、評価しています。

### ①写真学科

口頭試問では自己表現力、対応力、コミュニケーション能力を、小論文試験では発想力、論理性、鑑賞力及び考察力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では写真への情熱、写真を学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

### ②映画学科

小論文試験または実技試験(演技コースのみ)を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を、実技試験では資質、技術及び表現力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では映画を学ぶ意欲、適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、小論文試験及び面接試験に加え、実技試験、記述試験、ディベートなどのコース別試験を実施して、各コースに応じた能力を審査し、その創造性を評価します。

### ③美術学科

実技試験・小論文試験ではこれまでの美術経験、表現力及び発想力を審査し、その創造性を評価します。また、

面接試験では美術学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、実技試験または小論文試験及び面接試験を実施して、各コース・専攻に応じた能力や適性を審査し、その創造性を評価します。

#### ④音楽学科

実技試験ではこれまでの音楽経験及び表現力を、またコースにより併せて実施する音楽に関する小論文試験では論理性及び発想力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では音楽学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

#### ⑤文芸学科

想像力と思考力を必要とする出題方法で小論文・作文試験を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を、作文試験では語彙力及び表現力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では志望動機及び適性を審査し、評価します。

#### ⑥演劇学科

コースごとに実技試験と面接試験を実施します。実技試験ではこれまでに培ってきた技術や経験のみならず、表現力と伝達力を、また、面接試験では劇場芸術を学ぶ意欲、適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、他の入学者選抜で実施する実技試験・面接試験に加えて、作文試験を実施します。作文試験では課題に対する着眼点と表現力を審査し、その創造性を評価します。

#### ⑦放送学科

作文試験では与えられた課題に対する着眼点、構成力及び表現力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では放送分野を学ぶ上での意欲、適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、実技試験、小論文・作文試験及び面接試験を実施します。実技試験では将来アナウンサー及び放送分野で活躍できる者となる適性を、小論文試験では主として時事問題についての自分の考え方をそれぞれ審査します。また、面接試験では将来アナウンサー及び放送分野で活躍できる者となる上で求められる適性、人間性及び将来性を審査し、評価します。

#### ⑧デザイン学科

実技試験では観察力、表現力及び発想力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験ではデザイン学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、小論文試験、実技試験、プレゼンテーション及び面接試験を実施します。小論文試験では論理性及び思考力を、実技試験では観察力、表現力及び発想力を、プレゼンテーションでは自己表現力及び伝達力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験ではデザインへの情熱、デザインを学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

以 上

## 日本大学学則及び教育研究上の基礎的な情報について

日本大学学則及び「学部教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）」、「学部卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」等について、芸術学部ホームページにてお知らせしています。

<http://www.art.nihon-u.ac.jp/about/relations/>

※「学則等」については、ホームページ中程に記載があります。





戻る

2024 6	6/30(日)	オープンキャンパス	
7			
8	8/4(日)	オープンキャンパス	
9			
10	10/20(日)	総合型選抜	5ページ
11	11/2(土)・3(日・祝)	日芸祭同時開催・入試相談会	
	11/24(日)	学校推薦型選抜 (公募制・指定校制・付属高等学校等)	16ページ
12	12/8(日)	校友枠選抜 外国人留学生・帰国生選抜 編入学・転部試験	38ページ
2025 1			※外国人留学生選抜デザイン学科のみ12/1(日)に一次試験を実施
2	2/1(土)	一般選抜N全学統一方式(第1期) 学力検査型・ 専門試験併用型	25ページ
	2/2(日)～ 2/10(月)の 各学科指定日	一般選抜N全学統一方式(第1期) 専門試験併用型	28ページ
3	3/4(火)	一般選抜N全学統一方式(第2期) 学力検査型	36ページ
	3/9(日)	春のオープンキャンパス	

### こんな方におすすめ (タイプ別入試紹介)

- 日藝が第1希望!
- 早く合格して入学後の学びに備えたい
- 各学科のカリキュラムに興味があり、熱意を伝えたい

→ **総合型選抜** (5ページ～)

- 高校生活でがんばったことを評価してほしい
- アート、エンタメ、映像、音楽、演劇、文芸などの学びに情熱がある

→ **学校推薦型選抜** (16ページ～)

- 「国語」と「英語」の2科目に自信がある
- 小論文や面接、身体表現・デッサンなどの専門試験に自信がある

→ **一般選抜N全学統一方式(第1期)  
専門試験併用型** (28ページ～)

- 小論文や面接、身体表現・デッサンなどの専門試験は不安だけど得意な教科がある
- 遠方から首都圏に受験しに行くのは負担だ
- いろいろな学びに興味があり、日大の他学部と併願したい

→ **一般選抜N全学統一方式学力検査型**  
(25ページ～)

総合型選抜は、芸術各分野における入学後の目的が明確であり、その目的を実現するのに十分な能力を持っていること、さらにその能力を具体的に表現できることを基本的な出願条件として、公募に基づき選抜する試験です。学力検査だけでは判定することができない、「あなた」を具体的に表現できるか、その適性を求める入学者選抜です。



## 総合型選抜

### 総合型選抜の流れ

(期日はすべて2024年となります)

#### 【エントリーシートのダウンロード】

もっとも興味・関心を持った学科の所定の「エントリーシート」を本学部ホームページからダウンロードしてください(7月上旬に掲載予定)。



#### 【エントリー】

##### ① エントリーシートの提出

受付期間：9月2日(月)～9月4日(水) (簡易書留郵便にて締切日必着)

##### ② 結果通知：9月26日(木)

エントリーシート等の内容により入学試験対象者を決定し、通過の可否にかかわらず全員に通知します。  
なお、通過者には出願書類(「募集要項」等)を同封します。

※エントリーまでは、入学検定料は徴収しません。



#### 【入学者選抜】

出願期間：10月1日(火)～10月7日(月) (簡易書留郵便にて締切日必着)

選考日：10月20日(日)

選考方法：学科・コースにより異なります。

入学検定料：35,000円



#### 【合格発表】

発表日：11月1日(金) (インターネットによる合否案内)

## 1 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		44名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技	38名
美 術	絵画, 彫刻	30名
音 楽	作曲・理論, 音楽教育, 声楽, ピアノ, 弦管打楽, 情報音楽	40名
文 芸		33名
演 劇	舞台構想, 演技, 舞台美術, 舞踊	28名
放 送		15名
デザイン		23名

※映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください

※学科・コースの併願はできません

## 2 試験日程

内 容	期 日
エントリーシート 受付期間	9月2日(月)～9月4日(水) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
出願期間	10月1日(火)～10月7日(月) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
選考日	10月20日(日)
合格発表日	11月1日(金) (インターネットによる合否案内)
入学手続期間	11月1日(金)～12月6日(金) ※入学時納入金は, 入学手続期間内に一括納入となります



## 3 出願資格・出願要件

## &lt;出願資格&gt;

高等学校または中等教育学校等を卒業した者あるいは2025年3月卒業見込みの者、及びそれと同等以上の学力があると認められる者。

## &lt;出願要件&gt;

- ①試験の内容をよく理解した上で、エントリーを経て審査を通過した者。  
②下表に示した、各学科が求める学生像をよく理解し、合格した場合本学部に入学することを確約できる者。

学 科	求める学生像
写 真	次のいずれかに該当する者を求めます a 写真が好きで、積極的に学びたいと考えている者 b 表現を写真でしたい者 c 写真で社会とつながりを持ちたい者 d 写真表現でできることが、まだまだあると思っている者 e 今おきていることを伝えたいと思っている者
映 画	芸術分野に対する豊かな感受性を有し、映像表現分野における創作活動、あるいは映像理論分野における研究活動に対する能力が認められる者を求めます
美 術	芸術領域において創造的・積極的な姿勢を持っている者で次のいずれかの分野に関する能力が認められる者を求めます a 絵画・版画・彫刻における創作活動 b 社会と芸術に関わる創作活動 c 美術に関する理論的研究活動
音 楽	次のaまたはbの要件を満たし、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a 音楽学科各コースの教育内容を理解し、考・動・創・力に富み、芸術、とりわけ音楽の素質豊かな潜在能力を有し、創作力、実技演奏力、論文表現力等に秀で、豊かな人間性を感じさせる者 b 音楽活動（オーケストラ、吹奏楽、合唱、各種演奏オーディション、コンクール、ライブ等）に積極的に参加し、実績をあげた者
文 芸	次のいずれかに該当する者を求めます a 創作、評論を問わず、文芸表現を第一義にめざす者 b 文芸表現分野において顕著な成果をあげている者
演 劇	大学で舞台芸術を学ぶことについて積極的な動機を持ち、次のいずれかに該当する者を求めます a 演劇・舞踊に特別な可能性を見いだす者 b 学力試験的な方法以外で実力をアピールしたい者 c 一回限りの面接ではなく段階的また多面的に自己をアピールしたい者 d 調査書にあらわれない学業的成果をもって自己をアピールしたい者 e その他の、意外なまたは例外的な経歴・個性あるいは「力」をアピールしたい者
放 送	次のいずれかに該当する者を求めます a 放送学科のカリキュラムを理解し、将来アナウンサーを志す者 b 放送学科のカリキュラムを理解し、将来放送分野での活躍を志す者
デザイン	次のいずれかに該当し、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a デザインに関する明確な将来の志望を持っている者 b デザインを通じて社会・文化に貢献したいと考えている者 c デザインを通じて新たなものごとやシステムを考え、論理的な視点から創作することをめざす者 d デザインに関わる新技術に興味を持ち、新たな「表現」や「ものづくり」に関心がある者 e デザインにおいて顕著な成果を上げた者

※出願に先立ち、「エントリーシート」の提出が必要です。

## 4 エントリー

本学部に興味や関心を持っていただいた方は、以下の要領に従ってエントリーをしてください。

### (1) エントリーシートの提出

芸術学部ホームページから「もっとも興味・関心を持った学科」のエントリーシート（学部統一書式）及び宛名シートをダウンロードし、必要事項を記入の上、本学部入試係あてに提出してください（複数学科の提出は不可）。

### (2) エントリーシート受付期間

9月2日（月）～9月4日（水） 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

### (3) 提出書類

#### ① エントリーシート（写真1枚貼付）

ここでは、「あなた」が「日藝」で学びたいことをテーマとして、表現していただきます。

#### ② 宛名シート

#### ③ 学科指定の提出物

音楽学科、文芸学科及びデザイン学科については、別途指定の提出物を提出してください（下表参照）。  
なお、以下の学科以外でも、学科指定の提出物が課される場合があります。

学 科	学科指定の提出物
音 楽	各種芸術活動を証明する書類の写し
文 芸	文芸表現分野での実績がある者は、各種文芸賞または作文コンクール等の受賞や文芸活動を証明する書類の写し
デザイン	作品ポートフォリオ（A4サイズ以上）

### (4) 審査及び審査結果通知日

提出されたエントリーシート（学科指定の提出物を含む）をもとに審査を行い、試験対象者を決定します。  
審査結果は、9月26日（木）に通過の可否にかかわらず全員に通知を発送します。

## 5 入学者選抜

### (1) 出願期間

10月1日（火）～10月7日（月） 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

### (2) 試験会場 芸術学部校舎

### (3) 出願書類

#### ① 出願確認票

#### ② 出身学校調査書等

※美術学科志願者は、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択すること（詳細は「募集要項」で指示します）。

※音楽学科志願者は、受験曲目等を学科サイトより別途入力すること（詳細は「募集要項」で指示します）。

### (4) 出願者に対する課題等

映画学科以外、選考日当日持参となります（詳細についてはエントリー通過者に別途通知します）。

学 科	課 題
写 真	①小論文
	②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4サイズ） （写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写し可〕を加えてください） ※45ページの【写真学科】専門試験参考資料を参照
映 画	コースによりレポートを課す場合があります（選考日前の提出を予定）
美 術	絵画・版画・彫刻専攻 作品のポートフォリオ（A4サイズ）
	地域芸術専攻 作品のポートフォリオ（芸術活動報告をまとめたものでも可・A4サイズ） ※作成時の注意事項は、芸術学部ホームページに公開されている資料を参照してください。
音 楽	作曲・理論コース（作曲）志願者は、自作曲の楽譜（編成・長さは自由、1曲。返却出来ないため写しを3部持参してください）
	作曲・理論コース（理論）志願者は、音楽に関するレポート（書式・長さは自由、手書きに限る、1点。返却出来ないため写しを3部持参してください）
	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください（口頭試問で参考にします）
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）
デザイン	事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード（A2サイズ）2枚 ※当該年度の課題は9月1日以降芸術学部ホームページ上に公開します

6 試験科目

学科・コース		科 目
映 画	写 真	①当日持参したポートフォリオに関する口頭試問 ②小論文(事前回答のうえ当日持参) ③面接
	映像表現・理論コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接
	監督コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接
	撮影・録音コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接
	演技コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接
美 術	絵画コース(絵画専攻)	①実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	絵画コース(版画専攻)	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	彫刻コース(彫刻専攻)	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	彫刻コース(地域芸術専攻)	①小論文(60分・800字以内) ②面接
	※両コースとも、出願後すみやかに受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『募集要項』で指示します)	
音 楽	作曲・理論コース(作曲)	①当日持参した自作品の審査及び口頭試問 ②実技(作曲) ③面接
	作曲・理論コース(理論)	①当日持参した音楽に関するレポートの審査及び口頭試問 ②実技(任意の器楽曲または声楽曲の演奏) ③面接
	音楽教育コース	①小論文(60分・800字程度) ②実技(ピアノ) ③面接
	声楽コース	①実技(声楽〔声楽曲〕) ②面接
	ピアノコース	①実技(ピアノ) ②面接
	弦管打楽コース	①実技(それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器) ②面接
	情報音楽コース	①口頭試問 ②面接
※課題曲等の詳細については、40～43ページの『2025年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください(詳細は「募集要項」で指示します)		
文 芸		①小論文または作文(180分・3,200字以内) ※辞書持ち込み可(電子辞書不可)。また、学科指定施設内の資料も参照可 ②面接
演 劇	舞台構想コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(グループディスカッション) ③面接
	演技コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(演技にかかわるもの) ③面接
	舞台美術コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(グループディスカッション) ③面接
	舞踊コース(日舞)	①作文(60分・800字程度) ②実技(日本舞踊曲または日本の伝統舞踊〔郷土芸能を含む〕の実演) ③面接 ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください
	舞踊コース(洋舞)	①作文(60分・800字程度) ②実技(リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現) ③面接 ※稽古着(タイツ、レオタード等、シューズ可)を持参してください
放 送		アナウンサー志願者 ①適性をみる課題 ②小論文(80分・800字程度) ③面接 放送分野志願者 ①適性をみる課題 ②作文(60分・600字程度) ③面接
デザイン		①小論文 ②実技 ③面接(プレゼンテーションを含む)

戻る

総合型選抜

学科・コース		項目	募集人員	エントリー者数	試験対象者数	試験志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	競争率 (A/B)	2023年度競争率
写真学科			40	112 ( 45)	74 ( 33)	74 ( 33)	71 ( 33)	42 ( 21)	1.7倍	1.5倍
映画学科	映像表現・理論コース	}	35	65 ( 32)	44 ( 23)	44 ( 23)	43 ( 23)	15 ( 7)	2.9倍	2.9倍
	監督コース			75 ( 32)	30 ( 19)	29 ( 18)	29 ( 18)	10 ( 9)	2.9倍	2.7倍
	撮影・録音コース			46 ( 22)	24 ( 12)	22 ( 10)	22 ( 10)	12 ( 7)	1.8倍	2.2倍
	演技コース			69 ( 43)	20 ( 12)	19 ( 12)	19 ( 12)	6 ( 3)	3.2倍	3.0倍
	計		35	255 (129)	118 ( 66)	114 ( 63)	113 ( 63)	43 ( 26)	—	—
美術学科	絵画コース	}	23	56 ( 29)	56 ( 29)	53 ( 27)	53 ( 27)	18 ( 9)	2.9倍	1.6倍
	彫刻コース			23 ( 11)	23 ( 11)	20 ( 11)	20 ( 11)	11 ( 8)	1.8倍	1.0倍
	計		23	79 ( 40)	79 ( 40)	73 ( 38)	73 ( 38)	29 ( 17)	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	}	40	16 ( 7)	13 ( 7)	13 ( 7)	13 ( 7)	9 ( 6)	1.4倍	1.5倍
	音楽教育コース			3 ( 2)	1 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	1.3倍
	声楽コース			7 ( 6)	7 ( 6)	7 ( 6)	6 ( 5)	4 ( 3)	1.5倍	1.0倍
	ピアノコース			12 ( 9)	11 ( 8)	11 ( 8)	11 ( 8)	6 ( 4)	1.8倍	1.0倍
	弦管打楽コース			24 ( 15)	17 ( 10)	17 ( 10)	17 ( 10)	9 ( 6)	1.9倍	1.3倍
	情報音楽コース			77 ( 28)	22 ( 11)	22 ( 11)	21 ( 10)	12 ( 9)	1.8倍	1.7倍
	計		40	139 ( 67)	71 ( 43)	70 ( 42)	68 ( 40)	40 ( 28)	—	—
文芸学科			33	106 ( 60)	106 ( 60)	102 ( 58)	100 ( 58)	36 ( 24)	2.8倍	1.8倍
演劇学科	舞台構想コース	}	20	56 ( 51)	26 ( 25)	26 ( 25)	26 ( 25)	6 ( 6)	4.3倍	2.8倍
	演技コース			83 ( 61)	25 ( 19)	25 ( 19)	25 ( 19)	5 ( 4)	5.0倍	3.7倍
	舞台美術コース			23 ( 21)	19 ( 17)	19 ( 17)	19 ( 17)	8 ( 7)	2.4倍	1.5倍
	舞踊コース			24 ( 21)	13 ( 10)	13 ( 10)	13 ( 10)	7 ( 5)	1.9倍	1.6倍
	計		20	186 (154)	83 ( 71)	83 ( 71)	83 ( 71)	26 ( 22)	—	—
放送学科			15	141 ( 96)	60 ( 47)	58 ( 45)	57 ( 44)	18 ( 13)	3.2倍	3.2倍
デザイン学科			23	94 ( 60)	40 ( 28)	39 ( 27)	39 ( 27)	30 ( 22)	1.3倍	1.2倍
合計			229	1,112 (651)	631 (388)	613 (377)	604 (374)	264 (173)	—	—

( )内は女子内数

## 総合型選抜 科目(課題) 一覧

戻る

学科・コース	科目・課題
写 真	<p>①事前小論文課題(選考日当日持参) 皆さんが活躍しているであろう20年後の世界において写真はどのような存在であり、写真を本格的に学んだ皆さんにとってのアドバンテージとは何ですか。あなたの考えを述べなさい。(1,000字程度)</p> <p>②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ(選考日当日持参) 「探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の活動、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定」の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。また、写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。 ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル(20ポケット・40頁以内)とする。</p> <p>③作品ポートフォリオ(選考日当日持参) A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成している形式、もしくは市販のフォトブックサービスの利用も可。フォトブックの場合もA4サイズ程度が好ましい。</p> <p>④当日持参したポートフォリオに関する口頭試問</p> <p>⑤面 接</p>
全コース	<p>①小論文(60分・600字) 次の文章を読み、「不確実性」についてあなたの考えを述べなさい。 ※ニュー・サイエンティスト/ヘレン・トムスン著、片桐恵理子訳「人生修復大全」サンマーク出版、2023年、30～31ページ</p> <p>②面 接</p>
映像表現・理論	<p>記述試験(80分・800字) 作品を鑑賞し、あなたの考えを自由に述べなさい。 ※アニエス・ヴァルダ「オペラ・ムッフ」MK2 FILMS、発売シネマクガフィン、1958年</p>
監 督	<p>①レポート課題(事前に郵送により提出) あなたの好きな映画を1本選び、演出と音響表現の関係について800字程度で述べてください。</p> <p>②記述試験(90分・1,000字) 表裏と背中を題材に用いて物語を作りなさい。</p>
映 影・録音	<p>記述試験(上映時間と記述合わせて60分・800字) これから短編映画を上映します。この映画を見て「アクション、サスペンスを表現するために必要な技術」についてあなたが考えたことを記述してください。 ※平成29年度映画演出Ⅲ・映画技術Ⅲ実習作品</p>
映 画	<p>①レポート課題(事前に郵送により提出) 最近の映像作品を一本あげ、その登場人物のうち、一人の演技について800字程度で述べてください。</p> <p>②実 技</p> <p>発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号( )番、( 氏名 )です。出身は( 都道府県名 )で、学校は( 学校名 ) 高校を卒業する予定です。年齢は、( )歳です。</p> <p>発声2 次の文章を朗読してください。 ※「春に散る」に主演 佐藤浩市「矛盾が腑に落ちる瞬間」朝日新聞夕刊記事より抜粋、2023年8月18日</p> <p>動作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 〔設定〕今日は郵便で、カードゲームのカードの抽選結果が送られてくる。急いで帰宅してきた。</p> <p>玄関前のポストを覗き見る。待っていた封筒が入っていた。 開封する。手紙を開くと、落選の文字が目に入る。 手紙をビリビリに破る。 ふと破いた一枚を見ると、 「後日、外れた方の再抽選がありますので、大事にとっておいてください」 と書かれてある。 破いてしまった紙片を封筒に入れる。 家に入って行く。 (そのまま退出してください)</p>



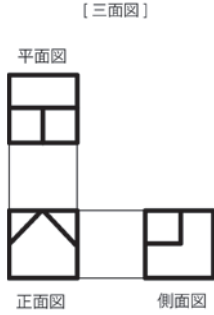
学科・コース	科目・課題																
全コース	<p>①<b>作品のポートフォリオ</b> (選考日当日持参)                      これまでに自ら制作した各専門領域に関する作品や活動等をファイルにまとめた「ポートフォリオ」を選考日当日に持参してください。                      ※ポートフォリオの持参については、美術学科各コース・各専攻のいずれを受験する場合にも共通です。                      ※彫刻コース地域芸術専攻においては、活動が多岐にわたるため、美術全般・地域芸術全般・課外活動・ボランティア活動・学校での委員会等、自らの活動報告をまとめたものでも可。</p> <p>○ポートフォリオの形式について                      ・市販のクリアファイル (A4サイズ) 1冊にまとめること。                      ・ページ数、添付作品写真の枚数は自由とする。                      ・ファイルの1ページ目に、必ず以下の項目を記入した表紙を入れること。                      受験コース (絵画コース/彫刻コース)                      受験専攻 (絵画専攻/版画専攻/彫刻専攻/地域芸術専攻)                      受験番号 (オンライン受験票に記載されている受験番号)                      氏名</p> <p>○ポートフォリオの返却について                      実技試験中、ポートフォリオ等を参考に順次面接を行い、面接終了後、ポートフォリオは各自に返却します。</p> <p>②<b>面接</b></p>																
美術	<p>①<b>実技</b> (5時間30分)                      油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く。                      ≪キャンバスはF15号、木炭選択者は木炭紙65cm×50cm、鉛筆選択者は画用紙60cm×50cm≫</p> <p><b>[モチーフ]</b></p> <table border="0"> <tr><td>木箱</td><td>×1</td></tr> <tr><td>パン</td><td>×1</td></tr> <tr><td>瓶</td><td>×1</td></tr> <tr><td>紙袋</td><td>×1</td></tr> <tr><td>ケーキ</td><td>×1</td></tr> <tr><td>皿</td><td>×1</td></tr> <tr><td>プラスチックフォーク</td><td>×2</td></tr> <tr><td>布</td><td>×1</td></tr> </table> <p>②<b>実技に関するレポート</b> (30分・400字以内)</p>	木箱	×1	パン	×1	瓶	×1	紙袋	×1	ケーキ	×1	皿	×1	プラスチックフォーク	×2	布	×1
木箱	×1																
パン	×1																
瓶	×1																
紙袋	×1																
ケーキ	×1																
皿	×1																
プラスチックフォーク	×2																
布	×1																
美術	<p>①<b>実技</b> (5時間30分)                      デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。                      ≪画用紙または木炭紙65cm×50cm≫</p> <p><b>[モチーフ]</b></p> <table border="0"> <tr><td>ポトス</td><td>×1</td></tr> <tr><td>リンゴ</td><td>×2</td></tr> <tr><td>水差し</td><td>×1</td></tr> <tr><td>布</td><td>×1</td></tr> </table> <p>②<b>実技に関するレポート</b> (30分・400字以内)</p>	ポトス	×1	リンゴ	×2	水差し	×1	布	×1								
ポトス	×1																
リンゴ	×2																
水差し	×1																
布	×1																
彫刻 (彫刻専攻)	<p>①<b>実技</b> (5時間30分)                      デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く。                      ≪画用紙または木炭紙65cm×50cm≫</p> <p><b>[モチーフ]</b></p> <table border="0"> <tr><td>マンダリーナ</td><td>×1</td></tr> <tr><td>箱椅子</td><td>×1</td></tr> </table> <p>②<b>実技に関するレポート</b> (30分・400字以内)</p>	マンダリーナ	×1	箱椅子	×1												
マンダリーナ	×1																
箱椅子	×1																
彫刻 (地域芸術専攻)	<p><b>小論文</b> (60分・800字以内)                      日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。</p> <p>地域 里山 空家 集落 環境 高齢化 過疎 社会 伝統 移住 二拠点 行政 若者                      都市 アート 保全 継続 学校 SDGs 家族 産業 農業 観光</p>																





学科・コース		科目・課題
音 楽	作曲・理論	<p>作曲 ①実 技</p> <p>(1)当日持参した自作品の審査及び口頭試問 自作曲の楽譜(編成・長さは自由, 最大2曲)を当日提出</p> <p>(2)作曲(80分) 与えられた旋律を冒頭におき, オーボエ独奏(ピアノ伴奏なし)のための小品を作りなさい。</p> <p>②面 接</p> <p>理論 ①実 技</p> <p>(1)当日持参した音楽に関するレポートの審査及び口頭試問 音楽に関するレポート(書式・長さは自由, 手書きに限る, 最大2点)を当日提出</p> <p>(2)実技(演奏) 楽器もしくは歌の楽曲, 1曲の演奏。音楽のジャンル, 楽器の種類, 選曲は自由。</p> <p>②面 接</p>
	音楽教育	【当該コース志願者なし】
	声 楽	<p>①実 技</p> <p>声乐(声楽曲及びコールユーブンゲン)(*)</p> <p>(*)『2024年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p> <p>②面 接</p>
	ピアノ	<p>①実 技</p> <p>ピアノ</p> <p>(1)練習曲または J. S. Bach 平均律ピアノ曲集(*)</p> <p>(2)ソナタ(*)</p> <p>(*)『2024年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p> <p>②面 接</p>
	弦管打楽	<p>①実 技</p> <p>それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器</p> <p>任意の楽曲または練習曲(自分の能力を最大限アピールできる楽曲を選曲のこと)</p> <p>②面 接</p>
	情報音楽	<p>①口頭試問</p> <p>持参した演奏映像に対する口頭試問</p> <p>②面 接</p>
文 芸	<p>①小論文または作文(180分・3,200字以内)</p> <p>次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。</p> <p>(1)「再会」という題で作文してください。</p> <p>(2)「病んでいる社会」という題で自由に論じてください。</p> <p>②面 接</p>	
演 劇	全コース	<p>①作 文(60分・800字程度)</p> <p>「意地悪する人」をタイトルとし, あなたの思うことや物語を自由に作文してください。</p> <p>②面 接</p>
	舞台構想	<p>実 技(グループディスカッション)(60分)</p> <p>これから発表するテーマについて, 皆で自由にディスカッションしてください。</p> <p>テーマを変えて2回行います。1回30分です。</p> <p>1.「舞台芸術にAIを持ち込むとしたら」(30分)</p> <p>2.「観劇マナーについて」(30分)</p>

学科・コース		科目・課題
演	演技	<p><b>実 技</b> (セリフ及び身体表現に関する適性試験)</p> <p><b>事前課題</b> 「ベン」と「ガス」両方の台詞を覚えて選抜に臨んでください。</p> <p><b>問 題</b> 課題戯曲を演じてください。「ベン」と「ガス」両方の役を順番に演じます。 ※ハロルド・ピンター著、喜志哲雄訳「料理昇降機」『ハロルド・ピンター全集I』新潮社、2006年、114ページ</p>
	舞台美術	<p>①<b>事前課題</b> (選考日当日持参) 自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ (A4サイズ), あるいは石膏像のデッサン及び水彩画等 (いずれも A2サイズ)</p> <p>②<b>実 技 (グループディスカッション)</b> (60分) これから発表するテーマについて、皆で自由にディスカッションしてください。 テーマを変えて2回行います。1回30分です。 1. 舞台芸術があなたに与えたもの (30分) 2. 理想の劇場 (30分)</p>
	劇	<p><b>舞 踊 (日舞)</b></p> <p><b>実 技</b> 任意の日本舞踊曲または日本の伝統舞踊 (郷土芸能を含む) を実演してください。</p>
	舞 踊 (洋舞)	<p><b>実 技</b></p> <p>①<b>基本運動</b> ストレッチ, ウォーミングアップ ムーブメント (モダンダンス・テクニック)</p> <p>②<b>イメージによる動き (インプロヴァイゼーション)</b> 題「砂と風」 ◆課題に従いイメージのダンス化 (動きのデザイン) 20分 (全員) ◆各自の発想の説明 約1分 (1人)</p>
放送	<p><b>【A アナウンサー志願者】</b></p> <p>①<b>適性をみる課題</b> テレビスタジオで音声・カメラテストを行う。 2分程度の自己紹介を考え、指定の原稿を読む。</p> <p>②<b>小論文</b> (80分・800字) 少子化は日本の社会経済全体に関わる先送りのできない「待ったなしの課題」です。我が国の出生数は7年連続で減少し2022年は初めて80万人を割り込んで77万747人でした。どうすれば出生数を増やすことができるのかを論述しなさい。</p> <p>③<b>面 接</b></p> <p><b>【B 放送分野志願者】</b></p> <p>①<b>適性をみる課題</b> 課題 故ジャーニー喜多川氏による性加害の問題で、旧ジャーニーズ事務所の記者会見等を受けて、NHKが9月27日に発表したコメントの方針についてあなたはどうか考えるか。まず15分間で自分の考えを指定の用紙に書き、その後、40分間のグループディスカッションを行い、議論を受けて自分の考えを15分間で用紙にまとめる。 ※「NHK 会長“ジャーニーズ所属タレントの新規出演依頼当面行わず”」NHK NEWS WEB 記事より抜粋, 2023年9月27日</p> <p>②<b>作 文</b> (60分・600字) 「あの時」</p> <p>③<b>面 接</b></p>	

学科・コース	科目・課題
デザイン	<p>①事前課題(選考日当日持参)            事前にホームページ上で公開された事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード(A2サイズ)2枚(面接時に使用します)            「自然災害とその対処法についてあなたが考えるデザイン提案をしてください」            [注意点]            A2サイズのボード1~2枚に完成させて当日持ってきてください。            ケントボードに直接描くか別の紙に描いたものをボードに貼っても構いません。            回答作品ですので折ったり丸めたりしないでください。            本課題は返却しません。            裏面の右下に名前(フルネーム)を記載してください。</p> <p>②小論文(120分・1,000字)            コロナウイルス感染症が5類に移行して、私たちの日常生活も徐々に流行以前の状態に戻って来ましたが、それに伴い諸々の問題が出てきました。            オーバーツーリズムの問題も深刻な事態を招いており、一部の地域では入域料を徴収するなどの対策を始めていますが根本的な解決方法はまだ模索中です。            これらの問題に関する以下の資料を読み解き、問題の背景と実態を整理分析し、資料に掲載されている地域以外での事象例をあげて、その特性を考慮したうえで、デザインでどのような問題解決が提案できるのか具体的に論じてください。</p> <p>添付資料：            (1) 新聞報道-京の観光公害再び…錦市場のなじみ客「今は行きにくい」、嵯峨野線は「パンク状態」  <small>※読売新聞オンライン記事, 2023年5月2日</small>            (2) 新聞報道-車道で撮影, 私有地侵入…スラムダンク“聖地”鎌倉オーバーツーリズム  <small>※産経新聞デジタル記事, 2023年7月15日</small>            (3) 学術論文 - 京都のオーバーツーリズムの現状と観光地のデ・マーケティング(抜粋)  <small>※奈良美和子, 前川佳一「京都のオーバーツーリズムの現状と観光地のデ・マーケティング」            京都大学経営管理大学院, 2019年2月5日</small>            (4) NHK NEWS WEB - 伊ベネチア 観光客数を抑えるため入場料徴収へ 1日5ユーロ  <small>※NHK NEWS WEB記事より抜粋, 2023年9月6日</small></p> <p>③実 技  <b>ドローイング(4時間)</b>            「三面図を読み解き、立体として手に持った様子を想像し描きなさい」            &lt;B3画用紙&gt;            ※ただし立方体の1辺が約20センチと想定すること            右記の三面図を読み解き、想定した立方体を手とともに描き込み            画用紙に鉛筆でデッサンしてください。構図、背景は自由に設定してください。            ・はかり棒は使用してもよい</p> <p>④面 接(プレゼンテーション含む)</p> <div style="text-align: right;"> <p>(三面図)</p>  </div>

※上記は、昨年度試験内容であるため、2025年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

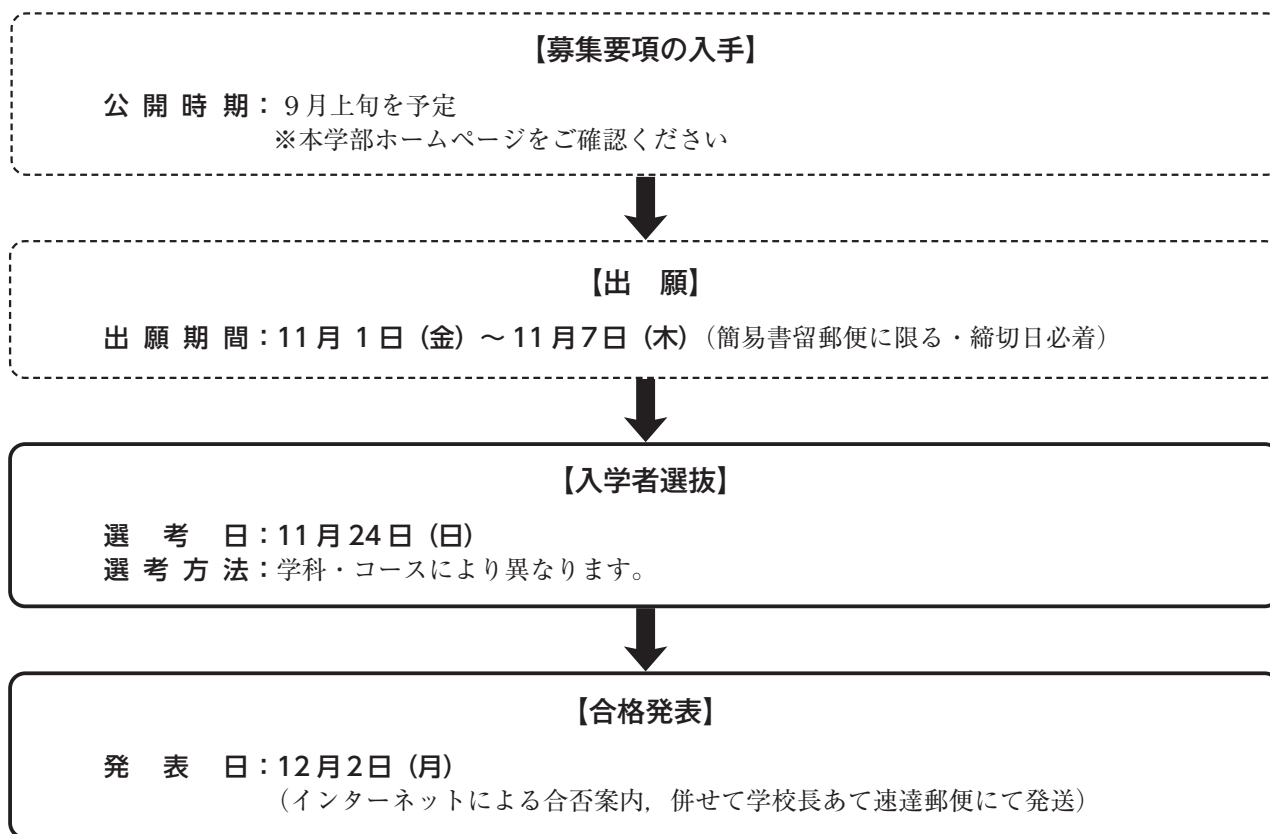
**全国から意欲ある受験生を求めます！**

学校推薦型選抜（公募制）は、学校推薦型選抜（指定校制）とは異なり、広く全国の高等学校あるいは中等教育学校等の現役生を対象にした推薦入学試験です。

皆さんの学力は、出身学校の調査書をもとに判断し、小論文、作文、面接、実技等の学科別試験によって適性を判定します。

**学校推薦型選抜（公募制）の流れ**

（期日はすべて2024年となります）

**学校推薦型選抜（指定校制）について**

試験日等については公募制と同様ですが、指定校については、高等学校経由でお知らせします。

戻る

## 1 募集方法

（期日はすべて2024年となります）

公募制

## 2 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		21名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技	18名
美 術	絵画, 彫刻	4名
音 楽	作曲・理論, 音楽教育, 声楽, ピアノ, 弦管打楽, 情報音楽	5名
文 芸		20名
演 劇	舞台構想, 演技, 舞台美術, 舞踊	30名
放 送		5名
デザイン		18名

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください

※ 学科・コースの併願はできません。

## 3 試験日程

内 容	期 日
出願期間及び方法	11月1日(金)~11月7日(木) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
選 考 日	11月24日(日)
合 格 発 表 日	12月2日(月) (インターネットによる合否案内, 併せて学校長あて速達郵便にて発送)
入 学 手 続 期 間	12月2日(月)~12月13日(金) ※入学時納入金は, 入学手続期間内に一括納入となります

※ 出願方法, 提出書類等の詳細は「募集要項」を確認してください

## 4 出願資格・出願要件

① 学業・人物が優秀で, 高等学校または中等教育学校等を2025年3月卒業見込みの者。

ただし, 本学付属高等学校等(26校)に在学の者は除きます。

② それぞれの分野に対する強い情熱を有し, 芸術的資質に恵まれていて, 将来性のある者。かつ合格した場合, 本学部に入学することを確約できる者。

③ 下記の学科で定めた資格を有する者

学 科	学科別の詳細
写 真	下記のAからCのいずれかの条件を満たす者 A 全体の学習成績の状況が3.0以上の者 B 「全国高等学校総合文化祭写真部門」に出展し, 高等学校文化連盟全国写真専門部の推薦書があり, 全体の学習成績の状況が2.7以上の者 C 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」ブロック予選に出場した選手で, 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」(東川町写真の町課)の推薦書があり, 全体の学習成績の状況が2.7以上の者
映 画	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
美 術	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 美術・デザイン・造形に関する専門科目を24単位以上修得見込みの者で, 全体の学習成績の状況が3.0以上の者。 B 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
音 楽	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 学校長が認めた音楽活動を行い, 全体の学習成績の状況が4.0以上の者。 B 音楽の単位を6単位以上修得見込みの者で, 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
文 芸	全体の学習成績の状況が3.8以上の者。
演 劇	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
放 送	全体の学習成績の状況が3.8以上の者。
デザイン	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。

## 5 推薦者

在学する高等(中等教育) 学校長



## 6 試験科目

学科・コース		科 目
写 真		①書類選考 ②小論文(60分・800~1,000字) ③面接
映 画	映像表現・理論コース	①書類選考 ②小論文(100分・1,000字程度) ③面接
	監督コース	①書類選考 ②小論文(100分・1,000字程度) ③面接
	撮影・録音コース	①書類選考 ②小論文(100分・1,000字程度) ③面接
	演技コース	①書類選考 ②実技(基礎的な音声及び身体表現) ③面接 ※服装については、動きやすい普段着とします
美 術	絵画コース(絵画専攻)	①書類選考 ②実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く〔6時間〕) ③面接
	絵画コース(版画専攻)	①書類選考 ②実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔6時間〕) ③面接
	彫刻コース(彫刻専攻)	①書類選考 ②実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔6時間〕) ③面接
	彫刻コース(地域芸術専攻)	①書類選考 ②小論文(60分・800字以内) ③面接
	※各コースとも、出願後すみやかに受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『募集要項』で指示します) ※実技については、出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンバス(F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません	
音 楽	作曲・理論コース(作曲)	①書類選考 ②実技((1)作曲 (2)任意の器楽曲または声楽曲の演奏) ③面接
	作曲・理論コース(理論)	①書類選考 ②小論文(80分・1,000字程度) ③実技(任意の器楽曲または声楽曲の演奏) ④面接
	音楽教育コース	①書類選考 ②小論文(60分・800字程度) ③実技(ピアノ) ④面接
	声楽コース	①書類選考 ②実技(声楽〔声楽曲〕) ③面接
	ピアノコース	①書類選考 ②実技(ピアノ) ③面接
	弦管打楽コース	①書類選考 ②実技(それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器) ③面接
	情報音楽コース	①書類選考 ②口頭試問 ③面接
※課題曲等の詳細については、40~43ページ『2025年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください。 ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください。詳細は『募集要項』で指示します。		
文 芸		①書類選考 ②小論文または作文(60分・800字以内) ③面接
演 劇	舞台構想コース	①書類選考 ②記述式の文章問題 ③面接
	演技コース	①書類選考 ②実技((1)演技 (2)音感・リズム感) ③面接 ※試験当日体操着及び上履きを持参してください
	舞台美術コース	①書類選考 ②実技(プレゼンテーション) ③面接 ※入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります
	舞踊コース(日舞)	①書類選考 ②実技(日本舞踊曲または日本の伝統舞踊(郷土芸能を含む)の実演) ③面接 ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください
	舞踊コース(洋舞)	①書類選考 ②実技(リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現) ③面接 ※稽古着(タイツ、レオタード等、シューズ可)を持参してください
※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する試験内容(日舞または洋舞)を演劇学科へ郵送してください(詳細は『募集要項』で指示します)		
放 送		①書類選考 ②小論文(80分・800字程度) ③面接
デザイン		①書類選考 ②実技 鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択 ※実技試験科目のいずれかを事前を選択する必要がありますので募集要項内で指定されたWebサイトより別途入力してください(詳細は『募集要項』で指示します) ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム(練ゴム)、カッターナイフ等を持参してください(デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ③面接



7 試験会場

芸術学部校舎

8 出願者に対する課題等

写真学科、音楽学科情報音楽コース、演劇学科舞台美術コース及びデザイン学科志願者は、面接試験の参考資料とするため、自作作品等を選考日当日に持参してください。（下表参照）

学 科	持 参 作 品 等
写 真	学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4サイズ） （写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写し可〕を加えてください） ※45ページの【写真学科】専門試験参考資料を参照
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるように準備して持参してください（口頭試問で参考にします）
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）
デザイン	自作作品5点。 なお、映像作品についてはタブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品等については、面接試験終了後に返却します。

9 募集要項

募集要項は9月上旬より公開予定です。詳細については、本学部ホームページにて確認してください。

10 出願資格確認等のための提出物

写真学科志願者のうちBまたはCの条件で出願する者は、出願資格の確認及び面接の参考とするため指定された推薦書を提出してください。また、音楽学科志願者のうちAの条件で出願する者は、出願資格の確認及び面接の参考とするため、「学校長が認めた音楽活動」を証明する資料を提出してください。審査の結果、条件を満たさないと判断された場合は、出願資格を充足しないことになり、出願書類は受理できません。

※証明する資料は出願期間内に提出してください（詳細は「募集要項」にてお知らせします）。

戻る

学校推薦型選抜

項目		募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	競争率 (A/B)	2023年度競争率
学科・コース							
写真学科		21	36 ( 12)	36 ( 12)	22 ( 11)	1.6倍	1.1倍
映画学科	映像表現・理論コース	18	19 ( 8)	19 ( 8)	5 ( 2)	3.8倍	3.3倍
	監督コース		27 ( 13)	27 ( 13)	5 ( 4)	5.4倍	5.5倍
	撮影・録音コース		12 ( 4)	12 ( 4)	7 ( 1)	1.7倍	1.8倍
	演技コース		26 ( 15)	26 ( 15)	4 ( 3)	6.5倍	7.7倍
	計	18	84 ( 40)	84 ( 40)	21 ( 10)	—	—
美術学科	絵画コース	2	13 ( 9)	13 ( 9)	6 ( 5)	2.2倍	2.5倍
	彫刻コース		0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	—
	計	2	13 ( 9)	13 ( 9)	6 ( 5)	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	5	1 ( 0)	1 ( 0)	1 ( 0)	1.0倍	1.0倍
	音楽教育コース		0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	—
	声楽コース		0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	—
	ピアノコース		3 ( 3)	3 ( 3)	1 ( 1)	3.0倍	1.0倍
	弦管打楽コース		0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	1.0倍
	情報音楽コース		18 ( 10)	18 ( 10)	8 ( 5)	2.3倍	1.3倍
計	5	22 ( 13)	22 ( 13)	10 ( 6)	—	—	
文芸学科		17	22 ( 12)	22 ( 12)	20 ( 12)	1.1倍	1.3倍
演劇学科	舞台構想コース	30	29 ( 27)	29 ( 27)	10 ( 9)	2.9倍	1.6倍
	演技コース		44 ( 35)	44 ( 35)	13 ( 11)	3.4倍	2.0倍
	舞台美術コース		11 ( 11)	11 ( 11)	5 ( 5)	2.2倍	1.3倍
	舞踊コース		9 ( 9)	9 ( 9)	2 ( 2)	4.5倍	2.3倍
	計	30	93 ( 82)	93 ( 82)	30 ( 27)	—	—
放送学科		5	36 ( 24)	35 ( 23)	5 ( 4)	7.0倍	5.6倍
デザイン学科		18	57 ( 34)	57 ( 34)	27 ( 18)	2.1倍	1.5倍
合計		116	363 (226)	362 (225)	141 ( 93)	—	—

( )内は女子内数


戻る

学科・コース		時間	字数	課 題
写 真		60分	800～ 1,000字	<小論文> デジタル写真とフィルム写真を比較し、それぞれの良さを理由とともにあなたの考えを述べなさい。
映 画 (演技を除く)		100分	1,000字 程度	<小論文> 次の文章を読み、「芸術におけるオリジナルとコピー」についてあなたが考えたことを述べなさい。 ※「デジタルツイン 踊るリアルな幻」朝日新聞日刊, 2023年10月2日記事より抜粋, 朝日新聞社
美 術 (彫刻コース 地域芸術専攻)		—	—	【当該専攻志願者なし】
音 楽	作曲・理論 (理論)	80分	1,000字 程度	<小論文> 次の三つのテーマの中から一つを選び、1,000字程度の小論文を書きなさい。 1. 音楽と私 2. 音楽の魅力 3. 理論コースで研究したい内容とその理由
	音楽教育	—	—	【当該コース志願者なし】
文 芸		60分	800字 以内	<小論文または作文> 次の二つのうち一つを選んで、文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください) ①「画面越しの人」が登場する話を作文してください。 ②「作家という生き方」について自由に論じてください。
演 劇 (舞台構想コース)		60分	—	<b>記述式の文章問題</b> [A] シェイクスピアの戯曲、『ハムレット』(小菅隼人訳)の冒頭部分(一幕一場)を読み、以下の設問に答えてください。 問1 この場面に自由にタイトルをつけてください(30字以内)。 問2 ホレイショーの性格をまとめてください(60字以内)。 問3 亡霊の目的は何か?あなたの考えを答えてください(60字以内)。 問4 今、この場面が劇場で上演されています。どんな音・音楽が聞こえてくるか、あなたのイメージを答えてください(60字以内)。 ※W.シェイクスピア著、小菅隼人訳、日本演劇学会分科会 西洋比較演劇研究会編「ハムレット」 『新訂ベスト・プレイズ—西洋古典戯曲12選』論創社、2011年、138～142ページ [B] 以下の問いに答えてください。(Aとは違う設問です) 問6 「演劇の到達点だ!」と話題の舞台作品があります。どんな作品なのか想像してその特徴を答えてください(120字以内)。
放送学科		80分	800字 程度	<小論文> 関東大震災から百年が経ちました。過去の災害の記憶を後世に継承していくためにあなたができることについて具体例を挙げて論じなさい。

※上記は、昨年度試験内容であるため、2025年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。  
※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

学科・コース		科目・課題											
映画 (演技)		<p><b>基礎的な音声及び身体表現</b>  <b>発声1</b> 次の内容をはっきりと述べてください。                  受験番号( )番,( 氏名 )です。出身は( 都道府県名 )で、学校は( 学校名 )高校を卒業する予定です。年齢は,( )歳です。  <b>発声2</b> 次の文章を朗読してください。                  ※アントニオ猪木「最後に勝つ負け方を知っておけ。」青春出版社, 2022年, 29~30ページ</p> <p><b>動作</b> 次の内容をしぐさのみで表現してください。                  [設定] 運搬用の台車に荷物を乗せて運ぶ</p> <p>台車に大きな段ボール三個を重ねて置く。かなりの重さである。載せた台車を押すが、バランスが悪い。押していくと段差がある。前方のキャスターを浮かそうとするが、重くて上がらない。困っていると友人がやってくる。友人に、ハンドルの方を担当してもらい、自分は台車の前方を持ち上げる。勢い余って、荷物が崩れ落ちてしまう。幸い二人とも怪我はなかった。私は台車のみを段差のあるところから移動し、荷物を二人で載せ直す。二人で気をつけて、運んでいく。                  (そのまま退出してください)</p>											
美術	絵画 (絵画専攻)	<p><b>実技</b>                  (油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く)                  (6時間) ≪油彩・アクリル選択者はF 15号キャンバス, 木炭選択者は木炭紙65cm×50cm, 鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>牛骨</td><td>×1</td></tr> <tr><td>りんご</td><td>×1</td></tr> <tr><td>レンガ</td><td>×1</td></tr> <tr><td>ワインボトル</td><td>×1</td></tr> <tr><td>布</td><td>×1</td></tr> </table>		牛骨	×1	りんご	×1	レンガ	×1	ワインボトル	×1	布	×1
	牛骨	×1											
	りんご	×1											
レンガ	×1												
ワインボトル	×1												
布	×1												
絵画 (版画専攻)	<p><b>実技</b>                  (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く)                  (6時間) ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>フィロデンドロン</td><td>×1</td></tr> <tr><td>実</td><td>×1</td></tr> <tr><td>毛糸</td><td>×1</td></tr> <tr><td>布</td><td>×1</td></tr> </table>		フィロデンドロン	×1	実	×1	毛糸	×1	布	×1			
フィロデンドロン	×1												
実	×1												
毛糸	×1												
布	×1												
彫刻 (彫刻専攻)	【当該専攻志願者なし】												
音楽	作曲・理論 (作曲)	【当該専攻志願者なし】											
	作曲・理論 (理論)	任意の器楽曲または声楽曲の演奏											
	音楽教育	【当該コース志願者なし】											
	声楽	【当該コース志願者なし】											
	ピアノ	<p><b>ピアノ</b>(*)                  (※)『2024年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p>											
	弦管打楽	【当該コース志願者なし】											
情報音楽	<p><b>口頭試問</b>                  持参した演奏動画に対する口頭試問</p>												
演劇	演技	<p><b>実技</b>  <b>①演技</b>                  次の戯曲を演じて、そのあとを即興演技で続けてください(1分程度)。                  ※ヨン・フォッセ著, 河合純枝訳「だれか、来る」『舞台芸術05』月曜社, 2004年, 269ページより抜粋</p> <p><b>②音感・リズム感</b>  <b>【音感】</b>                  アカベラで一人ずつ歌う(1分程度, 自由課題)。  <b>【リズム感】</b>                  カウントに合わせて、歩く、振り返る動作を行う。                  カウントに合わせて、2ステップで歩く。</p>											



学科・コース		科目・課題						
演劇	舞台美術	<p><b>プレゼンテーション</b></p> <p>別紙の戯曲を上演するにあたり、視覚的なアイデアをプレゼンテーションしてください。空間をどう設定するか、構成する要素は何か、具体的に提案してください。</p> <p>60分間、プレゼンテーションシート（形式自由）を作成し、その後、それについて口頭で5分間のプレゼンテーションを行います。</p> <p>※カレル・チャペック著、大久保ゆう訳「RUR—ロッサム世界ロボット製作所」青空文庫</p>						
	舞踊（日舞）	【当該専攻志願者なし】						
	舞踊（洋舞）	<p><b>リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現</b></p> <p>①ストレッチ、ウォーミングアップ ②ムーブメント（モダンダンス・テクニク） ③イメージによる動き（インプロヴァイゼーション）</p> <p>課題『浮力』</p> <p>◆課題に従いイメージのダンス化（動きのデザイン）（全員） *各自得意なジャンルに合わせて自由に… ◆各自発想の説明（約1分）</p>						
デザイン	<p><b>鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択</b></p> <p>①鉛筆によるデッサン（4時間）≪B3画用紙≫ 与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。 *はかり棒は使用可</p> <p>[モチーフ]</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>水出し珈琲ポット</td> <td style="text-align: right;">×1</td> </tr> <tr> <td>山型クリップ</td> <td style="text-align: right;">×1</td> </tr> <tr> <td>プロショップタオルヘビーデューティー</td> <td style="text-align: right;">×1</td> </tr> </table> <p>条件</p> <p>(1)机の上に置いてある「水出しコーヒーポット」と「クリップ」「ショップタオル」をセットする。「ショップタオル」はそのままではなく変形させること。「コーヒーポット」のフィルター部分は出さずに描くこと。（蓋は外すことも可。）固定にはねりゴムを使用してもよい。</p> <p>(2)台紙は描かなくてもよい。</p> <p>(3)配布したコピー用紙（A3）は下書きに使ってもよい。</p> <p>(4)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。</p> <p>②デザインプレゼンテーション（4時間）≪B3ケント紙+PMパッド1枚≫ あなたたちの接する「公共交通機関」の中から問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。</p> <p>※「公共交通機関」という言葉について 公共交通機関（こうきょうこうつうきかん、英語：public transport）とは、不特定多数の人々が利用する交通機関を指す。なお、タクシーについては、これを公共交通機関に含むという解釈と含まないという解釈がある。* ※今回は含めても良い。</p> <p>この「公共交通機関」の中の問題に対してデザインでどのような解決できるのか具体的に提案してください。もしくは、気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。</p> <p>例えば、新しい「製品・道具」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。</p> <p>条件</p> <p>(1)用紙は2枚あります。PMパッド（薄い紙）1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。</p> <p>(2)表現方法は自由（個人で用意した鉛筆、および配布された色鉛筆のみを使用すること）</p> <p>(3)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。</p> <p>(4)用紙は2枚とも提出とし、2枚の総合評価とする。</p> <p>(5)定規・コンパスは使用不可。</p>	水出し珈琲ポット	×1	山型クリップ	×1	プロショップタオルヘビーデューティー	×1	
水出し珈琲ポット	×1							
山型クリップ	×1							
プロショップタオルヘビーデューティー	×1							

※上記は、昨年度試験内容であるため、2025年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

## 2月・3月で3回入学者選抜を実施します！

芸術学部が実施する一般選抜には、学力検査のみ実施する【学力検査型】と学力検査と各学科の専門試験を実施する【専門試験併用型】があり、2月にN全学統一方式（第1期）【学力検査型】と【専門試験併用型】、3月にN全学統一方式（第2期）【学力検査型】を実施します。



### 学力検査型と専門試験併用型の違いについて

比較項目	学力検査型	専門試験併用型
方式	日本大学が同一試験日に実施する試験です。	日本大学が同一試験日に実施する学力検査に加え、学科により専門試験期日が設定されます。
試験会場	全国各地の会場で実施します。 ※第1期と第2期で実施会場が異なります。	学力検査は全国各地の会場で実施します。 専門試験は芸術学部校舎で実施します。
併願	日本大学の複数学部(学科)や、本学部内の複数学科の併願が可能です。	受験学科により併願が可能です。
試験科目	学科指定の試験科目(学力検査)のみ実施します。 各学科の専門試験は実施しません。	学力検査(外国語・国語)及び各学科の専門試験(学科・コースにより科目は異なります)を実施します。

### 一般選抜の流れ

#### 【一般選抜募集要項の入手】

2024年10月頃に日本大学ホームページ上で公開する予定です。



#### 【出願】

2025年1月6日(月)より、日本大学入試センターで郵送受付を開始します  
(出願締切日必着。また、試験により出願締切日は異なります)。

	出願締切日	学力検査日	専門試験日	合格発表日時	入学手続締切日	二段階最終入学手続締切日	
学力検査型(第1期)	1月22日(水)	2月1日(土)		2月10日(月) 13:00	2月20日(木)	3月11日(火)	
専門試験併用型			映画学科	2月2日(日)			2月17日(月) 13:00
			文芸学科 デザイン学科	2月2日(日)または 2月10日(月)			
			放送学科	2月3日(月)			
			美術学科	2月3日(月)または 2月10日(月)			
			写真学科	2月4日(火)			
			音楽学科	2月5日(水)			
演劇学科	2月4日(火) 2月5日(水)						
学力検査型(第2期)	2月25日(火)	3月4日(火)		3月13日(木) 13:00	3月18日(火)		



戻る

N全学統一方式学力検査型は、日本大学の学部・学科間併願だけでなく、芸術学部内の複数学科への併願が可能です。あらゆる学問領域を網羅し、同じ学問領域においても多面的アプローチが可能な学部・学科を擁する日本大学だからこそ、1回の受験で複数の学科を併願することができるのは大きなメリットです。



## POINT ▶ 1

**学部間併願，同一学部内の複数学科への併願もできる**  
 複数の学部・学科を同一試験日，同一問題で併願できます。学部間併願はもちろん，同一学部内の複数学科への併願も可能で多彩な併願パターンを選択することができます。

## POINT ▶ 2

### 入学検定料の負担を軽減

入学検定料は18,000円と受験生の負担を軽減し，安心して受験に臨んでいただけます。  
 ※専門試験併用型の入学検定料については『一般選抜募集要項』をご確認ください。

## N全学統一方式 (第1期) 学力検査型

実施学部	芸術	法	文理	経済	商	国際	危機管理	スポーツ科	理工	生産工	工	医	歯	松戸歯	生物資源科	薬	短大			
																	ビジネス	デザイン	生活・建築	総合サイエンス

## POINT ▶ 3

N全学統一方式第1期

### 全学部全学科において実施する日本最大級の統一入試

16学部86学科・短期大学部4学科，計90学科で実施します。関心のある学部・学科間で併願しやすく，学部選択で悩む受験生の進路選択の一助になります。

## POINT ▶ 4

N全学統一方式第1期

### 2月1日実施の試験なので，早めの入試対策が可能！

首都圏の大学の一般選抜が本格化するのは2月10日前後。2月1日に実施するN全学統一方式第1期なら，受験の機会も増えて，併願計画が立てやすくなります。

## POINT ▶ 5

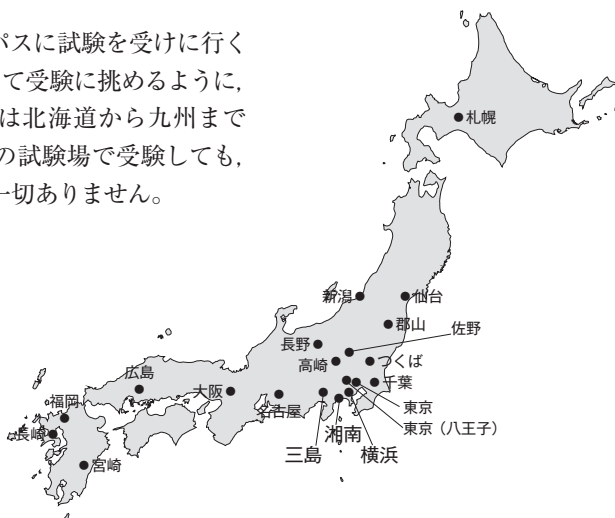
N全学統一方式第1期

### 全国各地に試験場を設置

遠方から首都圏のキャンパスに試験を受けに行く負担や不安がなく，安心して受験に挑めるように，N全学統一方式第1期では北海道から九州まで全国に試験場を設置。どの試験場で受験しても，合否判定に有利・不利は一切ありません。

#### 試験場一覧 (昨年度参考)

札幌/仙台/郡山/つくば/佐野/高崎/千葉/東京/東京(八王子)/横浜/湘南/新潟/長野/三島/名古屋/大阪/広島/福岡/長崎/宮崎



※上記の試験場は予定であり，変更になる場合がありますので，必ず募集要項でご確認ください。また，試験場については，収容人員の関係上，希望にそえない場合があります。

## N全学統一方式 (第2期) 学力検査型

実施学部	芸術	法	文理	経済	商	危機管理	スポーツ科	理工	生産工	工	医	歯	松戸歯	生物資源科	薬	短大
																ビジネス

## POINT ▶ 6

N全学統一方式第2期

### 試験日が3月4日。3月に受験することができる統一入試

3月に受験できる大学は比較的少ない上，多くの大学が大学入学共通テスト利用入試なので，今一度自分の力を発揮できるチャンスです。併願することにより一回の受験で合格のチャンスを広げることができます。

## 1 出願手続

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月6日(月)～1月22日(水)

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください  
 ※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

## 2 選考日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また、本試験では学科専門試験を実施しません。

選考日	学科 (コース)	募集 人員	教 科	科 目※1	時間	配 点
2月1日 (土)	映画 (全コース)	8	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点
			外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点
	文芸	3	地理歴史	「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」 「公共, 政治・経済」	60分	100点
			公民	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・数学B(数列)・ 数学C(ベクトル)」		
	演劇 (全コース)	2	数学①	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」		
			理科	のうちから1科目選択 ※2		
	放送	10	理科	のうちから1科目選択 ※2		
			理科	のうちから1科目選択 ※2		
	美術 (全コース)	1	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	各 60分	200点 (100点 ×2)
			外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」		
地理歴史			「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」 「公共, 政治・経済」			
公民			「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・数学B(数列)・ 数学C(ベクトル)」			
数学①			「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・ 数学B(数列)・数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」			
数学②			「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」			
デザイン	2	理科	のうちから2科目選択 ※2 (ただし, 「理科」間の組合せは不可)			
		外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点	
		国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	各 60分	200点 (100点 ×2)	
		地理歴史	「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」 「公共, 政治・経済」			
		公民	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・数学B(数列)・ 数学C(ベクトル)」			
		数学①	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・ 数学B(数列)・数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」			
数学②	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」					
理科	のうちから2科目選択 ※2 (ただし, 「理科」間の組合せは不可)					
写真	3	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点	
		外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点	
音楽 (全コース)	3	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点	

※1 選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します  
 ※2 「理科」については、医学部併願者は2科目選択、その他の出願者は1科目のみ選択となります。2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」「第2解答科目」に区分し、合否判定に使用する場合は、「第1解答科目」のみを使用します  
 ※3 専門試験併用型の学力検査科目は、外国語(英語)及び国語の2科目を指定しているため、学力検査型における美術学科又はデザイン学科と専門試験併用型をどちらも受験する場合は、選択科目のうち外国語(英語)及び国語を選択してください。

戻る

### 3 合格発表及び入学手続

#### 1 合格判定

すべての学科とも、学力検査の総合得点により合格判定を行います。

#### 2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

合格発表日時	発表方法	入学手続締切期日
2月10日(月) 13:00	インターネットによる合否案内	2月20日(木)

所定の手続を行うことにより、3月11日(火)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)。

#### 本試験についての注意事項【重要】

各学科の試験教科及び科目については26ページに記載のとおりですが、同一時間割での実施の場合は、受験可能な科目が制限されます。また、併願する学部(学科)により受験教科及び科目が異なりますので、これらの点も含めた本試験の詳細については、[日本大学ホームページ](#)、[一般選抜募集要項](#)等で必ず確認してください。

## 一般選抜 N 全学統一方式 (第 1 期) 結果

[昨年度参考]

2024 年度

学科・コース	項目	募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A/B)	2023年度競争率	総点	合格者最低点	
									2024年度	2023年度
写真学科		3	71 (28)	65 (25)	8 (2)	8.1倍	5.9倍	300	221	223
映画学科	映像表現・理論コース	8	108 (47)	101 (45)	13 (4)	7.8倍	7.5倍	300	227	235
	監督コース		44 (21)	42 (21)	4 (2)	10.5倍	7.7倍		224	234
	撮影・録音コース		42 (20)	41 (20)	7 (2)	5.9倍	4.9倍		205	195
	演技コース		37 (25)	37 (25)	3 (3)	12.3倍	15.0倍		232	226
	計	8	231 (113)	221 (111)	27 (11)	—	—	—	—	—
美術学科	絵画コース	2	31 (19)	29 (18)	4 (3)	7.3倍	51.0倍	200	132	196
	彫刻コース		24 (12)	22 (10)	6 (1)	3.7倍	1.5倍		129	112
		計	2	55 (31)	51 (28)	10 (4)	—	—	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	3	26 (6)	25 (6)	6 (2)	4.2倍	5.8倍	200	140	142
	音楽教育コース		10 (8)	10 (8)	4 (4)	2.5倍	—		106	—
	声楽コース		6 (3)	6 (3)	2 (1)	3.0倍	1.6倍		143	112
	ピアノコース		10 (8)	9 (7)	1 (1)	9.0倍	1.6倍		132	127
	弦管打楽コース		3 (0)	3 (0)	1 (0)	3.0倍	—		141	—
	情報音楽コース		88 (35)	83 (33)	10 (4)	8.3倍	6.1倍		135	148
	計	3	143 (60)	136 (57)	24 (12)	—	—	—	—	—
文芸学科		6	152 (79)	143 (75)	28 (15)	5.1倍	6.3倍	200	133	155
演劇学科	舞台構想コース	3	37 (31)	37 (31)	6 (4)	6.2倍	21.3倍	200	131	156
	演技コース		42 (32)	40 (30)	1 (1)	40.0倍	60.0倍		161	171
	舞台美術コース		37 (29)	36 (28)	9 (8)	4.0倍	1.4倍		112	93
	舞踊コース		14 (13)	14 (13)	0 (0)	—	1.3倍		—	101
	計	3	130 (105)	127 (102)	16 (13)	—	—	—	—	—
放送学科		10	250 (146)	243 (142)	37 (23)	6.6倍	3.1倍	300	194	190
デザイン学科		2	119 (78)	114 (75)	6 (3)	19.0倍	12.5倍	200	153	170
合計		37	1,151 (640)	1,100 (615)	156 (83)	—	—	—	—	—

( ) 内は女子内数

## 1 出願手続・出願要件・併願

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月6日(月)～1月22日(水)

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください

※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

## 《出願要件》

一般選抜N全学統一方式専門試験併用型に出願するためには、芸術学部学科・コースの学力検査型を1学科以上出願し、外国語(英語)及び国語を受験する必要があります(専門試験併用型のみ出願は認めません)。

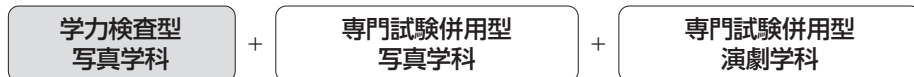
## 《併願について》

専門試験併用型では、2月2日(日)から2月10日(月)の間で各学科が専門試験を実施します。専門試験日が分かれば併願も可能なので、下記の専門試験日一覧表をご確認ください。

## ○ 併願が可能な例：



## × 併願ができない例：



## 2 試験日程

学 科	2/1(土)	2/2(日)	2/3(月)	2/4(火)	2/5(水)	2/10(月)	
写 真	学力検査			専門試験			
映 画		専門試験					
美 術			専門試験※			専門試験※	
音 楽					専門試験		
文 芸		専門試験※				専門試験※	
演 劇				専門試験(2日間)			
放 送			専門試験				
デザイン		専門試験※					専門試験※

※ 美術学科・文芸学科・デザイン学科の専門試験日は、出願時に複数日程のうち1日を選択してください。

## 3 試験会場

学力検査	専門試験
全国各地の試験場(25ページ参照)	芸術学部校舎(東京都)

## 4 試験科目・配点

## 1 学力検査科目

教 科	科 目	試験時間
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	60分
国 語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分

※ 全問マークシート方式

## 2 学科(コース)別試験科目・募集人員

学科	募集人員	コース	学力検査		専門試験						総合点
			外国語	国語	小論文	作文	実技	面接	配点	備考	
写真	15	—						●	200点		400点
映画	40	映像表現・理論			●			●	150点		350点
		監督			●			●	150点		350点
		撮影・録音			●			●	150点		350点
		演技					●	●	150点		350点
美術	14	絵画					●※	●	300点	※レポートを含む	500点
		彫刻			●※		●※	●	300点	※彫刻専攻は実技(レポートを含む), 地域芸術専攻は小論文	500点
音楽	25	作曲・理論			●※		●	●	300点	※小論文は理論のみ	500点
		音楽教育			●		●	●	300点		500点
		声楽	●	●			●	●	300点		500点
		ピアノ	●	●			●	●	300点		500点
		弦管打楽					●	●	300点		500点
		情報音楽					●	●	300点		500点
文芸	30	—						●	100点		300点
演劇	36	舞台構想				●		●	200点		400点
		演技					●	●	200点		400点
		舞台美術					●	●	200点		400点
		舞踊					●	●	200点		400点
放送	56	—				●		●	200点		400点
デザイン	20	—					●	●	300点		500点

試験科目は、小論文、作文、実技、面接等で、学科・コース(専攻)により実施内容が異なります。詳細については次ページを参照してください。

## 5 合格発表及び入学手続

### 1 合格判定

すべての学科とも、学力検査及び専門試験の総合得点により合格判定を行います。

### 2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

合格発表日時	発表方法	入学手続締切期日
2月17日(月) 13:00	インターネットによる合否案内	3月5日(水)

所定の手続を行うことにより、3月18日(火)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)。



戻る

学科・コース		科 目
写 真		面接 (A4判の芸術学部面接票を1枚および写真学科面接資料2枚を記入する時間を設けます 制限時間40分)
映 画	映像表現・理論コース	①小論文(80分・800字程度) ②面接
	監督コース	①小論文(80分・800字程度) ②面接
	撮影・録音コース	①小論文(80分・800字程度) ②面接
	演技コース	①実技(基礎的な音声及び身体表現) ②面接
美術 (2月3日試験、 2月10日試験、 共通)	絵画コース(絵画専攻)	①実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	絵画コース(版画専攻)	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	彫刻コース(彫刻専攻)	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	彫刻コース(地域芸術専攻)	①小論文(60分・800字以内) ②面接
※各コースとも、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ※実技については、出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンパス(F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません		
音 楽	作曲・理論コース(作曲)	①実技(作曲) ②口頭試問 ③面接
	作曲・理論コース(理論)	①小論文(80分・1,000字程度) ②口頭試問 ③面接
	音楽教育コース	①小論文(60分・800字程度) ②実技(ピアノ) ③面接
	声楽コース	①実技(声楽〔声楽曲〕) ②面接
	ピアノコース	①実技(ピアノ) ②面接
	弦管打楽コース	①実技(それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器) ②面接
	情報音楽コース	①口頭試問 ②面接
※課題曲等の詳細については、40~43ページの『2025年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します)		
文 芸 (2月2日試験, 2月10日試験共通)		面接(当日面接前に、自己アピールとして「これまで頑張ってきたこと」「これから成し遂げたいこと」 「印象に残った本」等を記入する時間を設けます。制限時間30分)
演 劇	舞台構想コース	①作文(60分・600字) ②面接
	演技コース	①実技((1)演技 (2)音感・リズム感) ②面接 ※試験当日体操着及び上履きを持参してください
	舞台美術コース	①実技(プレゼンテーション) ②面接 ※入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります
	舞踊コース(日舞)	①実技(日本舞踊曲または日本の伝統舞踊〔郷土芸能を含む〕の実演) ②面接 ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください
	舞踊コース(洋舞)	①実技(リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現) ②面接 ※稽古着(タイツ、レオタード等、シューズ可)を持参してください
※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する試験内容(日舞または洋舞)を演劇学科へ郵送してください (詳細は『一般選抜募集要項』で指示します)		
放 送		①作文(60分・600字程度) ②面接
デザイン (2月2日試験, 2月10日試験共通)		①実技 鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択 ※実技試験科目のいずれかを事前に選択する必要がありますので『一般選抜募集要項』内で指 定されたWebサイトより別途入力してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム(練ゴム)、カッターナイフ等を持 参してください(デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ②面接

一般選抜

■ 持参作品等

音楽学科作曲・理論コース、情報音楽コースは口頭試問の参考とするため、また、演劇学科舞台美術コース及びデザイン学科志願者は面接試験の参考資料とするため、自作作品を専門試験日当日に持参してください(下表参照)。

学 科	持参作品等
音 楽	作曲・理論コース(作曲)志願者と作曲・理論コース(理論)志願者は、楽器または声楽の演奏画面(3分以内)を志願者本人であることがはっきり確認できる形で作成し、志願者本人が持参するスマートフォン、タブレット、PC等で再生できるよう準備して持参してください。 情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ(A4サイズ)
デザイン	自作作品5点。なお、映像作品については、タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品については、面接試験終了後に返却します

# 一般選抜 A 個別方式結果

戻る

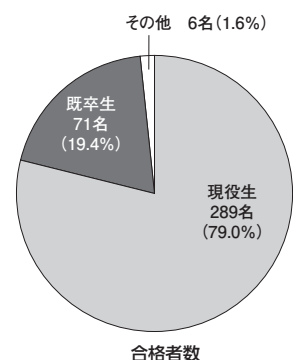
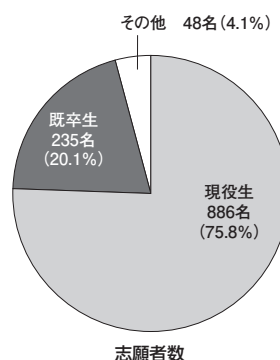
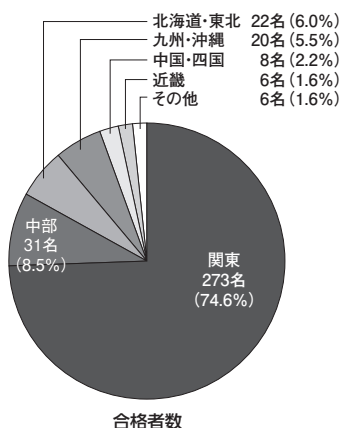
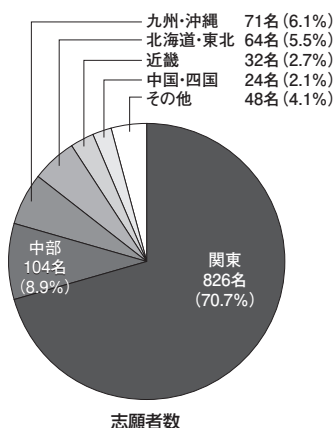
学科・コース	項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A/B)	2023年度 競争率	総点	合格者最低点		
								2024年度	2023年度	
写真学科	19	63 ( 39)	62 ( 38)	29 ( 13)	2.1倍	1.6倍	400	277	245	
映画学科	映像表現・理論コース 監督コース 撮影・録音コース 演技コース	40	97 ( 40)	87 ( 33)	19 ( 11)	4.6倍	2.8倍	350	242	224
			51 ( 21)	41 ( 17)	8 ( 2)	5.1倍	6.4倍		229	256
			42 ( 22)	39 ( 21)	15 ( 13)	2.6倍	2.7倍		232	213
			61 ( 40)	57 ( 37)	6 ( 5)	9.5倍	10.8倍		226	236
	計	40	251 (123)	224 (108)	48 ( 31)	—	—	—	—	
美術学科	(2/6・7試験) 絵画コース	20	26 ( 16)	23 ( 14)	9 ( 5)	2.6倍	2.9倍	500	325	334
			(2/13・14試験) コース計	71 ( 40)	59 ( 33)	17 ( 14)	3.5倍		3.9倍	314
	(2/6・7試験) 彫刻コース	20	5 ( 0)	5 ( 0)	1 ( 0)	5.0倍	1.5倍		333	330
			(2/13・14試験) コース計	13 ( 6)	11 ( 5)	7 ( 4)	1.6倍		1.5倍	325
	計	20	115 ( 62)	98 ( 52)	34 ( 23)	—	—		—	—
	音楽学科	作曲・理論コース 音楽教育コース 声楽コース ピアノコース 弦管打楽コース 情報音楽コース	25	4 ( 2)	4 ( 2)	4 ( 2)	1.0倍		5.0倍	500
12 ( 8)				12 ( 8)	5 ( 4)	2.4倍	1.0倍	337	309	
3 ( 3)				3 ( 3)	2 ( 2)	1.5倍	1.3倍	334	311	
8 ( 7)				8 ( 7)	4 ( 3)	2.0倍	1.3倍	362	322	
10 ( 5)				10 ( 5)	7 ( 4)	1.4倍	1.1倍	308	336	
71 ( 24)				66 ( 21)	15 ( 6)	4.4倍	4.1倍	356	347	
計	25	108 ( 49)	103 ( 46)	37 ( 21)	—	—	—	—		
文芸学科	30	126 ( 61)	114 ( 55)	47 ( 31)	2.4倍	2.7倍	300	190	191	
演劇学科	舞台構想コース 演技コース 舞台美術コース 舞踊コース	42	48 ( 42)	46 ( 41)	23 ( 22)	2.0倍	2.5倍	400	254	247
			48 ( 32)	45 ( 30)	19 ( 10)	2.4倍	7.8倍		250	269
			9 ( 8)	8 ( 7)	5 ( 4)	1.6倍	1.0倍		203	266
			14 ( 14)	13 ( 13)	8 ( 8)	1.6倍	1.4倍		260	281
	計	42	119 ( 96)	112 ( 91)	55 ( 44)	—	—	—	—	
放送学科	54	189 (104)	185 (103)	71 ( 43)	2.6倍	2.2倍	400	233	210	
デザイン学科	20	198 (114)	173 (101)	45 ( 36)	3.8倍	2.4倍	500	358	348	
合計	250	1,169 (648)	1,071 (594)	366 (242)	—	—	—	—	—	

( ) 内は女子内数

一般選抜

【出身校地域別人数】

【現役生・既卒生等別人数】



戻る




学科・コース	時間	字数	課 題	
映 画 (演技を除く)	80分	800字程度	<小論文> 次の文章を読み、あなたが考えたことを述べなさい。 ※本村凌二「独裁の世界史」NHK出版新書、2020年、52～54ページ	
美 術 (地域芸術) (2月6日・7日試験)	60分	800字以内	<小論文> 日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。  地域 里山 空家 廃校 集落 高齢化 少子化 過疎 伝統 行政 若者 都市 学校 SDGs 一極集中 税金 震災 移住 雇用創出 関係人口	
美 術 (地域芸術) (2月13日・14日試験)	60分	800字以内	<小論文> 日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。  空家 インバウンド 集落 少子化 過疎 伝統 行政 SDGs 一極集中 税金 震災 地産 雇用創出 関係人口 社会貢献 基金 地方創生 リレーショナル・アート エンゲージド・アート	
音 楽	作曲・理論 (理論)	80分	1,000字程度	<小論文> 次の三つのテーマの中から一つを選び、1,000字程度の小論文を書きなさい。  1. 音楽と私 2. 現代社会と音楽 3. 将来研究したいこと
	音楽教育	60分	800字程度	<小論文> 次のテーマから1つを選び、800字程度の小論文を書きなさい。  1. 生徒が多様化する現代の学校において音楽科の授業や音楽活動を行う意義について 2. 学校の音楽科教員と個人レッスンの音楽教師の違いについて 3. 感染症の大流行や大規模災害などの社会的な困難が生じたときの音楽の役割について
演 劇 (舞台構想)	60分	600字	<作文> 「三者三様」をタイトルとし、あなたの思うことや物語を自由に作文してください。	
放 送	60分	600字程度	<作文> 「ラッキー」	

※上記は、昨年度試験内容であるため、2025年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

一般選抜 A 個別方式実技科目 (課題) 一覧

戻る


学科・コース		科目・課題		
美術 (2月6日・7日試験)		映画 (演技)	<p><b>基礎的な音声及び身体表現</b></p> <p><b>発声1</b> 次の内容をはっきりと述べてください。                      受験番号( )番,(氏名)です。出身は(都道府県名)で,学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は,( )歳です。</p> <p><b>発声2</b> 次の文章を朗読してください。                      ※吉野源三郎「君たちはどう生きるか」マガジンハウス,2018年,316~317ページ</p> <p><b>動作</b> 次の内容をしぐさのみで表現してください。                      [設定] 下校途中。自校の野球部が試合をしている野球場の脇を通っている。</p> <p>そういえば練習試合があると誰かが言っていたな,と思い出した。                      フェンス越しに見ると,我が校のチームが勝っている。                      試合は9回の裏,相手の攻撃。この回を抑えれば勝利だ。                      勝て!と応援する。                      先輩のピッチャーが,バッターを三振に取り,勝利する。                      フェンス越しに見ていた皆も,喜んでいる。                      見終えた生徒たちが興奮しながら帰っていく中,一人で,帰っていく。                      (そのまま退場してください)</p>	
		絵画 (絵画専攻)	<p>①<b>実技</b> (油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し,人物を描く) (5時間30分)                      ≪油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス,                      木炭選択者は木炭紙65cm×50cm,鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm≫</p> <p><b>[モチーフ]</b>                      人物(コスチューム)                      コスチューム:ハイネックTシャツ,ニットショートジャケット,タックパンツ,                      パンプス</p> <p>椅子 ×1                      布を敷いたモデル台(白) ×1</p> <p>②<b>実技に関するレポート</b> (30分・400字以内)</p>	
		絵画 (版画専攻)	<p>①<b>実技</b> (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し,静物を描く) (5時間30分)                      ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫</p> <p><b>[モチーフ]</b></p> <p>植物 ×1                      木箱 ×1                      松ぼっくり ×2                      布 ×1</p> <p>②<b>実技に関するレポート</b> (30分・400字以内)</p>	
彫刻 (彫刻専攻)	<p>①<b>実技</b> (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し,モノと空間を描く)                      (5時間30分) ≪画用紙または木炭紙65cm×50cm≫</p> <p><b>[モチーフ]</b></p> <p>マンリョウ ×1                      箱イス ×1                      木箱 ×1</p> <p>②<b>実技に関するレポート</b> (30分・400字以内)</p>			

一般選抜



学科・コース		科目・課題	
美術 (2月13日・14日試験)	絵画 (絵画専攻)	<p>①実技 (油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く) (5時間30分)                      ≪油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス、                      木炭選択者は木炭紙65cm×50cm、鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]                      人物 (コスチューム)                      コスチューム：フリースカーディガン, デニムパンツ, スニーカー                      椅子 × 1                      布を敷いたモデル台 (白) × 1</p>	
	絵画 (版画専攻)	<p>①実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く)                      (5時間30分) ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]                      植物 × 1                      レンガ × 1                      バケツ × 1                      布 × 1</p>	
	彫刻 (彫刻専攻)	<p>①実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く)                      (5時間30分) ≪木炭紙または画用紙 65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]                      フィカス・ウンベラータ × 1                      箱イス × 1</p>	
音楽	作曲・理論 (作曲)	<p>①作曲 (80分)                      次の旋律を冒頭におき、オーボエ独奏 (ピアノ伴奏無し) のための小品を作りなさい。                      ②和声または楽典 (80分)                      ③任意の器楽曲または声楽曲の演奏</p>	
	作曲・理論 (理論)	<p>①楽典 (80分) ②任意の器楽曲または声楽曲の演奏</p>	
	音楽教育	<p>①楽典 (60分) ②ピアノ</p>	
	声楽	<p>①声楽 (声楽曲及びコールユーブンゲン) ②楽典 (60分) ③ピアノ</p>	
	ピアノ	<p>①ピアノ ②楽典 (60分)</p>	
	弦管打楽	<p>①それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 ②楽典 (60分) ③ピアノ</p>	
	情報音楽	<p>口頭試問</p>	
演劇	演技 (音感・リズム感を含む)	<p>①演技                      次のシーンを演じてください。                      ※注1 「魔女1」「魔女2」「魔女3」の全てを順番に演じます。                      ※注2 テキストは持ったままで構いません。                      ※注3 相手役と事前に打ち合わせをすることはできません。                      ※注4 自由に動いて構いませんが、部屋にあるものには触れないでください。                      ※W. シェイクスピア著、松岡和子訳「マクベス」『シェイクスピア全集3』筑摩書房、2004年、9～10ページ</p> <p>②音感・リズム感                      【音 感】アカベラで一人ずつ歌う。(自由課題)                      【リズム感】振付を通じた身体表現</p> <p style="text-align: right;">※福来スズ子「ラッパと娘」『福来スズ子傑作集』日本コロムビア、2023年</p>	



学科・コース		科目・課題						
演劇	舞台美術	<p><b>プレゼンテーション</b></p> <p>別紙の戯曲を上演するにあたり、視覚的なアイデアをプレゼンテーションしてください。空間をどう設定するか、構成する要素は何か、具体的に提案してください。</p> <p>60分間でプレゼンテーションシート(形式自由)を作成し、その後、それについて口頭で5分間のプレゼンテーションを行います。</p> <p>※T. ウィリアムズ著、田島博訳「やけたトタン屋根の上の猫」新潮社、1982年、14～18ページ</p>						
	舞踊(日舞)	<p>日本舞踊曲または日本の伝統舞踊(郷土芸能を含む)の実演</p>						
	舞踊(洋舞)	<p><b>リズム運動, 舞踏的身体運動及びイメージ表現</b></p> <p>①基本運動</p> <p>(1)ストレッチ, ウォーミングアップ</p> <p>(2)ムーブメント(モダンダンス・テクニク)</p> <p>②イメージによる動き(インプロヴァイゼーション)</p> <p>課題『椅子』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆課題に従いイメージのダンス化(動きのデザイン)(10分)</li> <li>*各自得意なジャンルに合わせて自由に</li> <li>◆デザインした課題のダンス表現(一人2分)</li> <li>◆発想の説明(一人約1分)</li> </ul>						
デザイン	<p><b>鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択。</b></p> <p>①鉛筆によるデッサン(4時間) &lt; B3画用紙 &gt;</p> <p>与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。</p> <p>定規, コンパス, デッサンスケールは使用不可とする。</p> <p>※はかり棒は使用可。</p> <p><b>[モチーフ]</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>持ち手付き給水ボトル</td> <td style="text-align: right;">× 1</td> </tr> <tr> <td>横口レードル</td> <td style="text-align: right;">× 1</td> </tr> <tr> <td>タオル</td> <td style="text-align: right;">× 1</td> </tr> </table> <p>条件</p> <p>(1)机の上に置いてあるペット容器, 横口レードル, タオル(ストライプ柄)をすべて組み合わせること。 タオルはたたんだままではなく、広げて変形させること。</p> <p>(2)台紙は描かなくてもよい。</p> <p>(3)用紙は横位置で使用する。</p> <p>(4)A3の上質紙はエスキース(下書き)用として使用してもしなくてもどちらでも構わない。</p> <p>*組み合わせた形を保持しにくい場合はネリゴム等で固定してください。</p> <p>②デザインプレゼンテーション(4時間) &lt; B3ケント紙+PMパッド1枚 &gt;</p> <p>私たちの生活に関わる「災害時の避難誘導」からおこる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。</p> <p>この「災害時の避難誘導」に対してどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。</p> <p>もしくは、気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。</p> <p>例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。</p> <p>条件</p> <p>(1)用紙は2枚あります。PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。</p> <p>(2)表現方法は自由(持参した鉛筆, および配布された色鉛筆を使用すること)</p> <p>(3)用紙は横位置にて使用すること。</p> <p>(4)用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。</p> <p>(5)定規・コンパスは使用不可。</p>	持ち手付き給水ボトル	× 1	横口レードル	× 1	タオル	× 1	
持ち手付き給水ボトル	× 1							
横口レードル	× 1							
タオル	× 1							

※上記は、昨年度試験内容であるため、2025年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

## 1 出願手続

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月6日(月)～2月25日(火)

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください

※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

## 2 選考日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また、本試験では学科専門試験を実施しません。

選考日	学科 [コース]	募集 人員	教 科	科 目※1	時間	配 点
3月4日 (火)	映画 [全コース]	4	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点
			外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点
	文芸	3	地理歴史	「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」 「公共, 政治・経済」	60分	100点
			公民			
	演劇 [全コース]	2	公民	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・数学B(数列)・ 数学C(ベクトル)」	60分	100点
	数学①	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」				
	放送	2	理科	のうちから1科目選択 ※2	各 60分	200点 (100点 ×2)
	写真	2	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」		
	美術 [全コース]	1	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	各 60分	200点 (100点 ×2)
			地理歴史	「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」 「公共, 政治・経済」		
デザイン	2	公民	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・ 数学B(数列)・数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」	のうちから2科目選択 ※2 (ただし, 「理科」間の組合せは不可)	60分	100点
		数学①	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」			
音楽 [全コース]	2	数学②	のうちから2科目選択 ※2 (ただし, 「理科」間の組合せは不可)	60分	100点	
		理科	のうちから2科目選択 ※2 (ただし, 「理科」間の組合せは不可)			
音楽 [全コース]	2	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点	
		外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点	

※1 選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。

※2 「理科」については、医学部併願者は2科目選択、その他の出願者は1科目のみ選択となります。2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」「第2解答科目」に区分し、合否判定に使用する場合は、「第1解答科目」のみを使用します。

戻る

### 3 合格発表及び入学手続

#### 1 合格判定

すべての学科とも、学力検査の総合得点により合格判定を行います。

#### 2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

各期日については、下表を参照してください。  
入学手続については、二段階手続は行いません。

合格発表日	入学手続締切期日
3月13日(木)	3月18日(火)

#### 本試験についての注意事項【重要】

各学科の試験教科及び科目については36ページに記載のとおりですが、同一時間割での実施の場合は、受験可能な科目が制限されます。また、併願する学部(学科)により受験教科及び科目が異なりますので、これらの点も含めた本試験の詳細については、[日本大学ホームページ](#)、[一般選抜募集要項](#)等で必ず確認してください。

## 一般選抜N全学統一方式(第2期)結果

[昨年度参考]

2024年度

学科・コース	項目	募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A/B)	2023年度競争率	総点	合格者最低点	
									2024年度	2023年度
写真学科		2	16 ( 6)	12 ( 5)	2 ( 1)	6.0倍	9.0倍	300	171	201
映画学科	映像表現・理論コース	4	21 ( 5)	12 ( 3)	2 ( 0)	6.0倍	16.0倍	300	197	210
	監督コース		10 ( 4)	9 ( 4)	1 ( 0)	9.0倍	10.0倍		238	228
	撮影・録音コース		10 ( 6)	9 ( 5)	0 ( 0)	—	5.0倍		—	256
	演技コース		19 ( 11)	13 ( 7)	1 ( 1)	13.0倍	5.0倍		213	201
	計	4	60 ( 26)	43 ( 19)	4 ( 1)	—	—	—	—	—
美術学科	絵画コース	2	8 ( 6)	6 ( 5)	0 ( 0)	—	—	200	—	—
	彫刻コース		10 ( 4)	8 ( 3)	2 ( 1)	4.0倍	3.0倍		89	125
	計	2	18 ( 10)	14 ( 8)	2 ( 1)	—	—	—	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	2	11 ( 1)	9 ( 1)	0 ( 0)	—	2.8倍	200	—	127
	音楽教育コース		1 ( 1)	1 ( 1)	0 ( 0)	—	—		—	—
	声楽コース		0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	—		—	—
	ピアノコース		0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	—		—	—
	弦管打楽コース		0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	—		—	—
	情報音楽コース		24 ( 8)	19 ( 7)	2 ( 1)	9.5倍	11.0倍		125	168
	計	2	36 ( 10)	29 ( 9)	2 ( 1)	—	—	—	—	—
文芸学科		3	55 ( 24)	43 ( 16)	3 ( 1)	14.3倍	4.2倍	200	138	136
演劇学科	舞台構想コース	3	11 ( 8)	6 ( 4)	2 ( 2)	3.0倍	7.5倍	200	119	144
	演技コース		14 ( 9)	9 ( 7)	1 ( 0)	9.0倍	17.0倍		156	153
	舞台美術コース		11 ( 5)	10 ( 4)	0 ( 0)	—	—		—	—
	舞踊コース		3 ( 3)	3 ( 3)	0 ( 0)	—	2.0倍		—	122
	計		3	39 ( 25)	28 ( 18)	3 ( 2)	—		—	—
放送学科		2	83 ( 42)	70 ( 33)	2 ( 0)	35.0倍	1.8倍	300	210	163
デザイン学科		2	45 ( 21)	35 ( 17)	2 ( 1)	17.5倍	13.7倍	200	135	148
合計		20	352 (164)	274 (125)	20 ( 8)	—	—	—	—	—

( ) 内は女子内数

戻る

## 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員		
		外国人留学生	帰国生	校友枠
写 真		若干名	若干名	各学科 2名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技			
美 術	絵画, 彫刻			
音 楽	作曲・理論, 音楽教育, 声楽, ピアノ, 弦管打楽, 情報音楽	5名		
文 芸		若干名	若干名	
演 劇	舞台構想, 演技, 舞台美術, 舞踊			
放 送		10名		
デザイン		10名		

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する者は, コースを1つだけ選択してください

なお, 学科・コースの併願はできません

※ 外国人留学生・帰国生選抜の文芸学科及びデザイン学科募集人員は, 両方の入学者選抜の合計数となります

## 外国人留学生・帰国生選抜

出願資格・出願方法等の詳細は, [日本大学ホームページ](#)を確認してください。

なお, 出願受付は日本大学本部学務部入学課 (03-5275-8311) にて行います。

## 試験諸日程

内 容	期 日
出 願 期 間	~2024年10月31日(木) ※1
一 次 試 験 日	2024年12月1日(日) ※2
一次試験合格発表日	2024年12月3日(火) (インターネットによる合否案内) ※2
選 考 日	2024年12月8日(日) ※3
合 格 発 表 日	2024年12月16日(月) (インターネットによる合否案内)
入 学 手 続 期 間	2024年12月16日(月)~2025年1月10日(金) ※4

※1 出願受付開始日については, [日本大学ホームページ](#)を確認してください

※2 外国人留学生選抜デザイン学科志願者のみ対象とします

※3 外国人留学生選抜デザイン学科については二次試験日

※4 所定の手続を行うことにより, 2025年3月11日(火)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)

## 校友枠選抜

出願資格・出願方法等の詳細は, 9月上旬頃より公開予定の「校友枠選抜要項」で確認してください。

なお, 事前に日本大学校友会本部事務局にて, 出願資格の確認手続が必要となります。

## 試験諸日程

内 容	期 日
出 願 期 間	2024年11月18日(月)~11月22日(金)
選 考 日	2024年12月8日(日)
合 格 発 表 日	2024年12月16日(月) (インターネットによる合否案内)
入 学 手 続 期 間	2024年12月16日(月)~2025年1月10日(金) ※

※ 入学時納入金は, 校友枠選抜は入学手続期間内に一括納入となります

戻る

## 編入学・転部試験

本学部では、「欠員補充」という形で編入学試験（2年次，3年次）及び本学学部在学学生を対象とした転部試験（2年次）を実施しています。

募集人員はいずれも若干名で，募集する学科・コースは年度により異なる場合があります。

なお，編入学試験（2年次）及び転部試験については，過去3年間に於いて全学科・コースでの募集を行っています。

また，編入学試験（3年次）の過去3年間の募集状況については，美術・音楽・デザイン学科で募集がありました。

2025年度の募集については，5月頃に公開する予定です。詳細については，本学部ホームページを確認いただくか，本学部入試係までお問い合わせください。

## 編入学・転部試験結果

[昨年度参考]

2024年度

※募集人員は，各学科すべて若干名

項目 学科・コース		編入学試験（2年次）			転部試験（2年次）			編入学試験（3年次）		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
写真学科		3 ( 1 )	3 ( 1 )	1 ( 0 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )	実施せず		
映画学科	映像表現・理論コース	4 ( 2 )	3 ( 1 )	0 ( 0 )	4 ( 1 )	4 ( 1 )	1 ( 1 )	実施せず		
	監督コース	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )			
	撮影・録音コース	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	2 ( 0 )	2 ( 0 )	0 ( 0 )			
	演技コース	2 ( 0 )	2 ( 0 )	0 ( 0 )	2 ( 1 )	2 ( 1 )	0 ( 0 )			
	計	8 ( 2 )	6 ( 1 )	0 ( 0 )	8 ( 2 )	8 ( 2 )	1 ( 1 )			
美術学科	絵画コース	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	2 ( 2 )	2 ( 2 )	0 ( 0 )
	彫刻コース	2 ( 2 )	2 ( 2 )	2 ( 2 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	計	3 ( 2 )	3 ( 2 )	2 ( 2 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	2 ( 2 )	2 ( 2 )	0 ( 0 )
音楽学科	作曲・理論コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	2 ( 0 )	2 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	音楽教育コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	声楽コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	ピアノコース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	弦管打楽コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	情報音楽コース	5 ( 1 )	5 ( 1 )	2 ( 0 )	2 ( 0 )	2 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	計	5 ( 1 )	5 ( 1 )	2 ( 0 )	4 ( 0 )	4 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
文芸学科		9 ( 6 )	7 ( 5 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	実施せず		
演劇学科	舞台構想コース	3 ( 3 )	3 ( 3 )	2 ( 2 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	実施せず		
	演技コース	5 ( 4 )	5 ( 4 )	2 ( 2 )	4 ( 2 )	3 ( 1 )	1 ( 1 )			
	舞台美術コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )			
	舞踊コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )			
	計	8 ( 7 )	8 ( 7 )	4 ( 4 )	4 ( 2 )	3 ( 1 )	1 ( 1 )			
放送学科		3 ( 1 )	3 ( 1 )	1 ( 1 )	3 ( 1 )	3 ( 1 )	0 ( 0 )	実施せず		
デザイン学科		7 ( 4 )	7 ( 4 )	3 ( 2 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	6 ( 1 )	5 ( 1 )	1 ( 0 )
合計		46 ( 24 )	42 ( 22 )	14 ( 9 )	22 ( 6 )	21 ( 5 )	4 ( 2 )	8 ( 3 )	7 ( 3 )	1 ( 0 )

( )内は女子内数

各種選抜等



戻る

音楽学科出願者は、全員が曲目届けを登録する必要があります。コースを問わず、出願時に受験曲目届けを登録してください  
(すべての入学者選抜共通)

<https://music.art.nihon-u.ac.jp/exam.html>



## 作曲・理論コース

### 総合型選抜

#### a. 作曲志願者

##### ①実技

##### (1) 当日持参した自作品の審査及び口頭試問

自作曲の楽譜(編成・長さは自由, 1曲, コピーを3部持参すること)を当日提出。持参作品は返却できません。

##### (2) 作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした, 指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

##### ②面接

#### b. 理論志願者

##### ①実技

##### (1) 当日持参した音楽に関するレポートの審査及び口頭試問

音楽に関するレポート1点(書式・長さは自由, 手書きに限る, コピーを3部持参すること)を当日提出。持参レポートは返却できません。

##### (2) 任意の器楽曲または声楽曲の演奏

作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。

##### ②面接

学校推薦型選抜(公募制) /  
学校推薦型選抜(附属高等学校等) /  
外国人留学生・帰国生選抜/ 校友枠選抜

#### a. 作曲志願者

##### ①実技

##### (1) 作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした, 指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

##### (2) 任意の器楽曲または声楽曲の演奏

作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。

##### ②面接

#### b. 理論志願者

##### ①実技及び小論文

##### (1) 小論文(80分・1,000字程度)

音楽に関する小論文

##### (2) 実技(任意の器楽曲または声楽曲の演奏)

作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。

##### ②面接

### N全学統一方式専門試験併用型

#### a. 作曲志願者

##### ①実技

##### (1) 作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした, 指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

##### (2) 口頭試問

楽器または声楽の演奏動画(3分以内)を志願者本人であることがはっきり確認できる形で作成し, 志願者本人が持参するスマートフォン, タブレット, PC等で再生出来るよう準備して試験当日持参。その動画に対して口頭試問を行います。

##### ②面接

#### b. 理論志願者

##### ①実技及び小論文

##### (1) 小論文(80分・1,000字程度)

音楽に関する小論文

##### (2) 口頭試問

楽器または声楽の演奏動画(3分以内)を志願者本人であることがはっきり確認できる形で作成し, 志願者本人が持参するスマートフォン, タブレット, PC等で再生出来るよう準備して試験当日持参。その動画に対して口頭試問を行います。

##### ②面接

### 編入学試験(含む転部試験) 2年次

#### a. 作曲志願者

##### ①書類選考

##### ②実技

##### (1) 作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした, 指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

##### (2) 和声または楽典(80分)

和声はソプラノとバスによる課題(転調を含まない)を1題

楽典は共通の楽典問題と和声分析問題

##### ③面接

#### b. 理論志願者

##### ①書類選考

##### ②実技及び小論文

##### (1) 小論文(60分・800字程度)

音楽に関する小論文

##### (2) 実技(楽典)(60分)

##### ③面接

### 編入学試験 3年次

#### a. 作曲志願者

##### ①書類選考

##### ②持参作品の口頭試問

自作曲の楽譜(編成・長さは自由, 作品は複数持参可)を当日提出。持参作品は返却できません。

##### ③面接

#### b. 理論志願者

##### ①書類選考

##### ②小論文(60分・800字程度)

音楽に関する小論文

##### ③面接

**【作曲・理論志願者実技共通課題】**

楽器もしくは歌の楽曲，1曲の演奏。音楽のジャンル，楽器の種類，選曲は自由。演奏は途中で止める場合もあります。楽譜を見ながらの演奏も認めます。持ち運びが出来ない大型楽器（ピアノ・コントラバス・マリリンバなどの打楽器・ドラムセット・エレクトーン・箏など）は，音楽学科が所有する楽器を使うことができます。アンプ，スピーカー，マイクといった機材等や伴奏用カラオケ音源の使用は認めません。楽器演奏の際のピアノ伴奏はなしとします。持参した楽器（もしくは大学で用意した大型楽器）のみで演奏してください。歌で「声楽コース実技共通課題」から楽曲を選んだ場合に限り，ピアノ伴奏者を音楽学科で用意します（声楽コースと同様に伴奏譜を事前に郵送すること）。アカペラの歌唱も可能ですし自身による弾き歌い（ピアノまたは持参楽器による伴奏と歌）も可能とします。※不明点がある場合は必ず音楽学科まで電話にて問い合わせてください。（声楽曲の伴奏譜については，声楽コース〈伴奏楽譜の提出について〉を参照）

**音楽教育コース**

総合型選抜/学校推薦型選抜（公募制）/  
学校推薦型選抜（付属高等学校等）/  
N全学統一方式専門試験併用型/  
外国人留学生・帰国生選抜/校友枠選抜

①実技及び小論文

(1)小論文（60分・800字程度）  
音楽に関する小論文

(2)ピアノ

W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください（繰り返しなしで，暗譜とします）。

②面接

編入学試験（含む転部試験） 2年次

①書類選考

②実技及び小論文

(1)小論文（60分・800字程度）  
音楽に関する小論文

(2)楽典（60分）

(3)ピアノ

W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください（繰り返しなしで，暗譜とします）。

③面接

編入学試験 3年次

①書類選考

(1)小論文（60分・800字程度）  
音楽に関する小論文

③面接

**声楽コース**

総合型選抜/学校推薦型選抜（公募制）/  
学校推薦型選抜（付属高等学校等）/  
N全学統一方式専門試験併用型/  
外国人留学生・帰国生選抜/校友枠選抜

①実技

声楽（声楽曲）

声楽コース実技共通課題に準じる。

②面接

編入学試験（含む転部試験） 2年次

①書類選考

②実技

(1)声楽

声楽コース実技共通課題に準じる。

(2)楽典（60分）

③面接

編入学試験 3年次

①書類選考

②実技

声楽

任意の自由曲（5分程度）

③面接

**【声楽コース実技共通課題】**

次の課題曲A・課題曲Bより各1曲ずつ選曲してください。当日は，課題曲に続けて自由曲1曲を歌ってください。自由曲は課題曲Aまたは課題曲Bより選曲しても構いませんが，選択した2曲と重複してはいけません。いずれも原語で暗譜とします。また，各曲の調性は任意とします。

伴奏楽譜（全3曲）については伴奏楽譜の提出について（P.42を参照）の要領に従って郵送してください。

**課題曲A. イタリア歌曲**

1	MANCIA, L.	Star vicino
2	SCARLATTI, A.	Già il sole dal Gange
3	SCARLATTI, A.	Sento nel core
4	BONONCINI, G. B.	Per la gloria d'adorarvi
5	GASPARINI, F.	Lasciar d'amarti
6	DURANTE, F.	Vergin, tutto amor
7	作者不詳	Nina
8	GASPARINI, F.	Caro laccio
9	PAISIELLO, G.	Nel cor più non mi sento
10	GIORDANI, T.	Caro mio ben

※作曲者は全音楽譜出版社のイタリア歌曲集〔新版〕による

**課題曲B. 日本歌曲**

1	土井晩翠 作詞	滝廉太郎 作曲	荒城の月
		山田耕筰 編曲	
2	武島羽衣 作詞	滝廉太郎 作曲	花
3	吉丸一昌 作詞	中田章 作曲	早春賦
4	勝田香月 作詞	杉山長谷夫 作曲	出船
5	鹿島鳴秋 作詞	弘田竜太郎 作曲	浜千鳥
6	林古溪 作詞	成田為三 作曲	浜辺の歌（2番まで）
7	北原白秋 作詞	山田耕筰 作曲	鐘が鳴ります

8	北原白秋 作詞	山田耕筰 作曲	この道
9	清水重道 作詞	信時潔 作曲	行々子
10	北見志保子 作詞	平井康三郎 作曲	平城山

楽譜は下記の出版社のものを使用してください。

●A. イタリア歌曲

全音楽譜出版社 イタリア歌曲集 [新版]

●B. 日本歌曲

全音楽譜出版社 日本名歌110曲集

●自由曲

オペラ・アリアを歌う場合、作曲者、オペラの題名、アリアの題名を明記し、原語・原調で歌うこと(ただし、習慣的に認められている歌劇「連隊の娘」をイタリア語版で歌うことや、歌劇「セビリアの理髪師」より「今の歌声は」をへ長調で歌うことは認める。わからないことがある場合は必ず確認すること)。

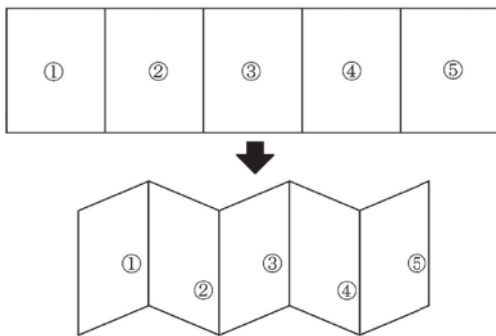
オペラ・アリア集、または総譜(スコア)として出版されている楽譜をコピーして提出すること。

伴奏楽譜の提出について

- 伴奏楽譜は、演奏の都合上、ヨコ22cm、タテ30cmの台紙に、楽譜を貼付してください。楽譜が2ページ以上のときは、全ページに台紙を貼りテープ等で折本仕立てに製本してください(図を参照)。ページの欠損に注意して、当日演奏できる完成品を送付してください。なお、表紙に志望コース、受験番号(事前に分かっているとき)、氏名、曲名、調性を必ず記入してください。※移調などの理由で楽譜を自作する場合は、指定する出版社のものに準じ、鮮明な自筆又はコンピュータ浄書のものを製本してください。伴奏譜は返却できません。

製本の仕方(5ページの場合)

- ・表紙裏を楽譜1ページ目にしてください。
- ・楽譜のつなぎ目をマスキングテープ等で貼ってください。



- 郵送先 〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1  
日本大学芸術学部音楽学科入試伴奏譜係

ピアノコース

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/  
学校推薦型選抜(附属高等学校等)/

①実技  
ピアノ

課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる。

②面接

N全学統一方式専門試験併用型/  
外国人留学生・帰国生選抜/校友枠選抜

①実技  
ピアノ

次の作曲家の中から1人を選び、任意の作品を1曲演奏する。組曲、ソナタなどは抜粋可。繰り返しは省略のこと。

J. S. Bach, D. Scarlatti, J. Haydn, W. A. Mozart,  
L. v. Beethoven, F. Schubert, F. Mendelssohn,  
R. Schumann, J. Brahms, F. F. Chopin, F. Liszt,  
S. Rachmaninoff, S. Prokofiev, A. Scriabin,  
G. Fauré, C. Debussy, M. Ravel

②面接

編入学試験(含む転部試験) 2年次

①書類選考

②実技

(1)ピアノ

課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる。

(2)楽典(60分)

③面接

編入学試験 3年次

①書類選考

②実技

ピアノ

8分以上の自由曲

③面接

【ピアノコース実技共通課題】

次のA, B群より各1曲を選び、合計2曲を演奏してください(いずれも繰り返しなしで、暗譜とします)。

A 練習曲またはJ. S. Bach 平均律ピアノ曲集

次に指定する(イ)~(ニ)より1曲を演奏してください。ペダルの使用は、任意とします。

- (イ) M. Moszkowski 15の練習曲(15 Études de Virtuosité Op. 72)より任意の1曲  
(ロ) J. B. Cramer=Bülow60練習曲(60 Ausgewählte Etüden)より任意の1曲  
(ハ) F. F. Chopinの練習曲Op. 10またはOp. 25より任意の1曲  
(ニ) J. S. Bach平均律ピアノ曲集第1巻または第2巻(Das Wohltemperierte Klavier Teil I, II)より任意の1曲(プレリュードとフーガ)

B ソナタ

W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください。

## 弦管打楽コース

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/  
学校推薦型選抜(付属高等学校等)/  
N全学統一方式専門試験併用型/  
外国人留学生・帰国生選抜/校友枠選抜

### ①実 技

それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器

任意の楽曲または練習曲(自分の能力を最大限アピールできる楽曲一曲を選曲のこと)

### ②面 接

## 編入学試験(含む転部試験) 2年次

### ①書類選考

### ②実 技

(1)それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器

任意の楽曲または練習曲(自分の能力を最大限アピールできる楽曲一曲を選曲のこと)

(2)楽典(60分)

### ③面 接

## 編入学試験 3年次

### ①書類選考

### ②実 技

それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器

8分以上の自由曲

### ③面 接

試験曲目の参考として、過去の課題曲が下記URL及びQRコードから参照できます。

[https://www.art.nihon-u.ac.jp/admission/recruitment/general/pdf/2023\\_music\\_kadai.pdf](https://www.art.nihon-u.ac.jp/admission/recruitment/general/pdf/2023_music_kadai.pdf)



## 情報音楽コース

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/  
学校推薦型選抜(付属高等学校等)/  
N全学統一方式専門試験併用型/  
外国人留学生・帰国生選抜/校友枠選抜

### ①実 技

#### 口頭試問

持参した演奏映像に対する口頭試問

自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください。映像は演奏者の顔及び全身が確認できるものとします(入試案内「学部Q&A」のサンプル画像及び「【音楽学科】専門試験参考資料」を参照)。また、映像の音源は編集しないこと。

### ②面 接

## 編入学試験(含む転部試験) 2年次・3年次

### ①書類選考

### ②実 技

#### 口頭試問

持参した演奏映像に対する口頭試問

自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください。映像は演奏者の顔及び全身が確認できるものとします(入試案内「学部Q&A」のサンプル画像及び「【音楽学科】専門試験参考資料」を参照)。また、映像の音源は編集しないこと。

### ③面 接



2025年度写真学科入学者選抜区分の概要とポイント（詳しい日程等は各ページをご確認ください）

## ●総合型選抜

写真に対する意欲に溢れた人であれば、年齢や経験にかかわらず出願可能です。学力だけでは測れない意欲や感性、想像力などを総合的に評価します。

2023年度選抜から実技に変わり「ポートフォリオに関する口頭試問」が加わりました。写真に対する情熱を見たいという考えからです。持参する〈作品ポートフォリオ〉は、一眼レフ等のカメラで撮影したものでなくても、スマートフォンで撮影した写真でも全く問題はありません。技術だけではなく、あなたがどんな写真を好んでいるのか、どのような感性をもっているのかを重要視しています。〈作品ポートフォリオ〉をもとにあなた自身を積極的にアピールしてください。「面接」では〈学びのポートフォリオ〉や〈小論文〉を参考にしながら、高校時代の活動など、あなたがこれまでの経験の中で得たこと、努力してきたことなどを評価します。合わせて相手に分かりやすく伝える力やコミュニケーション力も見ています。写真制作が未経験という方も勿論受験可能です。

※ポートフォリオの詳細は右ページをご確認ください。

## ●学校推薦型選抜（公募制）

高等学校または中等教育学校等を2025年3月卒業見込みの方が受けられる区分です。下記のA～Cのいずれかに条件を満たす方が出願できます。

- A. 全体の学習成績の状況が3.0以上の者
- B. 「全国高等学校総合文化祭写真部門」に出展し、高等学校文化連盟写真専門部の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者
- C. 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」のブロック予選に出場した選手で、全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」（東川町写真の町課）の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者

※出願資格の詳細については17ページをご確認ください。

出願には学校長の推薦が必要です。基本的にはこれまで積極的な写真活動をしていた方が対象となりますが、意欲があれば、本格的な写真制作が未経験でも構いません。試験内容は「面接」と「小論文」です。「面接」では、〈学びのポートフォリオ〉を参考に高校時代にあなたが夢中になったこと、課外活動、これまで取り組んだ写真活動、そして写真に対する熱意を聞かせてもらいます。「小論文」では、あなたの写真に対する考え方や理論性を確認しながら創造性を評価しています。

## ●外国人留学生・帰国生選抜

外国人留学生や帰国生向けの区分です。「面接」と「小論文」による試験を行います。「面接」にはポートフォリオや作品の持ち込みは出来ません。教員との面談を通してあなたの写真に対する熱意、どんなことを学びたいと考えているか等を伝えてください。「小論文」では発想力や考察力などに着目しています。いずれの試験でも専門性と合わせて日本語能力やコミュニケーション力を評価しています。

## ●一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型

2025年度から始まります!!

学力検査(国語・英語)と「面接」で評価します。ポートフォリオの準備は必要ありません。「面接」では写真に対する意欲や情熱、コミュニケーション力などを評価します。なぜ日芸で写真を学びたいかを伝えてください。

## ●一般選抜N全学統一方式（第1期・第2期）

学部・学科間併願だけでなく、同一学部内の複数学科への併願が可能な区分です。一回の受験で複数の学科を併願することができるメリットがあります。学力検査のみで評価します。小論文が苦手な方、学力に自信がある方に向いています。

\*他にも日本大学付属高等学校所属の方向けの「**学校推薦型選抜（付属高等学校等）**」や校友の法定血族を含む2親等内直系血族が出願できる「**校友枠選抜**」などがあります。出願には条件がありますので詳細は別紙「**学校推薦型選抜（付属高等学校等）資料**」「**校友枠選抜要項**」及びホームページ等でご確認ください。

\*右ページでは〈学びのポートフォリオ〉と〈作品ポートフォリオ〉について解説していますが、いずれも制作意図やポイントを書いています。制作の目的を理解した上であなたらしい創造性溢れるポートフォリオをつくってください。



## 学びのポートフォリオ

- ・総合型選抜，学校推薦型選抜（公募制/付属高等学校等），校友枠の区分で受験する方に必要なポートフォリオです。
- ・このポートフォリオは作品集ではありません。写真作品ではなく〈あなた自身〉をプレゼンテーションするための一冊を制作してください。

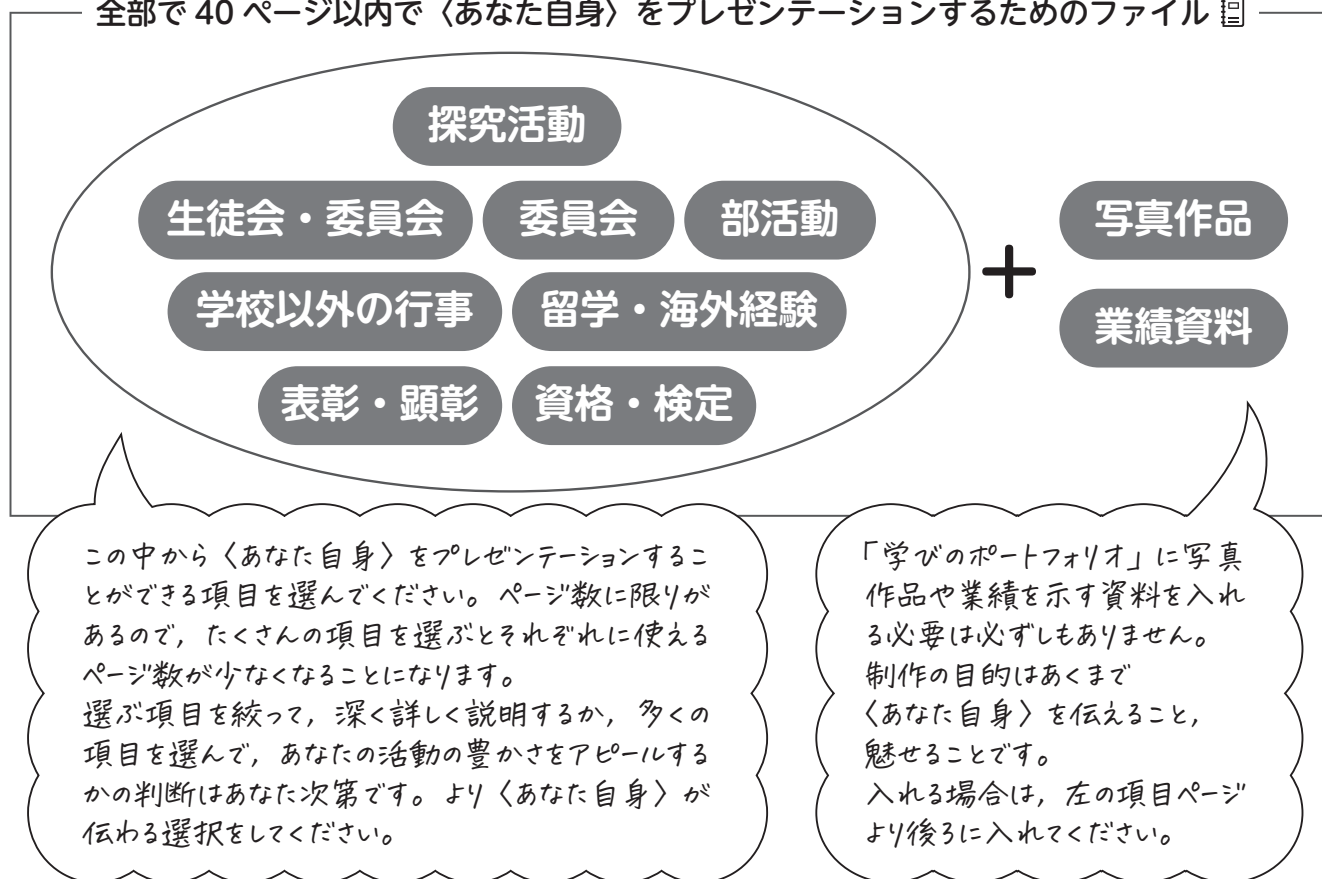
### 写真学科が指定する「学びのポートフォリオ」

探究活動，生徒会・委員会，学校行事，部活動，学校以外の行事，留学・海外経験，表彰・顕彰，資格・検定の8項目から，自身の学びのテーマに関連する項目を選択し，あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。写真作品のみを入れるのではなく，これまでの各分野での経験や写真活動が分かるようにしてください。写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。

ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル（20ポケット・40頁以内）とする。ポケットファイルは透明度の高いものを使用し，資料や写真が見えやすいようにしてください。また，ファイルの形状が変わってしまうような厚みのある資料は入れないでください。業績を示すための賞状等はコピーで構いません。

↓つまり，こういう理解です。

全部で40ページ以内で〈あなた自身〉をプレゼンテーションするためのファイル



- ・「学びのポートフォリオ」の1頁目には，受験番号や高校名，氏名をご記入いただきます。詳細は写真学科ホームページに7月中頃に掲載予定ですので，制作前に必ずご確認ください。

## 作品ポートフォリオ

- ・総合型選抜の区分で受験する方のみ必要なポートフォリオです。これは写真作品をみせるための一冊です。
- ・写真をみせるための一冊なので，ポケットファイルを使用する場合は透明度の高いものをご活用ください。

### 写真学科が指定する「作品ポートフォリオ」

A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成されている形式，もしくはフォトブックでも構いません。自分の撮影した写真（スマートフォンで撮影した写真も可）を他者に見せられる形式にしてください。

# 【映画学科】専門試験参考資料

## [ 映像表現・理論コース, 監督コース, 撮影・録音コース ]

### 小論文及び面接

#### 【総合型選抜】(60分・600字)

次の文章を読み、「不確実性」についてあなたの考えを述べなさい。

※ニュー・サイエンティスト/ヘレン・トムソン著, 片桐恵理子訳「人生修復大全」サンマーク出版, 2023年, 30~31ページ

#### 【学校推薦型選抜(公募制)】(100分・1,000字程度)

次の文章を読み、「芸術におけるオリジナルとコピー」についてあなたが考えたことを述べなさい。

※「デジタルツイン 踊るリアルな幻」朝日新聞日刊, 2023年10月2日記事より抜粋, 朝日新聞社

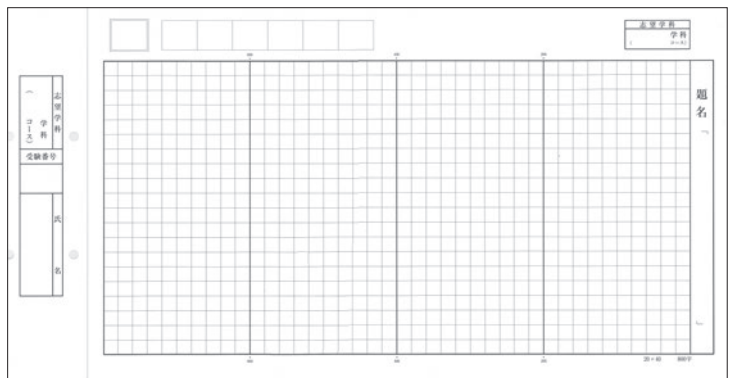
#### 【一般選抜A個別方式】(80分・800字程度)

次の文章を読み, あなたが考えたことを述べなさい。

※本村凌二「独裁の世界史」NHK出版新書, 2020年, 52~54ページ

#### 小論文

小論文試験の試験問題に選ばれる題材には, 決まった傾向はありません。映画や映像の知識の有無を測る訳でもありません。まずは, 原稿用紙の使い方や, 誤字脱字がないかといった基本的な文章能力が見られているとってください。さらに, 出題意図をよく理解できているかどうかという読解力や, 文章を論理的に展開できるかどうかという思考能力も見ています。



小論文解答用紙 ▲

#### 面接試験 (演技コースも同様)

面接試験では, 自分の思いをしっかりと伝え,

質問には端的に答えてください。試験監督は普段通りの姿を見たいので, リラックスして臨んでください。

## [ 演技コース ]

### 実技

#### 【総合型選抜】

##### 発声1

次の内容をはっきりと述べてください。

受験番号( )番, ( 氏名 )です。出身は( 都道府県名 )で, 学校は( 学校名 )高校を卒業する予定です。年齢は( )歳です。

##### 発声2

次の文章を朗読してください。

※「春に散る」に主演 佐藤浩市「矛盾が腑に落ちる瞬間」朝日新聞夕刊記事より抜粋, 2023年8月18日

##### 動作

次の内容をしぐさのみで表現してください。

[設定] 今日郵便で, カードゲームのカードの抽選結果が送られてくる。急いで帰宅してきた。

玄関前のポストを覗き見る。待っていた封筒が入っていた。

開封する。手紙を開くと, 落選の文字が目に入る。

手紙をビリビリに破る。

ふと破いた1枚を見ると,

「後日, 外れた方の再抽選がありますので, 大事にとっておいてください」

と書かれてある。

破いてしまった紙片を封筒に入れる。

家に入って行く。

(そのまま退出してください)

## 実技

試験内容は、「発声」・「動作」の二種類です。

「発声」は、書かれている文章をしっかりと理解し、はっきりと滑舌良く試験官に伝えてください。無理に感情を込める必要はありません。受験生がどのような声なのか、どのように声で表現するのかを見ています。

「動作」は、文章にあるシチュエーションや感情を仕草のみで表現します。試験内容を覚えていただき、書かれている内容を抜かすことなく確実に表現してください。

仕草のみと言っても決してパントマイムやジェスチャーではありません。「動作」の試験では、受験生が俳優として気持ちを含めた動作が出来るかどうかの素養を見ています。

映画や映像作品では、リアリティのある自然な演技が求められています。映画学科の実技試験では、いつも通りの自然な姿を見せて下さい。

「発声」と「動作」の実技試験は同じ会場を通して行い、試験の所要時間は5分程度です。試験問題が渡されてから、10分間の練習時間があります。

更衣室は設けていませんので、動きやすい普段着で来てください。



演技コース  
実技説明動画

### 発声 ▼



### 動作 ▼





# 【美術学科】専門試験参考資料

## [ 絵画コース絵画専攻 ]

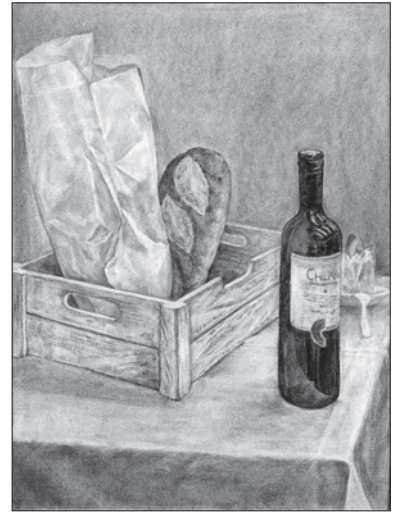
### 【総合型選抜】

**実技** 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し 静物を描く

### 出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「静物を描く」です。静物を描いてもらうことによって、絵画における構成力や描写力等を総合的に判断します。画材は油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを事前に選択していただきます。油彩・アクリルを用いた色彩による表現では、特に色感や配色について評価します。木炭・鉛筆を用いた素描による表現では、特にトーン（調子）の幅や的確さについて評価します。

静物のモチーフは卓上に配置してあります。各モチーフの形体の把握や質感の違いを描き分けることなども重要な要素ですが、まずは物がテーブルの上のしっかりと乗っているように描かれていること、背景が壁であるならば、そこに壁を感じることで、そして手前の物が手前にあるように、また奥の物が奥にあるように描かれていることなどが肝要です。



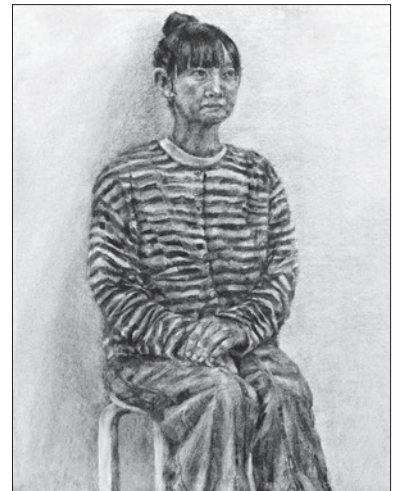
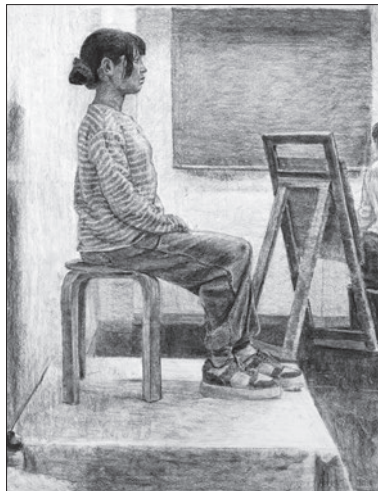
### 【一般選抜A個別方式】

**実技** 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し 人物を描く

### 出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「人物を描く」です。人物を描いてもらうことによって、絵画における構成力や描写力等を総合的に判断します。画材は油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを事前に選択していただきます。油彩・アクリルを用いた色彩による表現では、特に色感や配色について評価します。木炭・鉛筆を用いた素描による表現では、特にトーン（調子）の幅や的確さについて評価します。

モデル台の上に人物モデルがポーズをとっています。人物モデルの形体の把握と同時に、そのポーズのもつ重心や軸を見出すことが肝要です。人物モデルが台の上のしっかりと立っている（あるいは座っている）ように描かれていること、背景が壁であるならば、そこに壁を感じることで、画面上に手前と奥を感じるように描かれていることなどを評価します。



## [ 彫刻コース地域芸術専攻 ]

### 【全試験共通】

**小論文** (800字以内)

日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。

地域 里山 空家 集落 環境 高齢化 過疎 社会 伝統 移住 二拠点 行政 若者  
都市 アート 保全 継続 学校 SDGs 家族 産業 農業 観光

【総合型選抜】

### 出題意図と評価のポイント

試験によって提示される出題の言葉が少し変わることがあります。下記にある言葉とは、どの試験にも共通して出される言葉とその時点で社会問題になっている言葉が20ほど提示されます。自分の住んでいる地域の問題や関わったイベント、訪れたことのある芸術祭などから、自ら感じている問題点を自らの言

葉で述べてください。社会に関わっていくことを日常的に意識していると簡単に述べられると思います。

また国内外で行われている芸術祭の資料集や関連する図書などを読み、それぞれの特徴や意義などを知っておくこともおすすめします。

## [ 絵画コース版画専攻 ]

### 【全試験共通】

**実技** デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し 静物を描く

### 出題意図と評価のポイント

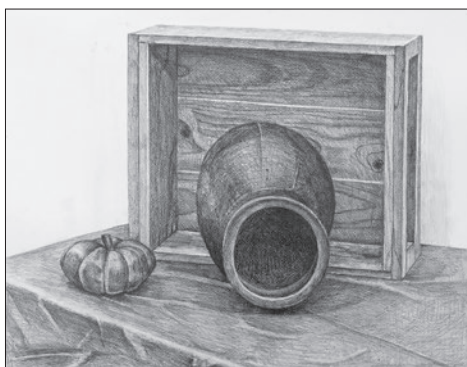
実技試験の課題は「静物を描く」デッサンです。画材は鉛筆または木炭のいずれかを事前に選択していただきます。モノクロの世界をどのように表現するかは、実技課題の静物モチーフと専門試験参考資料を参考して下さい。

台の上に置かれている静物を、どのように画面の中に入れるかを考えること(構図)からはじめます。次に、モチーフの形体や質感、モノとモノの関係性を的確に捉えているかどうかなどを総合的に判断します。

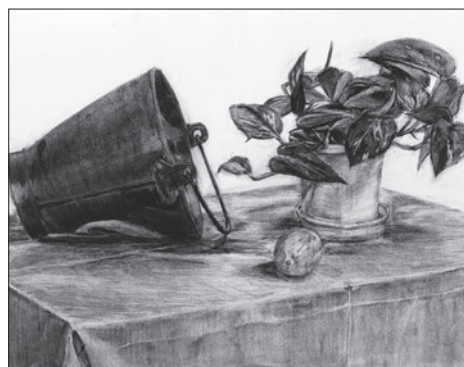
基礎的なデッサン力を身につけるには、良く観察して、感じることを、素材の質感や台との接点など気をつけて、丁寧に描く事が大切なポイントです。入学試験の際は、普段練習してきたことを最大限発揮出来るように、デッサンの枚数を重ねる事も自信に繋がります。



【総合型選抜】



【総合型選抜】



【一般選抜A個別方式】

## [ 彫刻コース彫刻専攻 ]

### 【全試験共通】

**実技** デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し モノと空間を描く



【総合型選抜】



【学校推薦型選抜】



【一般選抜A個別方式】

### 出題意図と評価のポイント

試験会場に、モチーフが置かれます。植物と木箱など様々なものが出題されます。「モノと空間を描く」という問題は、モチーフが作り出す空間全体を把握し、描画する画面に十分に構成されているかを見ていくことになります。種類によっては、「モチーフ全体を中央に一つ、部分を周辺に複数描きなさい」という問題の場合もありますし、「モチーフ全体を切ることなく大きく描きなさい」という場合もあります。どんなモチーフであっても、

ものの構造をよく観察することが重要で、全体と細部の関係性、面の大きさ、向き、捻れなどそれぞれの特徴を捉える能力が必要になります。モチーフを的確に捉えデッサンで伝える技術も重要ですが、自分で読み取った情報をデッサンとして表現できているかも重要な観点となります。モチーフを自分が彫刻として作るという制作者の観点でデッサンの練習を進めます。



# 【音楽学科】専門試験参考資料

音楽学科入学者選抜の課題については「音楽学科実技課題曲案内」(40～43ページ)を確認してください。  
また、学部Q&A(63ページ)も併せて確認してください。

## 〔情報音楽コース〕

### □ 口頭試問



◀ 口頭試問

情報音楽コースの口頭試問では、受験生が音楽にどのように接してきたかを審査します。

審査方法はあらかじめ用意してきた演奏動画を視聴しながら、質問に答えてもらうかたちです。動画は当日、スマホ、タブレット、ノートPCなどのデバイスを持参していただき、試験室に入室後再生してもらいます。演奏動画の内容に関してはどのようなものでも結構ですが、必ず受験者自身の演奏シーンが撮影されていることが条件です。

演奏曲のジャンルは自由で、ソロでもアンサンブルやバンドでも構いません。ただし、先ほど記載した通り、吹奏楽部の演奏会のような大人数の場合は、必ず受験生が確認できる画質の動画としてください。試験時間は5分から8分くらいですので、動画の長さは少なくとも3分以上を目安とします。また、複数楽曲を審査対象としたい場合は、複数楽曲をひとつの動画にして再生してください。

自身が演奏しているシーンがあれば、どんなものでも良いというのが基本ですが、この基本に対してどれくらい勝負してくるかもみえています。

動画撮影に関しては、演奏の部分差し替えなどの編集は避け、ワンテイクのものを用意してください。ただし、複数楽器の重ね録りは可能です。また、映像編集も可能ですが、ご自身の演奏かどうかがわからないような編集は認めません。

## 評価のポイント

評価ポイントは下記の3つです。録音技術や編集技術は基本的には評価には反映されません。

- ①音楽に対してどれくらい真剣に取り組んできたか
  - ②表現することに対して高い意識があるか
  - ③音楽を通じて人の心を動かすだけのパッションがあるか
- の3点です。

①に関してはこれまで音楽にどのように接し、どれくらい真剣に音楽制作や演奏、パフォーマンスに取り組んできたかを評価します。

②は演奏楽曲に対してどれくらいその音楽性を考え、演奏に反映させているかを評価します。

③は演奏された楽曲のクオリティに関わる部分で、演奏技術や音楽に対する理解度を評価します。

◀ 小論文試験



◀ 面接試験



演奏試験 ▼



◀ 作曲試験

これらの写真はあくまでもサンプルとなります。実際の試験とは異なる場合もありますので予めご了承ください。  
また感染症等の状況により実施方法が異なる場合もあります。

## 作文 (800字以内) の解答例

課題 [2024年度学校推薦型選抜(公募制)より]

次の二つのうちから一つを選んで文章を書いてください。  
(タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください)

- ①「画面越しの人」が登場する話を作文してください。(作文)
- ②「作家という生き方」について自由に論じてください。(小論文)

### 題名「私の彼氏」(①を選択)

窓の外はすっかり暗くなりガラス越しに冷たい雨が私にあたる。ピコン。スマホの通知音が私を呼んでいる。

「好きだよ。ツキちゃん」

ボイスメッセージが何件も続いている。私の名を呼び愛をささやいてくれる声は少し高めで茶髪の天パが似合いそう。水色のセーターを着た童顔が目に見えかぶ。

「今日も一日おつかれさま。一緒に休も」

私は目をそっと閉じ眠りについた。幸せだ。ずっと男のない人生だった。友人がどんなに彼氏と付き合っても私には無関係だと思っていたし、高校からは体格差のある男子に話しかけることすら怖かった。どんなに話そうと思ってもやはり怖い。付き合いの多かった友人から

「あいつは女の悪口で笑いをとるサイテーな男なの。ツキも気をつけて」なんて言われた時には事実だとすぐに信じた。誰かと関わって傷つきたくない。他人のうわさの種になりたくない。そんな時に出会ったのがソラくんだった。元は配信者で同接も一人二人が当たり前。そんな彼のトリコになり何度も投銭をした。しだいに個別で連絡も取り合うようになった。私はソラちゃんと話せたことより男の人と会話できている自分が好きになった。大好き、ソラくん。大好き、私。

「ツキ。起きなさい」

カーテンの間から日が差し込んでいる。昨日の雨はすでに止んでいた。何の変り映えのしない部屋。ダサイ机にダサイタンス。全身鏡に映る私は髪の毛で顔が見えない。

「母さん。おはよ」

太った母は返事もせずソファで眠っている。太い足を隠すように長くしたスカートに身に付け汗で黄ばんだシャツを着る。また臭い。地味なバッグを持ち外に出た。ふと空を見上げると大きな空の中に影の薄い月が浮んでいる。息を吸い小さくつぶやく。

「ソラくん、助けて」

※この解答例は、読みやすさに配慮し、一部の記述を原文から変更しています。

## 出題意図と評価のポイント

作文は、短い小説あるいはエッセイ風の文章を書く課題です。論理性や客観性が重視される小論文に対し、作文ではユニークな発想、限られた文字数で物語を組み立てる構成力、描写の力などが求められます。とくに描写は、「説明」と混同しやすい点に注意。例えば「彼は悲しそうだった」と直接書くのが説明であり、涙を流す様子や声色の変化などを具体的に書き、読者に「彼は悲しそうだ」と感じてもらうのが描写です。本作は、構成の巧みさが目を引きます。主人公が「彼氏」と呼ぶ配信者・ソラ。愛の言葉を交わす関係ではあるものの、「天パが似合いそう」といった記述か

ら、主人公はソラの素顔を知らないことが示唆されます。主人公は自身の境遇に失望しており、さらには「男の人と会話できている自分が好き」と、ソラへの愛すら真実でないことを仄めかす。そんな状況でも、目の前の現実ではなく、仮想と紙一重の「彼氏」に救いを求める主人公の姿を描き、物語は幕を閉じます。断片的な情報を巧みに紡ぎ合わせ、今を生きる若者の不全感をうまく描き出しています。ただ、もう少し補足が必要な記述も散見されます。例えばソラの配信者という設定。顔出しの配信が珍しくないため、読者によっては混乱するおそれがあります。



## 小論文 (800字以内) の解答例

課題 [2024年度学校推薦型選抜(公募制)より]

次の二つのうちから一つを選んで文章を書いてください。  
(タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください)

- ①「画面越しの人」が登場する話を作文してください。〈作文〉
- ②「作家という生き方」について自由に論じてください。〈小論文〉

※ 800文字の作文・小論文を選択できるのは、学校推薦型選抜(付属高等学校等)、学校推薦型選抜(公募制)、学校推薦型選抜(日本大学競技部)、外国人留学生・帰国生選抜、校友枠選抜となります。

題名「迷いの道の果て」(②を選択)

作家は、常に迷いながら生きてゆくものだと思う。自らが創作した作品が、世間に受け入れられるかどうかといったことや、売れるために文章を作り出すのか、自分の世界を表現することを優先するか、などと世間の間にある溝に、作家は悩まされる。そうして、売上を重視した作品を出せば、本質的な創作のかたちとは乖離し、「誰のためでもない作品」が産まれる。

現代の読者の姿は、良くも悪くも、恣意的だといえよう。というのは、読者自身にとって簡単すぎるものには「つまらない」難解すぎるものにも「つまらない」と審判を下し、読みたくないものは読まないという態度が確立されているためだ。読書という営みに対しての我々の認識は、昔は評論文などの学びの意味も含蓄していたが、今は、娯楽としての意味へと収束していつていると考える。事実、書店に入って一番初めに目につくのはミステリーやサスペンスなどの、刺激が強い作品や雑誌であり、純文学は本棚の端に配置してあることがほとんどだ。また、レジに並んでいる客の手にある本を見ても皆こぞってストーリー性のある本しか持っていない。もちろん、どんな本を読むかということは人それぞれの感受性によって決めるべきだとは思いますが、今まで読んでこなかったジャンルの本を読んで、感受性を広げてゆくことも好きな本を読むことと同じくらい大切かつ重要だと考える。

創作することで暮らしていくには、創作で一定の売上を出さなければならぬ。しかし売上だけに目を取られては創作の意味がなくなる。それを避けるために、読者は様々なジャンルを読み自らの感性を磨くとともに売上に貢献し、作家は自らの創作スタイルは変えずに、自らの世界を表現していくべきだと考える。それが、作家という迷いの道を乗り越える方法である。

※この解答例は、読みやすさに配慮し、一部の記述を原文から変更しています。

## 出題意図と評価のポイント

小論文は、根拠をもとに自身の主張を述べる課題です。評価のポイントは、主張に対して論理的かつ客観的な根拠が示されていること。それに加え、自分なりの視線で問題を発見し、考えをまとめているか、すなわち「なぜ?」の発見に伴うオリジナリティが感じられることも評価を高める上で重要です。本論は、作家は「迷いながら生きていくもの」と定義し、読者に迎合するべきか、自分の世界を表現するべきか、これらの板挟みになることがその迷いの源泉であると主張。エンターテインメント性が高い作品が求められる傾向にある出版業界の現状を読み解き、結論として「読者は様々なジャンルを読むべきであり、作家は「自らの世界を表現し

ていく」ことが必要と述べます。筆者が取り組んだのは文芸領域で古くから議論されている問題であり、新規性のある意見(オリジナリティ)は見出しづらいものの、しっかりとした論理構成の小論文になっています。一方、改善すべき点も。ひとつは客観的な根拠が弱いこと。例えば、売上を重視すると「誰のためでもない作品が生まれる」といいますが、具体的な事例を挙げることで筆者の問題意識が伝わりやすくなります。また、筆者は「作家」という言葉を純文学作家のみを指して用いていますが、こうした解釈の幅が広い言葉は自身が意図する範囲を明確にして使うことが肝要です。

# 【演劇学科】 専門試験参考資料

## 〔舞台構想コース〕

### ▼ グループディスカッション



#### 出題意図と評価のポイント

グループディスカッション、  
記述式の文章問題、作文

舞台構想コース（劇作、演出、音響、舞台監督、企画制作専攻）は、入学後に、コースを横断した大人数での創作・研究を、学びの柱の一つとして持っています。そこへの適性を見るため、グループディスカッション、記述式の文章問題、作文ともに、以下三つを評価ポイントとしています。1.自分の意見を洗みなく他者へ伝えることができる  
2.他者の意見・狙いを理解し受け止めることができる  
3.様々な問題解決へ新鮮なアイデアを提案できる。専門的な知識は問いませんので、演劇の経験は気にしなくて大丈夫です。

## 〔演技コース〕



演技実技 ▶

音感・リズム感実技 ▶



#### 出題意図と評価のポイント 実技

一番大切なのは、自己と他者を結ぼうとする姿勢です。演技コースの実技試験は「演技」と「音感・リズム感」に分かれます。「演技」ではテキストの正しい読解と、それを土台とした想像の飛躍を両立してください。「音感・リズム感」では、声と身体を自在にコントロールすることが求められます。そして、ときに自身の制御を逸脱して、自分で自分の身体を冒険できると更にいいですね。



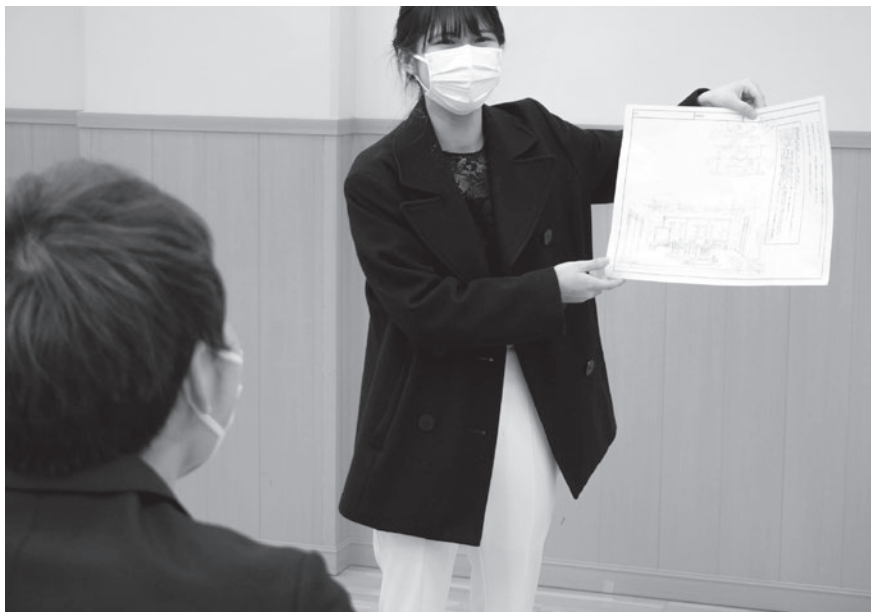
## 〔舞台美術コース〕

プレゼンテーション ▼

### 出題意図と評価のポイント

#### プレゼンテーション

舞台美術コースは、美術／照明の二専攻においてデザインを学ぶための素養をはかるために、「或る題材」を得た中で劇空間のアイデアを発想し、プレゼンテーションを通して相手にどう伝えることができるか、を出題としています。主たる評価のポイントは三点、「出題内容を的確に読み取る読解力」、「演劇に対する能動的姿勢」、「自らのアイデアを魅力的に伝えることができる発信力」を見ています。現時点でのデザイン能力は高くなくとも、目標に到達できるモチベーションや継続性が見られる受験生には、高い評価を与えています。



## 〔舞踊コース-日舞専攻〕



### ◀ 日舞専攻実技

### 出題意図と評価のポイント 実技

専攻では、日本舞踊を通し日本の伝統芸術を学び、舞踊家・実演家はもちろん、それを活かした舞踊創作を創造しながら、世界や地域、多様な社会で活躍できる能力を修得します。その素質を測るため、実技では、日本舞踊曲又は日本の伝統舞踊（各地の伝承芸能を含む）を実演してもらいます。

## 〔舞踊コース-洋舞専攻〕

### 出題意図と評価のポイント 実技

以下、三つの観点を大切にしています。

1. 身体の動きによるダンスの適性などをみる(ストレッチ,ウオーミングアップなど)
2. 舞踊技術、運動感覚とリズム感覚をみる(ムーブメント,モダンダンス・テクニック)
3. ダンスの表現力、発想力及び将来性をみる(イメージによる動き,インプロヴァイゼーション)となります。



### 洋舞専攻実技 ▲

## 【出題のねらい】

制作者（送り手）の思いや考えをテレビ・ラジオの視聴者（受け手）に伝える力が放送人には求められます。その力を発揮するためには、受け手を意識することが大切です。放送学科の作文試験のねらいは、放送の世界を志す者として、ひとりよがりの文章ではなく、読む人を意識した文章が書けるかどうかを見ることにあります。また、その人が何を思い、何を考え、どのような感性を持っているのかなども見ます。

## 【試験について】

課題（作文の題名）は試験開始直前に試験監督者から発表されます（課題用紙を配布する場合があります）。提示された課題について、どのような作文を書くか考え、指定の時間（60分）・字数（600字）で取り組みます。その際、下書き用紙も配布します。なお、採点は複数の教員で行い、客観的に評価をしています。

## 【作文に求められる力】

作文に求められる力は、大きく3つです。

- 1, 着眼点 : 課題から発想した文章に自分らしい視点があること
- 2, 構成力 : 指定の字数で文章を構成し、まとめ上げる力
- 3, 表現力 : 自分の思いや考えが相手に伝わるよう、言葉にする力

自分の思いや考えを伝えるために言葉を適切に使い、決められた時間・字数の中に文章を収めること。そして、文章の中にありきたりではない自分らしい視点があること。これらは放送番組を企画、制作する上でも必要なことです。番組作りと重なる点があることから、放送学科では作文を専門試験としています。

## 【合格者からのアドバイス】

### 久松 玲子さん

試験日に初めて知る問題に対応するには、発想力と計画性が必要だと思います。

まず、発想力を高めるにはマインドマップがおすすめです。キーワードを中心に置き、そこからイメージを繋げることで思考を豊かにすることができ、作文のアイデアが浮かびやすくなります。

そして文章を書き始める前には、簡単な骨組みを作り、計画してから書くのがおすすめです。作文用紙を4つに分けて「起承転結」を割り振り、全体像をイメージしておくと、あとから書き直すことが減ると思います。また、私は塾の先生に作文を見せて添削してもらっていました。

読んでもらう人に伝わりやすい文章を心がけて練習することが、作文の上達の近道だと思います。

### 伊藤 壮舞さん

私は感性の積み重ねが文章になると思います。なぜ感動したのか、どこが面白いのか、普段素通りしている感情と向き合ってみてください。俯瞰的に捉えたり、細かく追求してみたり、複数の視点から感じたり、考えたことを言葉にすることを繰り返して、楽な言葉で逃げない習慣を身につけてください。日本語特有の繊細さを楽しむ好奇心が語彙力を高めます。

そして、良い文章を書こうと思わないでください。創作意欲や小手先の技術だけが先行してしまうと、本心とは離れた場所で文章ができてしまいます。目指すべき文章を知ることが大切ですが、一度自分から生まれる言葉を認めてあげてください。言葉に責任を持ちつつ、正直に自分と対話してみてください。あなたを感じることができた時、きっと心を動かす文章になっています。

### 奥井 沙椰さん

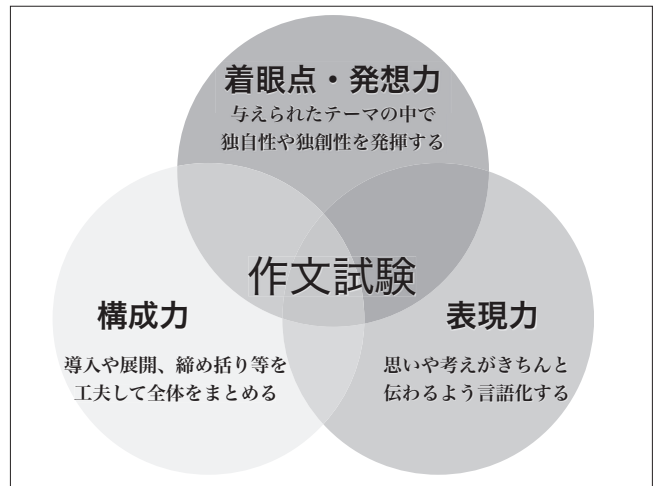
私が作文試験で意識して取り組んだことは「指定されたテーマからいかに発展させた題材で書くことができるか」で、マインドマップを使って他の人が気づけない視点をテーマから探し出す練習をしていました。

例えば私が受験した時のテーマだった「桜」だと、春、入学式、お花見など題材はいろいろ思いつきますが、私は「葉桜」を題材にし、桜の花よりも葉桜が好きだという私の母について書きました。花のイメージが強い桜で取って替えて葉に焦点を当てて書いた人は他にいなかったのではと思います。

テーマが指定されていると聞くと構えてしまうかもしれませんが、文章のどこかにそのテーマがわかるものが紛れていれば成立します。気負わずに、自分の面白さを最大限表現してみてください。

## ■ あなたにしか書けない作文を

例えば「嘘」がテーマ(題名)の作文試験で求められるのは、「嘘とは何か」「人はなぜ嘘をつくのか」といった説明文や小論文ではありません。あなたなりの着眼点や発想にもとづいて書かれた「嘘」という作文の中に、読み手に伝えたいことや共感して貰いたいことがしっかり書かれているかどうかを見ている。これまで積み重ねてきた経験、抱えてきた事情・葛藤、感じてきた喜怒哀楽、培ってきた価値観・美意識・問題意識等々はあなた固有のものであります。その一端をあなたなりの発想力・表現力・構成力を駆使して作文にまとめてください。それは、あなたにしか書けない作文のはずです。



## ■ 構成の全体像をイメージして書く

作文そのものに苦手意識はないものの、字数や時間に制限が設けられると「うまくまとめられない」という人もいます。書きながら次の展開を考えているため、行き当たりばったりの書き方をしてしまう。そういう人は、作文の全体像を明確にイメージしてから書き始めるようにしてみましょう。おすすめは、起承転結を象徴する4枚の「絵」や「映像」で全体像をイメージしてみる。そして、それらが情景としてありありと目に浮かぶような作文としていくのです。実は、テレビ番組の構成台本やドラマの脚本も、場所や情景、人物の様子や動き等の「映像」を指定しながら書きます。この書き方のコツを掴めば、作文試験だけでなく、将来放送業界に進んでからもきっと活かせるはずですよ。

### アドバイス ①

読み手にイメージさせたい情景を「絵・映像」として具体的に思い浮かべながら全体の構成を練ると、よりわかりやすく、より伝わりやすい作文になります。

- ▶ 起承転結の構成とするなら、各段落を象徴する4枚の「絵」を念頭に置く(4コマ漫画のようなもの)
- ▶ テレビ番組に置き換えるなら、どんなオープニング映像やナレーションで視聴者を食いつかせるか、またどんな展開を経て番組のクライマックスへと繋ぐか、そしてエンディングをどう締めくくするか考えてみる

書きながら次の展開を考えるのではなく、書き始める前に全体像をイメージしておくことが大切

## ■ 具体的な事実やエピソードにもとづいて

「母校の甲子園出場のために一生懸命応援したが、負けてしまい悔しかった」。このような文章は、読み手に大雑把な理解しかもたらしません。「一生懸命」「悔しい」といった形容動詞・形容詞は、様子や心情を大雑把に言い表しているに過ぎない言葉なのです。読み手の理解と共感を得るためには、それに見合う具体的な事実やエピソードを盛り込みながら、その時々様子や心情を表現することが大切です。例えば、「チアリーダーとして炎天下の球場で汗まみれになってダンスとパフォーマンスを繰り広げた」といった具体的な事実、また「野球部のみんなが整列して応援席に一礼したとき、幼馴染の背番号1が顔をくしゃくしゃにして泣いているのが見え、気がついたら自分も号泣していた」といったエピソード。それらを作文の読み手と共有することによって、はじめて共感が得られるのです。

### アドバイス ②

賑やか 華やか 静か 楽しい 面白い 嬉しい 悲しい

こうした形容動詞・形容詞だけでは、その場の様子や心情を読み手にきちんと伝えたことになりません。

- ×「東京ドームは、広くて賑やかだった。楽しかった」
- ×「ディズニーランドは、広くて賑やかだった。楽しかった」
  - 東京ドームとディズニーランドが、文章表現のうえで全く同じ場所になってしまう

広さや賑やかさについて、実際その場で見聞きした具体的な事実や体験したエピソードで表現するようにしてみましょう

自分で決めた題名で構いません。時間を正確に計って作文試験と同じ600字・60分で作文を書いてみましょう。そして、身近な人に読んでもらい、率直な感想を聞いてみてください。読み手を意識して書くことの積み重ねが、あなたに実力と自信を必ずもたらします。



# 【デザイン学科】 専門試験参考資料

## 一般選抜A個別方式 実技(デッサン)

**課題** 与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。  
定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。※はかり棒は使用可。

### 【モチーフ】

持ち手付き給水ボトル ×1  
タオル ×1  
横口レードル ×1

(条件詳細は35ページを参照)

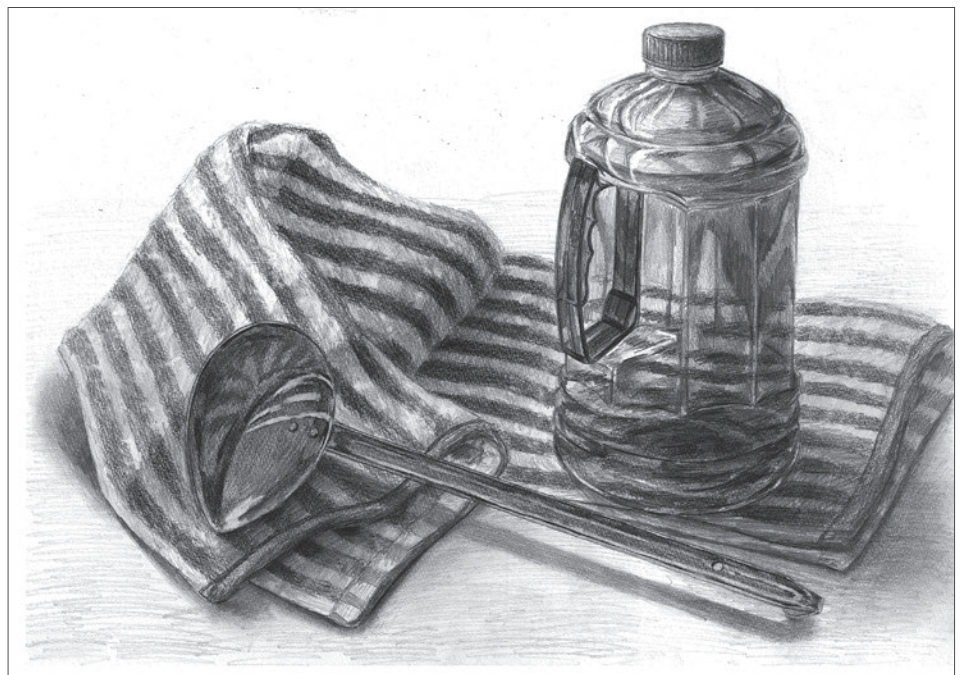


### ◀解答例I

構図の取まりのバランスが良く、全体的に適度な大きさで描けています。タオルと横口レードルの配置には空間的な奥行きが出るように工夫しています。ペット容器の形を構造的に捉えることができ、中心軸や楕円の見え方を正確に表現しています。タオルの柔らかい質感と横口レードルの金属的なシャープな質感の対比が、鉛筆の使い分けやタッチによって良く表現できています。天井の蛍光灯の光のもとに置かれている状況を素直にかつ丁寧に観察して描いています。

### 解答例II ▶

構図について、モチーフの組み方を、画用紙の形に大きくバランス良く収まるように工夫しています。タオルの右端が切れていますが、全体的に若干左に寄せるとさらに良いでしょう。形については、それぞれのモチーフのプロポーションと、モチーフ相互の大きさの関係が大事ですがペット容器の高さと幅の関係や、取手に自然に手が入りそうな感じを意識して正確に捉えています。大きな明暗を左斜め上方向からの光を意識した調子をのせて描き込むことで、立体感を出しています。



## 出題意図と評価のポイント

すべての受験者が共通のモチーフを用い、時間内で行います。モチーフはセットで一人ずつに渡されますので各自が自分の机の上でモチーフを組み、カルトンに画用紙をセットしてのデッサンになります。デザイン学科のデッサンは対象物をよく観察

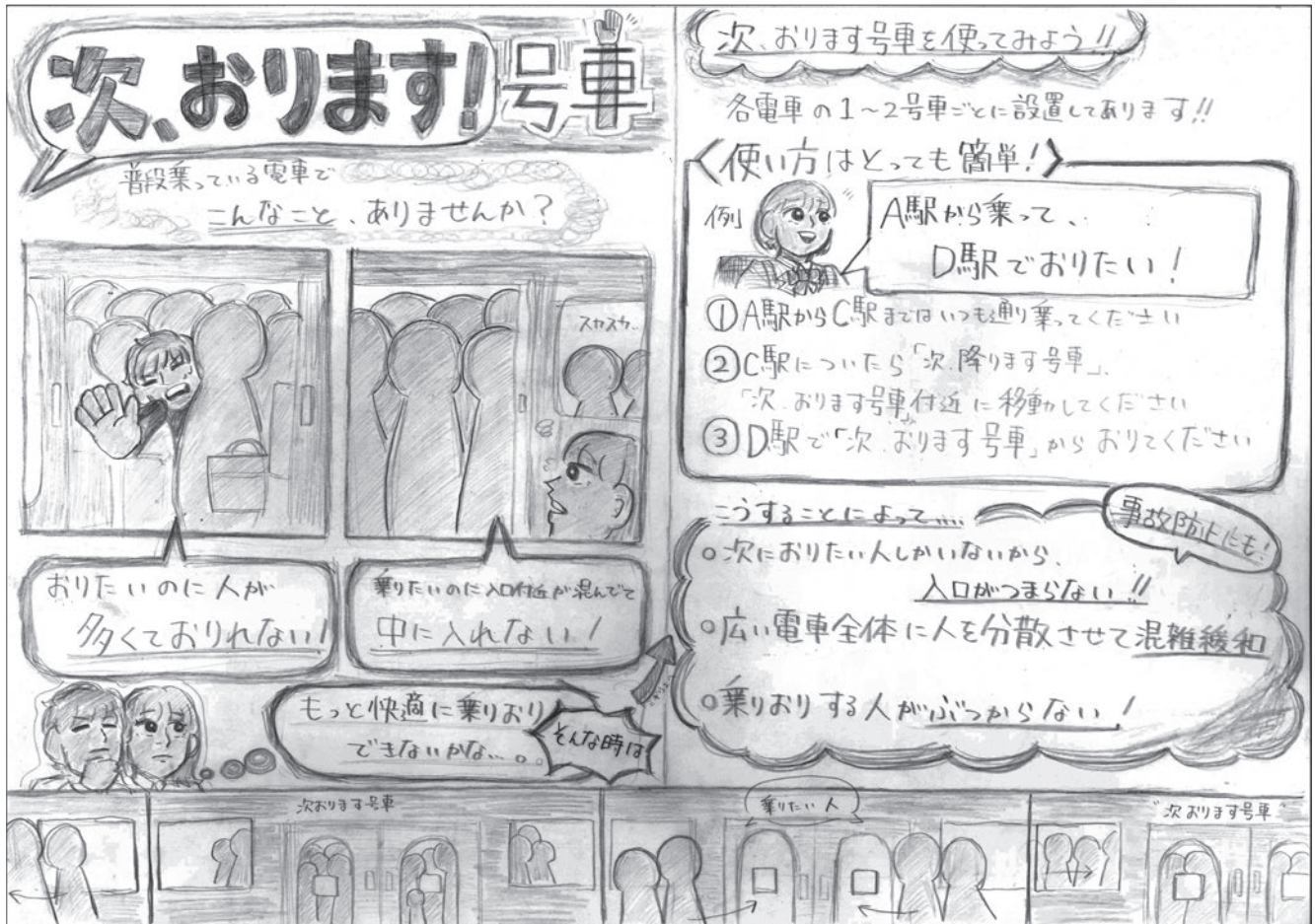
し正確なプロポーションがとれているかを見ます。最終的にはモチーフに対する観察力・表現力といった総合的なデッサン力を重視します。



## 学校推薦型選抜 実技 (デザインプレゼンテーション)

**課題** あなたたちの接する「公共交通機関」の中から問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。

※「公共交通機関」という言葉について。公共交通機関(こうきょうこうつうきかん、英語: public transport)とは、不特定多数の人々が利用する交通機関を指す。なお、タクシーについては、これを公共交通機関に含むという解釈と含まないという解釈がある。※今回は含めても良い (条件詳細は23ページを参照)



**解答例 最終案(上) アイデアやメモ(右) ※1枚の裏表を使用している**

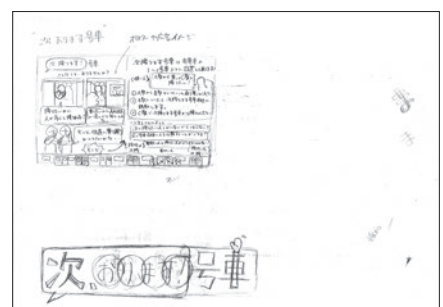
「次、おりました!号車」

普段乗っている電車でこんな事ありませんか?という問いかけから始まり、おそらく自身が体験している中から問題点を見つけてくれました。「降りたいのに人が多くて降りられない」「乗りたいのに混んでいて乗れない」という電車の乗降に関する最も関心の高い問題に(特に首都圏在住の人)正面からアプローチした解答例です。解決方法は降りたい人がその駅の手前で降りたい人が集まる車両を設定するというものですが、実現度はともかく、問題点のわかりやすい提示と解決策の見せ方が高く評価されました。アイデアシートに記載された発想の流れもわかりやすく、最初の気付きから解決策を複数挙げ、最終的に一つに絞ったところは採点者側にも非常によく伝わりました。「問題点を複数挙げる>取り組む問題について絞る>解決策も複数提示して検討する>最終提案をわかりやすく伝えるための解答用紙のレイアウトや流れを検討する」というこちらが期待していることをそつなく表現してくれました。解決策の質も大事ですがこの一連の流れを気にしてもらえると高評価に繋がります。

### 出題意図と評価のポイント

出題文から問題を見つめる「問題発見能力」、そしてそれを解決する「問題解決能力」をみます。更にはその解決方法が「独自性」に富んだものか、「想像力」は豊かか、その中には「発想力とアイデアの展開力(幅広くアイデアが出せるか)」という点も含まれます。

最終的にはそれらをわかりやすく表現するための工夫がなされているかという「プレゼンテーション力」をみます。1枚目の最終案だけではなく、もう1枚提出する最終案に至るまでの経緯も重視していますので、そちらには思いついた案をすべて書き記してください。





## ● 総合

Q 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型の場合、実技試験だけの基準点はありますか？

A 学力検査と専門試験を合わせた総合成績の上位から合格となるので、基準点はありません。

Q 小論文・作文試験について教えてください。

A 小論文は、与えられたテーマに対して、真正面から捉え、短時間に思考を整理し、与えられた字数の中で、自分の言葉で文章として論理的に表現できるか、ということが問われます。

作文は、与えられたテーマから受けたイメージを、決してテーマからそれることなく、自分の感性や創造力を十分に発揮しながら、文章を創作してゆくことを求められます。もちろん、自分が体験したことを率直に書いても構いません。

どちらも、自分らしく述べること(オリジナリティ)が必要ですし、原稿用紙の基本的な使い方も身につけておく必要があります。

Q 実技試験について教えてください。

A 映画学科演技コース、演劇学科演技、舞踊コース(他コースでは、一部入学者選抜で実施)と、美術学科、音楽学科、デザイン学科において実施しています。

このうち、演劇学科の舞踊コースと、美術学科、音楽学科、デザイン学科の実技については、ある程度の経験を必要とします。これまで全く経験のない方については、人一倍の努力が必要となるでしょう。

一方、映画学科、演劇学科の演技コースについては、全く経験のない方でも十分対応することが可能です。

両演技コースの試験では、役者としての「素質」があるかどうかを見ます。その際、映画学科では発声、表情、身体表現力などについて、演劇学科では発声、音感、リズム感、観察力やしぐさの柔軟さ(舞台上における感覚の保ち方と表現に対する方向性)などの観点からそれぞれ見えています。

Q 面接試験について教えてください。

A 一般選抜N全学統一方式(第1期・第2期)学力検査型を除くすべての学科・コースで実施します。

形式は、学科・コースによって若干異なりますが、受験生1人に対し複数の面接官を基本としています。

1人あたりの面接時間はおよそ10分から15分、結果については点数化し、その他の試験との総合点で判定を行います。配点は学科・コースにより異なります。

原則として、専門知識は問いません。熱意や目的意識、すなわち大学で何をやりたいか、将来何をめざしているのか、などを聞くのがねらいです。

Q 総合型選抜を受験して不合格となった場合、学校推薦型選抜(公募制)や一般選抜を受験することは可能でしょうか？また、その場合の志望学科は同じでなければならないのでしょうか？

A 総合型選抜に不合格となった場合でも、学校推薦型選抜(公募制)や一般選抜を受験することは可能です。また、その際の志望学科が異なっても構いません。実際、総合型選抜で不合格になっても一般選抜等で合格している受験生も多くいます。

## ● 写真学科

Q 実技試験はないようですが、写真技術の経験などがなくても大丈夫ですか？

A 写真を一から学べるカリキュラムになっていますので、写真の技術的な経験はなくても大丈夫です。入学後に、しっかり勉強して技術を習得すれば、写真を使いこなすことができます。もちろん、ある程度の専門知識や技術を持っていることは良いことです。

Q カメラなどの機材や制作施設は大学で借りられますか？

A 作品制作の中心となるデジタル一眼レフカメラ、パソコン、プリンター等は個人で所有をしていただきます。

フィルム用一眼レフカメラ、大判カメラ、大型デジタルプリンターについては大学のものを利用できます。また、スタジオや暗室、デジタルフォトラボも貸し出しを行っています。

Q カメラなどの機材は、どの程度のものを持っていればよいのでしょうか？

A 写真を専門的に学ぶためには、現状主流のデジタル一眼レフカメラやパソコン、プリンターなどの機材は必須です。また、自分自身の表現や研究のための機材ですので、自分自身の制作傾向、将来の目的に合った機材が必要となります。さらに、フィルムによる写真制作をしたい場合は、フィルムカメラなどの機材もあるといいでしょう。必要な機材については、入学後の授業で詳しくご紹介します。

**Q** 写真学科が指定するポートフォリオについて教えてください。

**A** 写真学科が指定するポートフォリオは以下の通りです。

「学びのポートフォリオ」

探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の活動、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。写真作品のみを入れるのではなく、これまでの各分野での経験や写真活動が分かるようにしてください。写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。

ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル(20ポケット・40頁以内)とする。ポケットファイルは透明度の高いものを使用し、資料や写真が見えやすいようにしてください。また、ファイルの形状が変わってしまうような厚みのある資料は入れないでください。業績を示すための賞状等はコピーで構いません。

\*総合型選抜には別途「作品ポートフォリオ」が必要です。A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成されている形式、もしくはフォトブックでも構いません。自分の撮影した写真(スマートフォンで撮影した写真も可)を他者に見せられる形式にしてください。

\*いずれも詳細を写真学科特設サイトにて7月中頃に掲載予定です。詳細はホームページをご確認ください。

**Q** 編入学・転部試験の持参作品等について教えてください。

**A** 今までに積極的な写真活動をしてきた方に、その成果を提示していただきます。コンクールでの受賞や入選の実績がある場合は、作品とともに賞状または作品が掲載された印刷物を持参してください。

受賞・入選作を含む持参作品は、A4からA3ノビ、六つ切から大四つ切の組写真あるいは単写真も含め10点程度とし、作品については必ずキャプションの解説をつけてください。また、活動を客観的に説明できるものとして、展覧会の記録写真や作品の掲載された資料などをお持ちいただいても結構です。

## ● 映画学科

**Q** 映画学科では、映画配給などの映像ビジネスについて、勉強することはできますか？

**A** 映像表現・理論コースでは、映画ビジネスやマネジメントに関する授業を開講します。特に理論・批評専攻では映像理論や映画史を学びながら、将来の映画ジャーナリストや映画研究者だけでなく、企画者や配給会社などの映画ビジネスに携わる人材の育成も目指しています。

**Q** 将来は脚本家をめざしているのですが、映画学科で脚本を学ぶには映像表現・理論コースを選択すればいいのですか？

**A** 映画学科では数多くシナリオに関連する講座を開講しています。映像表現・理論コースは2年次からシナリオ専攻があり、シナリオライターをめざした専門教育が用意されています。1年次は映像理論や創作研究と共にシナリオ執筆の基礎を学びます。

**Q** 映像表現・理論コースでは、2年次以降の専攻はどのように決めるのですか？

**A** 基本的には本人の希望を尊重しますが、1年次の授業出席や課題提出の期限厳守など、勉学に対する姿勢を鑑みながら、相談の上で決定します。

**Q** 映画学科の施設について教えてください。

**A** 同時録音可能な大・中撮影スタジオ、微速度撮影や顕微鏡撮影が可能な小撮影スタジオ、16mm、35mm映写機に加えDLPシネマプロジェクターを備えた上映施設、現像の基礎となる工学・化学の研究、分析、処理を行う総合ラボラトリー、大小7つの録音スタジオ、アニメーション室、ネガ・ポジ編集室、ビデオ編集室、ハイビジョン制作システム、映画美術制作室、照明特殊機材倉庫、映画メーキャップ室など、映画制作に必要な環境が整っています。

**Q** 総合型選抜映画学科の適性試験とはどのようなものを行うのですか？

**A** コースによって試験内容が変わりますが、作文、実技(撮影、身体表現、文章による創作、プレゼンテーションなど)、批評などを含みます。どのような適性試験になるかは、その時の映画や映像を取り巻く環境によって変化するでしょう。

**Q** 演劇学科の演技コースと授業内容はどう違いますか？

**A** 俳優として必要な演技の“基礎”は両学科に共通ですが、映像と舞台に関する学科内容の違いから、映画学科の場合は「発声」、「音楽」、「日舞」、「洋舞」など、幅広く科目を設置している点に特徴があります。

- Q アニメーションを勉強したいのですが、どのコースが適していますか？
- A アニメーション専門のコースはありませんが、複数のアニメーションの講座があります。アニメーションの作品創作の学習が目的なら、講座の中だけでなく、卒業のための作品としてアニメーション制作できる映像表現・理論コース、監督コース、撮影・録音コースが良いでしょう。
- Q 演技コースの実技試験用に着替える部屋はありますか？
- A 特に着替えは必要とせず、動きやすい普段着で構いません（更衣室は設けません）。
- Q 実技試験に要する時間を教えてください。
- A 演技コースの受験生は、面接試験等の待ち時間も含め、ほぼ半日から一日の間拘束されます。一連の実技試験を同じ会場で通して行い、練習時間を最低10分設けています。試験の所要時間は5分以内です。

## ● 美術学科

- Q 美術学科の特徴を教えてください。
- A 絵画コース絵画専攻では、絵画の基礎および普遍性を重んじ、西欧近代以降の色、形、コンポジションそして絵画空間の考え方を主軸としたカリキュラムにより、4年間じっくりと腰を据えて「絵画」を学び「絵」を描くことができます。また、版画専攻では、「感性を刺激する」ために、イメージ描写やドローイング、基礎的な素材や色彩にこだわり「版表現」の可能性を探ります。そして、「表現を広げる」ために、活版による絵本制作やペン画、イラスト、ポートフォリオ、アートブックなどで、表現を深めていきます。彫刻コースは、彫刻専攻に加え新たに地域芸術専攻が加わりました。彫刻専攻では、造形芸術における形の問題を、昨今忘れがちな基礎の反復と研究によって追求し、自らの表現に繋げていきます。また地域芸術専攻では、社会が抱える問題をアートの力を使って、直接社会と繋がりがながら、人の心を豊かにするための実践力を身につけます。両専攻とも外部での発表を積極的に行っており、社会との接点を多数設けています。
- Q 絵画コースに日本画の専攻がありますか？
- A 日本画専攻はありません。ただし、特別講座として組みこまれています。
- Q 入試の木炭デッサンでは、木炭紙の下敷きはありますか？
- A 木炭紙の下敷きの用意はありません。必要であれば各自持参してください。
- Q 入試の画材登録はどのようにできますか？
- A 募集要項等で指定された期間に「美術学科画材選択・専攻選択入力フォーム」より登録してください。
- 美術学科画材選択・専攻選択入力フォーム ▶ 
- Q 実技に関するレポートについて教えてください。
- A 実技試験中に考えたこと、制作において工夫したこと、特に見て欲しい部分、自分なりに上手く描けた点や反省点などを文章に400字以内でまとめてください。
- Q 絵画コース版画専攻の受験を考えているのですが、版画に関わる実技経験は必要ですか？
- A 版画制作の経験がなくても、版画の初歩的な指導から、鉛筆デッサンやペン画、イラスト、絵本など版画以外にも授業では表現の幅を広げるために授業プログラムを用意しています。
- Q 彫刻コース地域芸術専攻の受験を考えているのですが、彫刻にかかわる実技経験は必要ですか？
- A 1年次のカリキュラムの中で、「デッサン基礎」や「造形基礎」などの初歩的な技術指導がありますので、受験段階での実技経験の有無は問いません。

## ● 音楽学科

### Q 受験曲目の届出は、いつ行うのですか？

A 音楽学科受験生は、全員、「**受験曲目等**」を指定された期日までに学科サイトより入力し、自分の受験曲目を届け出なければなりません。詳細については、各募集要項にて指示します。

### Q 情報音楽コースについて教えてください。

A 情報音楽コースでは、プログラミングなどの情報処理技術とともに、音楽理論や音楽表現を十分に学習します。詳細については、情報音楽コースホームページをご覧ください ([www.micnuart.com](http://www.micnuart.com))。

### Q ライブやコンサートの音響を学ぶことはできますか？

A スタジオでの音楽制作が中心ですが、ライブやコンサートの音響技術者になる者も多数います。

### Q 情報音楽コースの映像データはどのような形で提出しますか？また、どのような映像が好ましいですか？

A データの事前提出はありません。口頭試問の際に動画を見せていただきます。試験当日に自分のスマートフォンやタブレット端末、PCで再生できるようにしてください。また、バンド活動などの映像でも構いませんが、必ず本人と分かる映像で、顔ならびに全身が確認できるものとします（以下のサンプル画像を参考にしてください）。演奏時間は3分～5分程度で結構です。詳細は入試案内の「音楽学科実技課題曲案内」、「**【音楽学科】専門試験参考資料**」を確認してください。



演奏動画サンプル

### Q 課題曲はいつごろ決まりますか？

A 課題曲については、40～43ページをご覧ください。



音楽学科からのお知らせ



受験曲目届

## ● 文芸学科

### Q 学生の作品発表の機会はありますか？

A 授業の中で年1回ゼミ雑誌を作成・発行する機会があり、その中で各自の創作を発表することができます。さらに、文芸学科の学生は、入学と同時に江古田文学会の学生会員となり、文芸誌『江古田文学』（年2回発行、市販）において創作、批評などの執筆作品発表の機会があります。

### Q 主な設備について教えてください。

A 文芸学科には、コンピュータを多数設置した専用施設があります。DTP（パソコン画面上での編集・版下制作）に使用されるソフトウェア（InDesign等）もインストールされ、ゼミ雑誌作成のほか、学生個人の創作物等にも利用が可能です。また、多くの文芸関係専門書を取りそろえた文芸学科資料室があり、読書・自習の場として活用されています。

### Q 他の大学の文学部と同じ内容でしょうか？

A 文学部とは違います。文学を小説や批評といった創作活動、またジャーナリズムの幅広い表現活動の両面にとらえ、その養成を目的とした、文芸表現主体の学科です。



Q 文芸学科ではどのような資格を取得できますか。

A 文芸学科では、中学校・高等学校の「国語」の教員免許状を取得するための科目を開講しています。また、図書館の司書資格、および学校図書館の司書教諭資格を取得するための課程も開かれており、文芸学科生も数多く履修しています。そのほか、博物館の学芸員資格を取得するための課程も設置されており、一部の文芸学科生は履修しています。

Q 「学科指定施設内の資料の参照も可」と書いてある試験がありますが、どのような試験形式でしょうか。

A 総合型選抜の小論文または作文試験では、辞書の持ち込みが可能（電子辞書は不可）のほか、文芸学科資料室に所蔵されている図書や雑誌等を、閲覧しながら解答することができます。

Q 小説家を目指しているのですが、文芸学科ではそのための勉強ができますか？

A 文芸学科では、多様な分野の文芸表現を対象とした授業を開講しており、小説関連の科目を重点的に選択することで、将来の希望に応じた学びが可能です（例：小説論、SF小説論、ミステリー小説論、幻想小説論など）。また、全学年で必修の「文芸研究」でも、小説を専門とするゼミが複数あり、少人数制での創作指導や合評の実践が行われています。小説家を育てる役割を担う現役編集者をゲストに招くこともあります。その他、表現領域を広げ、内容を深めるための発展的科目も開講しております。これらの学修を経て、実際に小説家として活躍している卒業生が何人もいます。

Q 将来は出版業界で働きたいのですが、文芸学科ではそのための勉強ができますか？

A 文芸学科では、出版業界の実務家が講師を務める講義科目や、雑誌編集のために必要な技術を学ぶ演習科目を開講しています。また、ゼミ雑誌を作成する際に、企画や編集などを学生が担当して一から誌面作りを経験することもできます。文芸学科での学びは、編集者や校閲者、ライター、ジャーナリストなど、出版業界に関わる多様なキャリアへ繋がります。

## ● 演劇学科

Q 舞台構想コースの専攻と入学者選抜について教えてください。

A 舞台構想コースには「劇作専攻」「演出専攻」「音響専攻」「舞台監督専攻」「企画制作専攻」の5専攻があります。1年次はこれらの分野を多角的に複数学び、2年次へ進級する際、学科へ志望専攻を申請してもらいます。入学者選抜では、将来どの専攻を志望するかによらず、全員同じ科目を受験します。

Q 試験科目である記述式の記事問題について教えてください。

A 舞台構想コースの、学校推薦型選抜において、実技科目として「記述式の記事問題」を行います。戯曲の一部を読み、それに対しての意見やアイデアを述べてもらいます。演劇史や専門用語の知識を問うことはありません。

Q 舞台美術コースの専攻と入学者選抜について教えてください。

A 舞台美術コースでは、4月の学科ガイダンス時に「美術（装置）専攻」「照明専攻」のどちらを志望するか学科に申請してもらいます。しかし、入学者選抜では、舞台美術コースを志願する受験生は、両専攻志望とも、同じ科目で受験します。実技試験（プレゼンテーション）は、資料作成（60分）とそれを用いた口頭発表（5分程度）を行う予定です。

Q 舞踊コースの実技試験について教えてください。

A 実技科目の「日舞」と「洋舞」から一つを選択してください。その際、志望する専攻に合わせた科目を選択してください。また出願後、「募集要項」に従ってどちらを選択するかを郵送にてお知らせください。

Q 日舞専攻は日本舞踊の流派に所属していないと受験できませんか？

A 流派に現在所属していなくても受験できます。

Q 日本舞踊以外の実演で受験することはできますか？

A 専攻カリキュラムでは日本舞踊の技術や表現を学び、創作舞踊を創るための方法論や実践を行います。そのために備わっている日本の伝統舞踊の技術や表現からその素質を判断するので、郷土芸能を含む日本の伝統舞踊を実演することでも十分に実技試験に臨むことができます。実技試験でそうした実演で臨む場合も音源や実演に必要なものを持参頂く必要があります。



Q 実技では着物を着用する必要がありますか？

A 日舞専攻の授業では日本舞踊を基盤とした授業を行いますので、日本舞踊曲、日本の伝統舞踊、どちらで受験する場合も着物を着用し受験する必要があります。但し、試験会場へ着物を着てくることも可能ですし、更衣室も用意しています。

Q 演劇学科の実際の舞台発表を観ることはできますか？

A できます。年間のスケジュールは、70ページからの「卒業制作等、学生の作品発表を見るには…」をご参照ください。

また、予約や最新情報は演劇学科ホームページよりアクセスできます。



演劇学科ホームページ ▶

## ● 放送学科

Q 実習施設にはどのようなものがありますか？また、その施設では実際にどのような授業が行われているのか、教えてください。

A 施設としては4K対応を含むテレビスタジオ2つ、ドルビーアトモス対応などの録音スタジオ4つ、多数のビデオ編集室、MA室のほか、ビデオ収録車やCDライブラリーなどがあります。それぞれのスタジオは現在のテレビ局・ラジオ局とほぼ同じ機能を持っています。また、すべての施設をネットワークでつなぎ、多様な実習が行えるようになっています。スタジオを使っての実習は、1年次から行われ、企画から番組完成までのプロセスをくり返し実作しながらトレーニングしていきます。さらには、受講生の個性的な企画も取り上げ、それぞれの創造力を引き出すよう配慮しています。また、テレビカメラをはじめとして、照明設備、音声調整卓の操作などの技術面の実習、屋外でのロケーションや取材・音楽録音の実習なども行います。

Q 実習の分野にはどのようなものがありますか？また、どのようにして履修するのか、教えてください。

A 放送学科は「テレビ制作」「ラジオ制作」「映像技術」「音響技術」「CM」「脚本」「アナウンス」の7つの実習を設置しています。これらの中から必ず1つを選び、1年次後期、2・3年次と段階制で履修します。また、実習を2つ履修する“ダブル受講”もできます。なお、第一志望で選択した実習については希望通り履修できますが、2つ目の実習については、各実習が設定している定員数に基づいてダブル受講希望者の募集実施有無を決め、希望者を募った場合は、実習を担当する教員が選抜を行います。

Q 声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を目指しているのですが、放送学科ではそのための勉強はできますか？

A 声を使った職業は多岐にわたりますが、放送学科は放送局（テレビ・ラジオ）のアナウンサーを志望する者の育成をめざしています。人と話しをすることが好きで、自分の言葉で人に何かを伝えることに強い志を持つ者を求めます。声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を育成するための授業は設けていません。

## ● デザイン学科

Q デザイン学科の特徴を教えてください。

A 1年次では、必修授業を通してデザインの基礎知識と技術の習得に専念します。併せてグラフィック・コミュニケーション、プロダクト、スペース・アーキテクチャー等の各デザイン分野の基礎演習や実習からその概念や意義を学びます。2年次以降は自らが選択した授業（専門領域）を核に、必要とする他の領域を自由に学びながらデザイン手法を修得し、多様な社会の要請に応えられるデザイン力を学ぶことが出来ます。

Q 面接の参考資料とするための自作作品が大型の場合どうすればいいでしょうか？また評価について教えてください。

A 持参できる大きさの物にしてください。または写真に撮って持参することも可とします。  
なお、持参作品は面接時の参考資料とし、作品そのものは採点しません。

Q 過去の一般選抜A個別方式の実技課題と評価ポイントについて教えてください。

A 2024年度（昨年度）の実技課題については、35ページを参照してください。  
評価ポイントについては、58、59ページの専門試験参考資料及びデザイン学科ホームページを参照してください。

## 授業について

本学部の授業形態は、芸術に関する知識・理論を学ぶ「講義科目」、経験豊富な教員の指導の基に研究・創作を行う「演習科目」、学生自ら研究・創作の成果を作り上げる「実習科目」などを、最新鋭のスタジオ設備群や本格的な専門設備を完備した各種ホール、専用の展示施設等を使用して、4年間で実践的に学びます。

また、大きな特色の1つとして、学科の専門領域を超えて横断的に科目の履修が可能となる、「他学科公開科目」が設置され、学生個々の興味関心に合わせた科目履修が可能となっています。

さらに全学科の学生が履修可能な「芸術総合講座」では、芸術分野の専門家や社会の第一線で活躍されるクリエイター等を多数招き、リレー形式にて1つのテーマを様々な視点から学ぶ授業を開講しています。講座には有名企業へ訪問し、実務的授業を受講する等、貴重な社会経験を積む授業もあります。

こうした高度な専門性を養うカリキュラム、横断的な履修方式やユニークな授業科目など、多様な学びの在り方こそが、「日藝」ならではの授業＝創作活動の基盤です。

## 取得資格について

### ●学 位 学士(芸術)

### ●教員免許状(教職課程)

各学科においては、右表の免許状を取得できます。

### ●学芸員資格(学芸員課程)

本学部では、学芸員(博物館、美術館等で資料の収集や保管、展示及び調査研究を行う専門職員)の資格を取得するための課程を設けています。

### ●司書教諭資格(司書教諭課程)

学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担

う司書教諭の資格を取得するための課程です。司書教諭の資格を得るためには、所定の科目を修得し、教育職員免許状(免許の種類・教科は問いません)の取得が必要となります。

### ●司書資格(司書課程)

都道府県や市町村の公立図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員の資格を取得するための課程です。

### ●一級建築士<デザイン学科>

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業し、試験に合格したうえで、大学卒業後の建築実務経験を2年以上経ることにより、一級建築士として登録されます。

### ●二級建築士、木造建築士<デザイン学科>

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業することで、受験資格を得られます。

学 科	中学校一種	高等学校一種
美 術	美 術	美術, 工芸
音 楽	音 楽	音 楽
文 芸	国 語	国 語
デザイン	美 術	美術, 工芸

## 転科・転コースについて

学部内で所属学科を変更することを「転科」と呼びます。転科試験については11月頃に受験資格、手続き要領などを掲示板に掲示します。また、学科内で所属コースを変更する「転コース」については、転科に準じて認められることがあります。

しかしながら、転科・転コースはあまり望ましいことではありません。入学者選抜の出願にあたっては、自分が何を目的としているか、何を学びたいのかといった視点から志望学科・コースを決めるようにしてください。

### ≪2024年度転科試験実施状況≫

転科希望学科	出願者数	受験者数	合格者数
写 真	1	1	1
映 画	5	5	3
美 術	0	0	0
音 楽	1	0	0
文 芸	1	0	0
演 劇	1	1	1
放 送	1	1	0
デザイン	1	1	1
合 計	11	9	6

本学部においては、卒業するために必要な単位数を124単位以上と定めています。

科目区分		必要単位数	備考
全学共通教育科目		初年次教育科目	「自主創造の基礎」「日本を考える」
(各学科共通授業科目) 芸術教養課程科目	芸術教養科目	14単位以上	
	外国語科目	8単位以上	ただし、1か国語4単位を含む8単位以上
	保健体育科目	3単位以上	講義2単位、実技1単位は必修
所属学科授業科目・共通専門教育科目		58単位以上	
その他		41単位以上	日本大学相互履修科目、他学科公開科目などを含む
合計		124単位以上	

全学共通教育科目のうち、「自主創造の基礎」は、大学入学までの受動的な学習から転換を図り、「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力を養い、大学生としての能動的な学修を導くことを目的とした授業です。「日本を考える」は、異文化及び異分野の多様な価値を受容し、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を意識し、以後の学修目標の明確化やモチベーションの向上を目的とした授業です。

芸術教養科目は、大学の学生としてもつべき基本的教養、各芸術分野にまたがる総合的視野を身につけるために設置されている科目です。

外国語科目は、基礎的な語学力を身につけるとともに、国際人としての基本的な教養を学ぶために設置されている科目で、英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・中国語・日本語(留学生のみ)だけでなく、韓国語・スペイン語・ラテン語や、各外国語の応用・実践クラスを自由に履修することができます。

保健体育科目は、講義と実技に分かれています。講義では日常の健康法やスポーツの歴史などを学び、実技ではスポーツの技術を修得します。実技科目には、各種球技やフィットネストレーニング・ボクササイズなどのほか、スキー・スケートなどのシーズンスポーツが開設されています。

学科別授業科目とは、各学科の専門科目のことです。どの学科の専門科目も、A 理論・歴史 B 研究 C 表現技術の3部門により構成されています。A部門では、各分野の芸術について、基本から応用までの理論と歴史を学びます。B部門では、それぞれの芸術に特有のテーマについて、各先生の研究成果をもとに、より専門的な授業が行われます。C部門では表現の技術を実践的に身につけるための演習・実習授業が、コース別・専攻別に行われます。

学科別授業科目は、自分の所属する学科以外の科目でも履修することができます。ただし、これには条件があり、学科別授業科目のうち、「他学科公開科目」として定められている科目に限られています。

また、特別プログラムとして「芸術総合講座」が開設され、さまざまな芸術領域の最新情報や技術を、オムニバス形式の授業により学ぶことができます。一部の授業では実際の作品創りやワークショップなど、実践的、創造的な授業を展開しています。

共通専門教育科目は、芸術プロジェクトをベースにした実践型・参加型の学習形態科目となり、芸術活動に必要なコミュニケーション力や課題探求力、自己表現力など様々なスキルを身につけ、初年次に全学共通教育科目や各学科の基礎科目で培った能力をさらに養い発展させる事を目的とした授業です。

このほか、卒業単位には含まれませんが、教職課程、学芸員課程、司書教諭課程及び司書課程の科目も設置されています。

大学での学習に何を求めるか、学生一人ひとりが主体的に考え、さまざまな授業科目を組み合わせ「自分だけの時間割」を作るところに、大学での学びの面白さがあります。学科・コースにより必修科目、必修ではないが履修することが望ましい科目がありますし、科目によっては履修する学年が指定されている場合もありますが、それでも各自の目的の違いによって、大学には学生の数だけの時間割が存在するといつて良いのです。

## インターンシップについて

芸術学部では、学生が自らの専門分野や将来のキャリアに関連した〈実社会の現場〉で業務体験を行うことを通じて、各自の〈職業観〉を身につけることを目的に、「芸術学部インターンシップ制度」を設けています。

写真、映画、デザイン学科においては、選択科目として年間の正規の授業に組み入れられており、原則的に3年生の夏休みに集中的に行われます。教室での授業では得られない実社会の体験を通して、社会人としての自覚を意識できるチャンスであり、また自分に合った職業を見つめ直すチャンスでもあります。

## 入学金・授業料等納入金について [2025年度]

入学者納入金は下表のとおりです。合格後、入学手続の際に必要な納入金は以下の「前学期計」の金額となります。  
 なお、2年次以降卒業年次までの納入金の年額については、原則として、入学金を除く入学年度の納入金と同額となります。  
 また、入学後の学費等の納入期限は、前学期は4月末日まで、後学期は9月末日までとなります。

(単位：円)

学科・コース	納入区分	入学金 (入学時のみ)	授業料	施設設備 資金	実験 実習料	後援会費	校友会費 [準会員]	前学期計 後学期計	初年度 年 額	2年次以降 年 額	
写 真	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,085,000	1,900,000	1,640,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	50,000	10,000	—	815,000			
映 画	映像表現・理論	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000		
	監督、撮影・録音	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	75,000	10,000	10,000	1,125,000	1,980,000	1,720,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	75,000	10,000	—	855,000		
	演技	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	40,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	40,000	10,000	—	820,000		
美 術	入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000	
	後学期納入金	—	550,000	200,000	60,000	10,000	—	820,000			
音 楽	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,095,000	1,920,000	1,660,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	60,000	10,000	—	825,000			
文 芸	入学手続時(前学期)納入金	260,000	520,000	200,000	25,000	10,000	10,000	1,025,000	1,780,000	1,520,000	
	後学期納入金	—	520,000	200,000	25,000	10,000	—	755,000			
演 劇	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	35,000	10,000	10,000	1,070,000	1,870,000	1,610,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	35,000	10,000	—	800,000			
放 送	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000	
	後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000			
デザイン	入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	45,000	10,000	10,000	1,075,000	1,880,000	1,620,000	
	後学期納入金	—	550,000	200,000	45,000	10,000	—	805,000			

※卒業予定年次後学期に、日本大学校友会正会員費初年度分として10,000円を代理徴収いたします。



# 入学後のキャリア形成について ～卒業後の「職」を考える～

戻る

大学入学前の皆さんが卒業後のことを考えるのは難しいところもあります。今では多くの大学で早期から「職業」に対する教育に力を入れています。本学部も芸術に関する専門的な教育はもちろんのこと、就職指導委員会とサポートセンターを中心に学生の就職活動に対しても全面的にバックアップする態勢を整えています。

## ■ キャリア形成に関する主なスケジュール [参考]

1年次生	2年次生	3年次生					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
幅広い芸術領域を授業で体験するとともに、ガイダンス等で、将来の進路も見据えます。 サポートセンターが実施する <b>キャリアガイダンス</b> （内容：「自己分析の仕方」ほか）を活用して、早い段階から「職」に「就く」意識を持てるようにしましょう。	具体的な進路先を決めるにあたり、何を参考にすればよいのでしょうか。サポートセンターが実施する <b>業界研究講座</b> （内容：各種業界紹介）を活用して、自分の適性や自分が希望する業界や職種などについて考えてみましょう。						
		就職指導講座 ※下記一覧参照			自己分析, 業界・企業研究, 筆記試験対策		
							インターンシップ

3年次生						4年次生												
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
就職指導講座 ※下記一覧参照																		
自己分析, 業界・企業研究, 筆記試験対策																		
						会社説明会・エントリー												採用
						採用試験												
						内定												

## ■ 就職指導講座（3年次生対象）の一部 [参考]

講座名	内容
就職活動スタートアップ講座	就職活動のスケジュールや事前の準備の進め方などを説明するとともに、併せて卒業生の主な就職先や業界を紹介する
インターンシップ講座	多種多様化するインターンシップの全体像を整理して説明するとともに、業界研究や企業研究の方法、インターンシップに参加するための選考対策方法などを具体的に解説。その他、代表的な就職情報サイトを紹介する講座も設ける
筆記試験対策講座	企業が使用する筆記試験の出題傾向と対策を解説
生成AI活用就職活動講座	就職活動における生成AIの有効な活用方法や注意点について解説
ポートフォリオの作り方講座	クリエイティブ職種希望者必須のポートフォリオ（作品集）の作成方法などのポイントを具体的に解説
動画選考対策講座	最近増加している自己PR等の動画の作成方法について解説
マスコミ業界対策講座	多くの本学部の学生が就職を希望するマスコミ業界のうち、音楽・出版等の分野に焦点をあて、各回ごとにその分野に携わっているゲストを招いて業界の実情や採用動向などを解説
履歴書/エントリーシート書き方講座	就職活動において最も基本的かつ重要な書類である履歴書やエントリーシートの書き方を具体的に解説
面接/グループディスカッション基礎講座	面接やグループディスカッションを受ける際の必要な知識を学んだ後、さらに模擬形式で受けて現在の自分の準備状況を把握することで、弱点の修正を図る
面接/グループディスカッション実践講座	
就職活動におけるマナー・身だしなみ講座	就職活動に効果的な服装や身だしなみ、マナーの基本を徹底的に解説
女子学生のためのメイクアップ講座	就職活動に効果的なメイク・ヘアメイクの方法を例を示しながらわかりやすく解説

上記以外にも、UIJターン講座や公務員・公益法人等紹介講座、教員採用試験対策講座など就職に関する各種講座を実施しています。

# 卒業制作等，学生の作品発表を見るには…

戻る

芸術学部では，教育の成果として，年間にわたり学生の作品が発表されています。写真・絵画・彫刻・デザインなどの展示，映画・放送等の映像作品の上映，文芸誌ほか各学科研究誌の出版，音楽・演劇・舞踊の上演といったように，発表の形式・内容もバラエティに富んでおり，こうした作品の中には，学外の各種コンクールにおいて審査を受け，受賞するものも数多くあります。

学部では，各学科の実習内容を理解していただくためにも，これらの発表をぜひ見ていただきたいと思います。

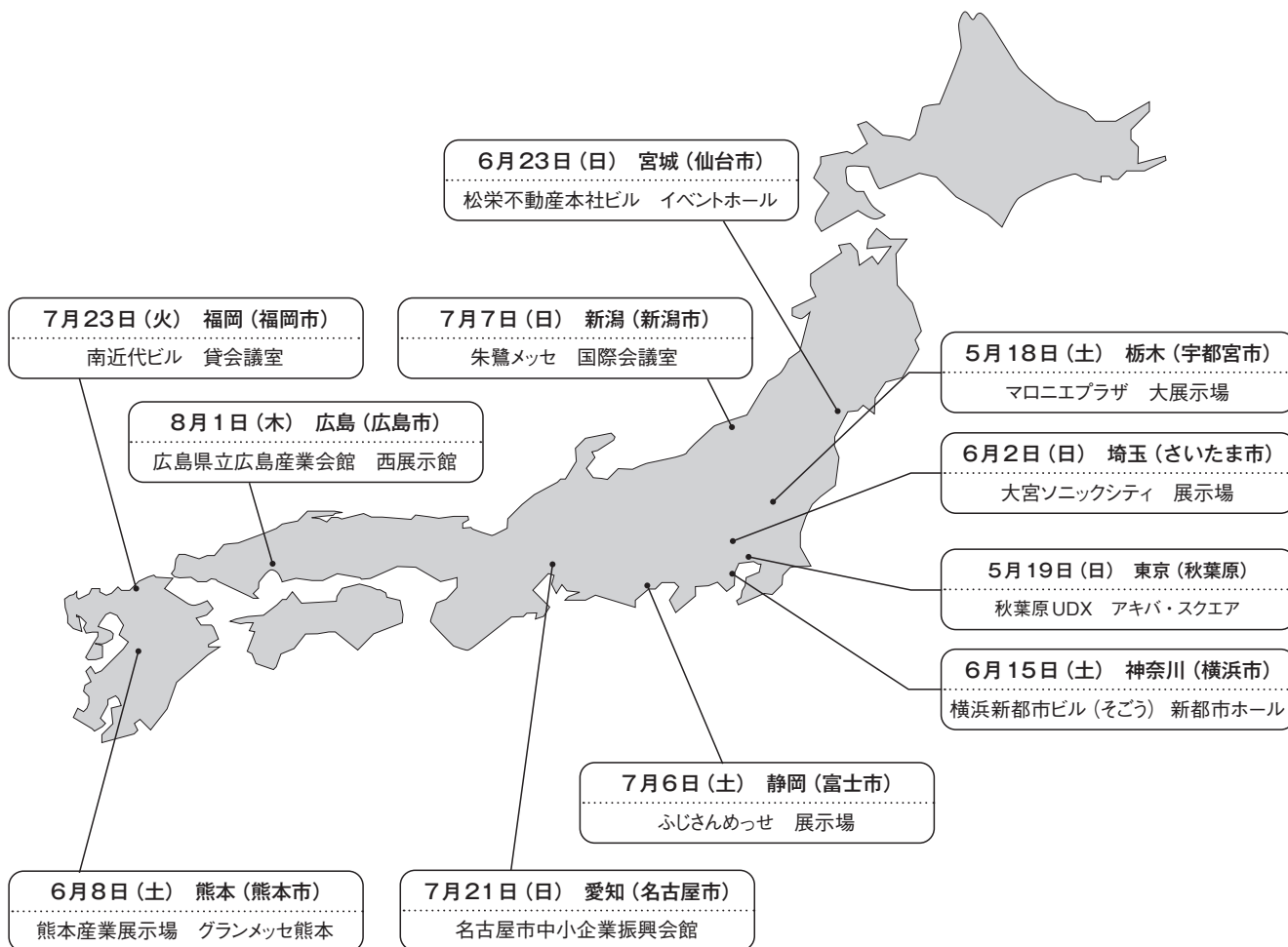
※2024年4月現在の予定について掲載しています。変更となる場合がありますので，詳細については，本学部または各学科ホームページをご確認ください。

学科	名称	時期	会場	内容
写真	卒業・修了制作 優秀作品展	5月から随時 (ホームページにて ご確認ください)	学部校舎 写真ギャラリー	令和5年度の優秀作品(卒業制作・修了制作)の 展示(無料)
	GRIP2024 -学生選抜作品展-	6/20~26	ポートレートギャラリー	学内選考によって選ばれた学生による展示(無料)
	日芸祭写真展	11/2~4	学部校舎	学生の個人・グループによる作品展示(無料)
	卒業制作集 [LOCUS]	毎年3月発行	学部校舎にて閲覧可	卒業制作・論文の抄録
	写真学科2025卒展	2025年3月下旬 (予定)	学部校舎(予定) (ホームページにて 告知します)	学生作品の展示(無料) ※卒業制作の一部は写真学科公式ホームペー ジ内でも公開しています。
問合せ先 ☎03-5995-8210(写真学科事務室) 写真学科公式ホームページ <a href="https://www.nuaphoto.com/">https://www.nuaphoto.com/</a>				
映画	映画学科機関誌 「映像研究」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	各年度の卒業論文，シナリオ，エッセイや作品 題目一覧等を掲載
	映像表現・理論コース 2年ゼミ誌 「書くことから」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース2年 理論・批評専攻， シナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は 約5,000字の批評，シナリオは15分程度の短編
	映像表現・理論コース 3年ゼミ誌 「言葉と映画のあいだに」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース3年 理論・批評専攻，シ ナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は約 10,000字の批評，シナリオは15分~30分程度 の短編
	映像表現・理論コース 卒業論文・制作・研究発表会	3月中旬	学部校舎	理論・批評専攻による卒業論文，シナリオ専攻 による卒業制作(シナリオ)，映像専攻による卒 業研究の展示・上映(無料)
	フォーカス イン FOCUS IN	5~6月頃 (1週間程度)	学部校舎 他	前年度の「映画演出Ⅲ」「映画技術Ⅲ」「卒業制作」 の作品上映(無料) ※詳細はホームページに掲載予定
問合せ先 ☎03-5995-8220(映画学科事務室) 映画学科公式ホームページ <a href="http://nuart-cinema.info/">http://nuart-cinema.info/</a>				
美術	「版画五美術2024   ポートフォリオ版画集と アートブック」展	9/11~10/5 (日曜・祝日休館， 9/16・23休館)	女子美術大学 女子美アートミュージアム	本学部のほか，武蔵野美術大学，多摩美術大学， 女子美術大学，東京造形大学の版画を学んでい る学生の版画集及びアートブック展(無料)
	全国大学版画展	11/30~12/22 (※火曜休館， 12/3・10・17休館)	上田市立美術館	版画教育を行っている全国の大学が参加する版 画展(有料)
	北野教育振興会 彫刻奨学生作品展	11/25~12/6 (12/1休館)	学部校舎芸術資料館	北野教育振興会彫刻奨学生受賞者による作品展 (無料)
	造形芸術専攻修了制作展 (美術系 絵画・版画・彫刻分野)	1/16~21 (1/19休館)	学部校舎芸術資料館	絵画・版画分野の作品展示(無料)
	美術学科卒業制作展 (絵画コース絵画・版画専攻， 彫刻コース彫刻・地域芸術専攻)	1/23~28 (1/26休館)	学部校舎芸術資料館	絵画，版画，彫刻各分野の作品展示(無料)
	卒業・修了制作展(版画)	1/27~2/1	ギャラリー川船	版画専攻・版画分野の作品展示(無料)
	東京五美術大学連合 卒業・修了制作展	未定	国立新美術館	本学部のほか，武蔵野美術大学，多摩美術大学， 女子美術大学，東京造形大学が一堂に会する 連合卒業制作展(無料)
	卒業・修了制作 選抜作品展(絵画)	2月下旬 ~3月上旬	ギャラリー絵夢	絵画専攻・絵画分野の作品展示(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8230(美術学科事務室) 美術学科公式ホームページ <a href="http://www.art.nihon-u.ac.jp/departments/finarts/">http://www.art.nihon-u.ac.jp/departments/finarts/</a>				

学科	名称	時期	会場	内容
音楽	第142回定期演奏会 (ソロ定期演奏会)	8/1	練馬文化センター小ホール	試演会(公開実技試験)より選ばれた学生の独奏・独唱・作品発表の演奏会(無料)
	第53回ピアノコンサート	11/13	練馬文化センター小ホール	試演会(公開実技試験)にて選ばれたピアノコース専攻生による演奏会(無料)
	第36回ウィンドオーケストラ &室内楽定期演奏会	11/19	練馬文化センター大ホール	吹奏楽と室内楽の定期演奏会(無料)
	第54回オペラ公演	11/27	練馬文化センター小ホール	声楽コース学生による公演(無料)
	第143回定期演奏会 (管弦楽曲, 協奏曲等)	12/23	練馬文化センター大ホール	オーケストラ定期演奏会(無料)
	第45回新作室内楽の会	3/1	学部校舎音楽小ホール	「作曲・副科作曲」授業の学習・研究成果の発表(無料)
	卒業演奏会	3/10	練馬文化センター小ホール	作曲・声楽・ピアノ・弦管打楽各コース卒業生より選ばれた学生による演奏会(無料)
	情報音楽フェス SWITCH2025	3/15・16	学部校舎音楽小ホール 他	情報音楽コースライブエレクトロニクスコンサート並びに音の展示作品発表(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8240(音楽学科事務室) 音楽学科公式ホームページ <a href="https://music.art.nihon-u.ac.jp/index.html">https://music.art.nihon-u.ac.jp/index.html</a>				
文芸	ゼミ雑誌	12月頃発行	学部校舎にて配布 学部祭等でも配布	ゼミでの学生の創作・評論・詩等をまとめた文集(無料)
	演習授業による刊行物	1月頃発行	学部校舎にて配布	各演習授業の成果をまとめた雑誌(無料)
	文芸学科 「優秀卒業論文・作品集」	3月発行	学部校舎にて入手可	芸術学部長賞・奨励賞受賞作を収録した, 優秀卒業論文・作品集
	『江古田文学』	年2回発行	全国の書店にて販売	学生やOB, 教員の作品を発表している文芸誌
問合せ先 ☎03-5995-8250(文芸学科事務室) 文芸学科公式ホームページ <a href="https://www.nichigei-bungei.info/">https://www.nichigei-bungei.info/</a>				
演劇	劇場実習	7/11~13	学部校舎中ホール	1~4年生演劇舞台発表
	総合実習A1	9/5~7	学部校舎中ホール	2・3年生演劇舞台発表
	総合実習ID	9/13~14	学部校舎小ホール	2年生演劇舞台発表
	卒業制作(演劇)	11/2~4	学部校舎中ホール	4年生演劇舞台公演
	総合実習IB	11/29~30	学部校舎中ホール	2年生洋舞舞台発表
	総合実習IIB	11/29~30	学部校舎中ホール	3年生洋舞舞台発表
	卒業制作(洋舞)	12/6~7	学部校舎中ホール	4年生洋舞舞台公演
	総合実習IIC	12/13~14	学部校舎中ホール	3年生創作舞踊(日舞)舞台発表
	卒業制作(日舞)	12/13~14	学部校舎中ホール	4年生創作舞踊(日舞)舞台公演
	総合実習IC	12/20~21	学部校舎中ホール	2年生創作舞踊(日舞)舞台発表
	総合実習A2	2/20~22	学部校舎中ホール	2・3年生演劇舞台発表
問合せ先 ☎03-5995-8260(演劇学科事務室) 演劇学科公式ホームページ <a href="http://theatre.art.nihon-u.ac.jp/">http://theatre.art.nihon-u.ac.jp/</a>				
放送	卒業制作発表(朗読)	12月	学部校舎	卒業研究の朗読の発表会(無料)
	卒業制作発表と展示 (映像・音響・朗読・脚本など)	3月	学部校舎	卒業研究の映像作品の上映, 音響作品と朗読の発表, 脚本・アナウンス・論文の展示(無料)
	研究誌「放送と表現」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	放送学科教員の論文や学生の優秀卒業論文, 卒業制作の台本, 脚本等の発表の場として発刊された研究誌
問合せ先 ☎03-5995-8270(放送学科事務室) 放送学科公式ホームページ <a href="http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/broadcast/">http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/broadcast/</a>				
デザイン	大学院修士2年 CD系グループ作品展	6/3~15	学部校舎A&Dギャラリー	大学院修士2年のグラフィック, CD系に在籍する院生の修士研究中間発表展示(無料)
	国際学生タイポグラフィ展	6/17~7/1	学部校舎A&Dギャラリー	デザイン学科学生と台湾, 韓国の学生が参加するタイポグラフィポスター展
	デザイン学科助手展	9/17~28	学部校舎A&Dギャラリー	デザイン学科助手による作品展示(無料)
	日芸祭 作品展	11/2~4	学部校舎	学生作品の展示(無料)
	大学院修士修了制作展	2月下旬~3月上旬	学部校舎A&Dギャラリー	大学院生の修士課程修了制作展(無料)
	卒業制作作品展	2月下旬~3月上旬	学部校舎	デザイン各分野卒業制作作品展(無料)
	デザイン学科優秀作品展 (日藝博覧会)	3月中旬	学部校舎	学生優秀作品, 卒業制作優秀作品の展示(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8690(デザイン学科事務室) デザイン学科公式ホームページ <a href="http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/">http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/</a>				

## 外部進学相談会について

芸術学部は、全国で実施される下記の芸術系進学相談会に参加する予定です。



※日程・会場は追加・変更される場合があります。また、その他、資料参加のみの会場もあります。詳細については、本学部ホームページをご覧ください

※上記と別に、日本大学が実施・参加する進学相談会等があります。詳しくは日本大学ホームページをご覧ください

## キャンパス見学について **予約制**

芸術学部では、事前予約制でキャンパス見学を行っています。ご希望の方は芸術学部ホームページをご覧ください。  
 なお、修学旅行等の学校行事による見学希望については、学校単位での受付とさせていただきます。

### 1 見学可能日時

※日曜日・祝祭日及び学部事務休止日は、見学を休止しております

※芸術学部の諸行事や授業等の事情により見学いただけない場合、または見学内容を制限させていただく場合がございますのでご了承ください

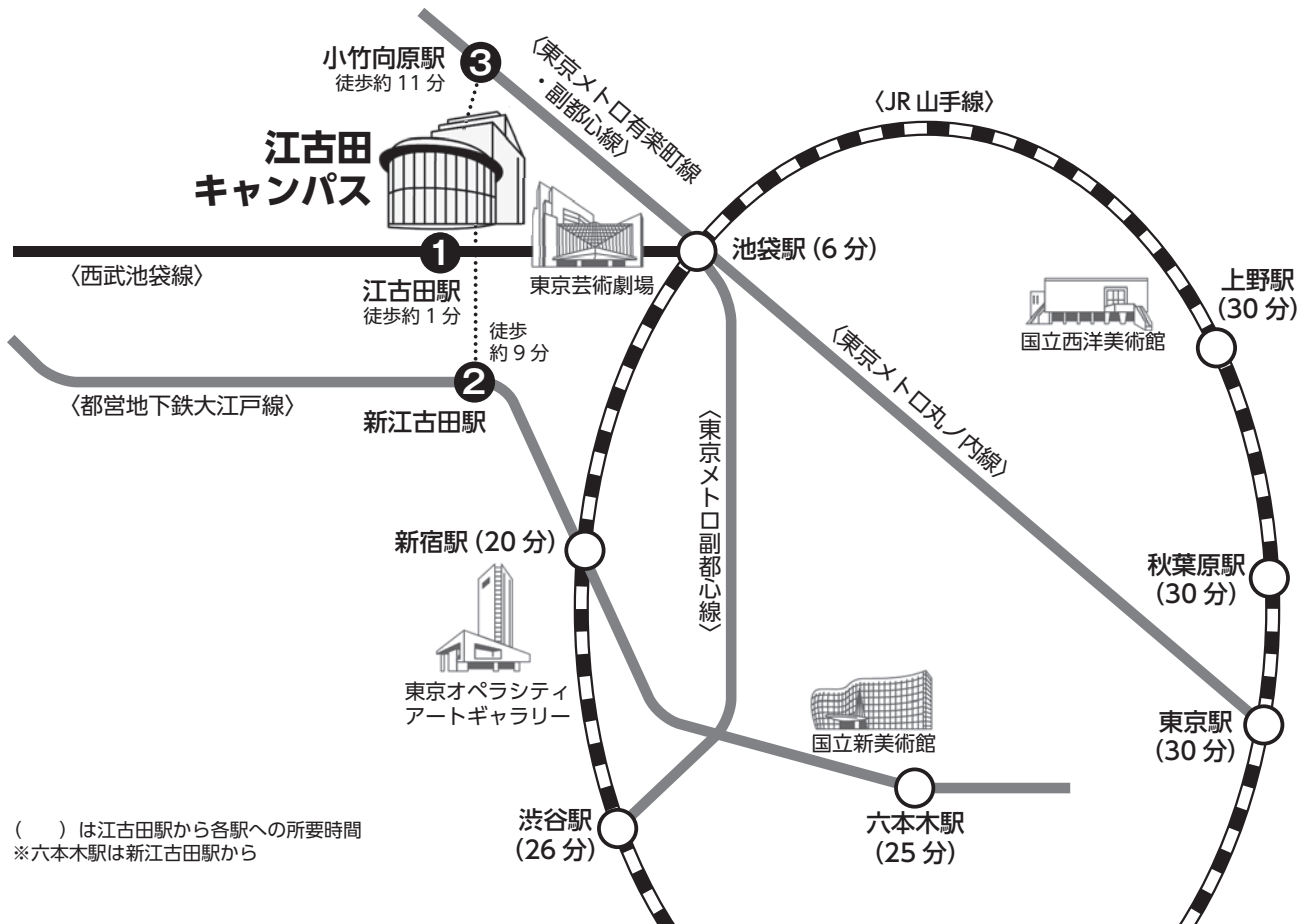
### 2 見学の内容

学科施設案内及び説明



# 校舎案内

戻る



## アクセス

- 1 江古田駅 (西武池袋線) 池袋駅から各駅停車で約 6 分, 北口から徒歩約 1 分
- 2 新江古田駅 (都営地下鉄大江戸線) 新宿駅から約 20 分, A2 出口から徒歩約 9 分
- 3 小竹向原駅 (東京メトロ有楽町線・副都心線) 池袋駅から約 6 分, 2 番出口から徒歩約 11 分



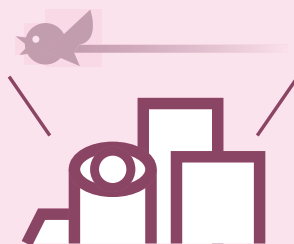
WELCOME  
to  
NICHIGEI!



## Open Campus オープンキャンパス

2024年

6月30日(日)、8月4日(日)



模擬授業 ワークショップ 個別進学相談コーナー 他

## 日芸祭同時開催・入試相談会

2024年

11月2日(土)・3日(日)



個別進学相談コーナー 他

## 春のオープンキャンパス

2025年

3月9日(日)



模擬授業 個別進学相談コーナー 他

8つのアート1つのハート



各イベントの詳細については  
本学部ホームページをご覧ください



日本大学藝術学部